

北九州市墓地に関する市民意識調査

結果報告書

(令和2年調査)

北九州市

保健福祉局保健衛生課

建設局公園管理課

目次

はじめに.....	1
第1章 調査の概要.....	2
1-1 市民アンケート調査.....	2
1-2 宗教法人等アンケート調査.....	3
1-3 注意事項.....	3
第2章 市民アンケート調査 調査結果.....	4
2-1 回答者について.....	4
2-2 お墓、納骨堂について.....	7
2-3 合葬墓について.....	32
第3章 宗教法人等アンケート調査 調査結果.....	42
3-1 団体について.....	42
3-2 墓地(霊園)について.....	43
3-4 合葬墓について.....	58
第4章 北九州市における墓地・納骨堂の需給状況.....	70
4-1 墓地の需要予測.....	70
4-2 墓地・納骨堂の需給状況.....	72
4-3 資料.....	73
第5章 まとめ及び考察.....	75
5-1 まとめ.....	75
5-2 考察.....	80
第6章 資料.....	81
6-1 市民アンケート調査.....	81
6-2 宗教法人等アンケート調査.....	99

はじめに

日本においては、従来、子々孫々が先祖代々の墓地を管理・継承してきた。しかし、近年、核家族化、少子化、未婚化などの家族形態の多様化や人口の地域間流動によりライフスタイルが大きく変化したことにより、墓地を取り巻く環境も大きく変化している。

また、葬送の形態も多様化しており、散骨や樹木葬など従来型の墳墓以外の墓地形態や葬送を希望する人も少なからず存在している状況にある。

このように、社会環境の変化や市民の意識の変化によって、墓地をめぐる状況は大きく変化することから、墓地行政を進めていくにあたっては、墓地の需給バランスを確保しながら、地域の特性や市民ニーズに沿った墓地のあり方について留意する必要がある。

一方、本来墓地とは、市民生活に必要とされる公共的な施設であり、墓地の経営には、持続性と公益性、非営利性が求められる。よって、墓地の経営主体は、市町村等の地方公共団体が原則であり、これによりがたい場合には、宗教法人、公益法人等による墓地の経営が認められている。

また、墓地の経営許可の取扱いは、住民の宗教的感情や風土、文化等の地域の実情に応じた対応が必要なことから、その判断については、許可権者である都道府県知事（指定都市等にあつては市長）の広範な裁量に委ねられている。

本市においても、市営霊園の経営主体であるとともに、宗教法人等による墓地経営の許可に関する事務を行っており、市営霊園の適切な管理・運営を行うとともに、墓地の持続性の確保や利用者の多様なニーズへの対応、需給バランスの確保、周辺的生活環境との調和等公共の福祉との調整を図りながら墓地行政に取り組んでいる。

このようななか、平成3年度に大都市において墓地の供給不足が問題となっている現状を踏まえ、「北九州市墓地に関する市民意識調査」を実施し、墓地行政の参考としてきた。

近年、墓地を取り巻く環境が大きく変化していることから、今後の墓地行政の参考とするため、新たに墓地に関する市民意識と墓地の需給状況等の調査を行ったので、その結果を報告するものである。

第1章 調査の概要

1-1 市民アンケート調査

1. 調査目的

墓地・納骨堂の需要量及び実態や市民意識を把握することにより、今後の北九州市における墓地・納骨堂のあり方を考える上での資料とすることを目的とする。

2. 調査対象

(1) 調査対象

北九州市内に居住する20歳以上の男女

(2) 対象人数

3,000人

(3) 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

3. 調査内容

(1) 回答者について

(2) お墓、納骨堂について

(3) 合葬墓について

4. 調査方法

郵送調査

5. 調査期間

令和2年2月1日～28日

6. 回収結果

発送件数	回収件数	有効回答件数	有効回答率
3,000件	1,103件	1,102件	36.7%

1-2 宗教法人等アンケート調査

1. 調査目的

墓地・納骨堂・合葬墓の供給量などを把握することにより、今後の北九州市における墓地・納骨堂・合葬墓のあり方を考える上での資料とすることを目的とする。

2. 調査対象

市内の宗教法人等 504 法人

3. 調査内容

- (1) 団体について
- (2) 墓地（霊園）について
- (3) 納骨堂について
- (4) 合葬墓について

4. 調査方法

郵送調査

5. 調査期間

令和2年2月1日～28日

6. 回収結果

発送件数	回収件数	有効回答件数	有効回答率
504 件	335 件	335 件	66.5%

1-3 注意事項

- (1) 図表中の「N」（Number of cases の略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数となる。
- (2) 図表中の構成比は、小数点第2位以下を四捨五入している。
- (3) 集計表の上段の数字は回答件数、下段の数字は構成比（%）を示している。
- (4) 回答が2つ以上ありうる場合（複数回答）は、合計が100%を超えることがある。

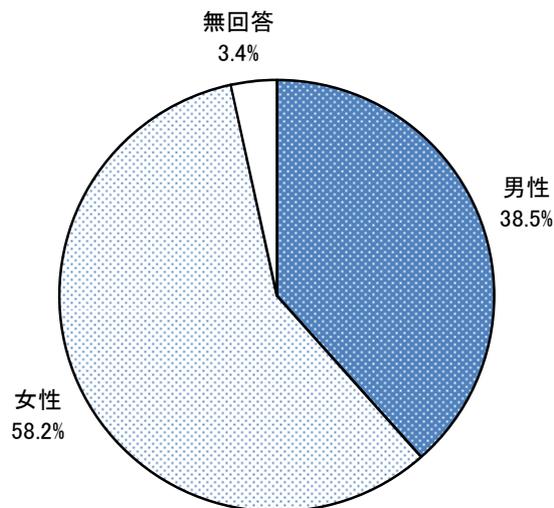
第2章 市民アンケート調査 調査結果

2-1 回答者について

問1 あなたの性別をお答えください。(〇はひとつだけ)

「女性」が58.2%、「男性」が38.5%となっている。

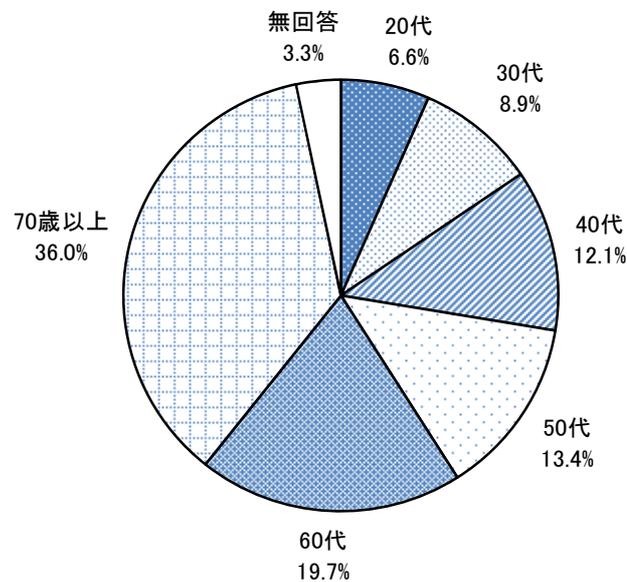
(N = 1,102)



問2 あなたの年齢をお答えください。(〇はひとつだけ)

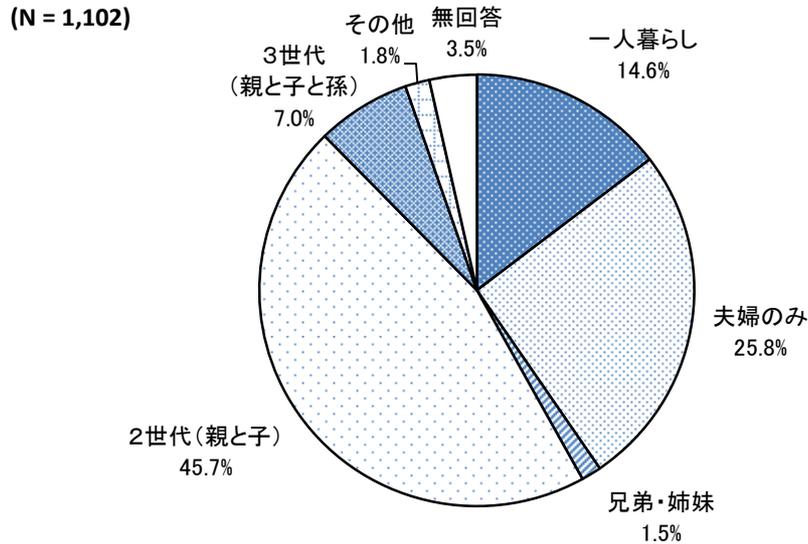
「70歳以上」が36.0%と最も高く、次いで「60代」が19.7%、「50代」が13.4%となっている。

(N = 1,102)



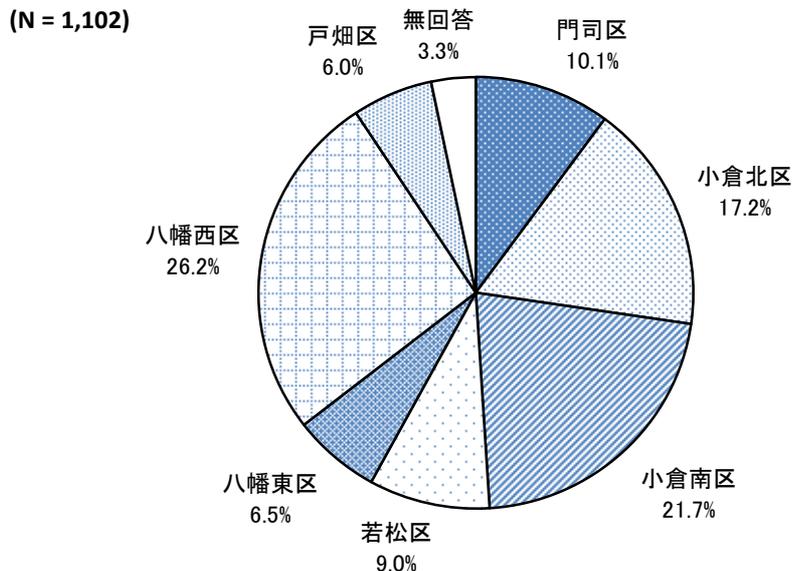
問3. あなたの家族構成をお答えください。家族には、現在同居されていない方(単身赴任中や下宿中の方、入院または養護老人ホーム等に入られている方)も含まれます。(〇はひとつだけ)

「2世代(親と子)」が45.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」が25.8%、「一人暮らし」が14.6%となっている。



問4. あなたのお住まいは何区ですか。(〇はひとつだけ)

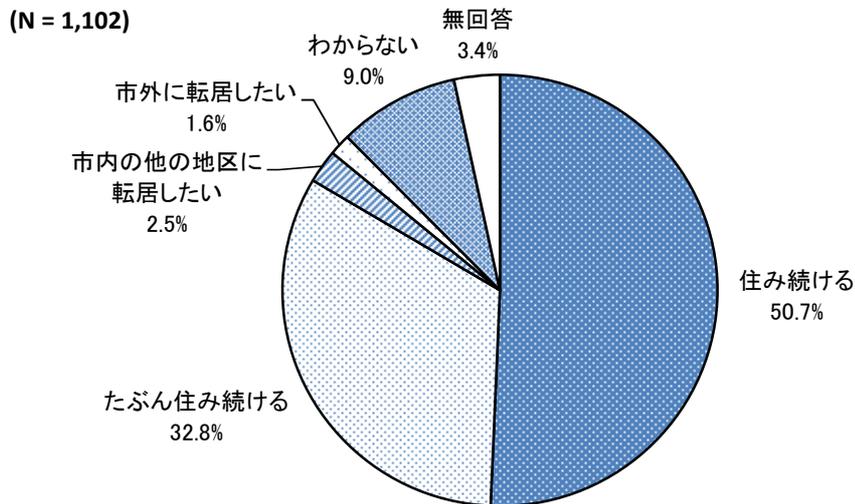
「八幡西区」が26.2%と最も高く、次いで「小倉南区」が21.7%、「小倉北区」が17.2%となっている。



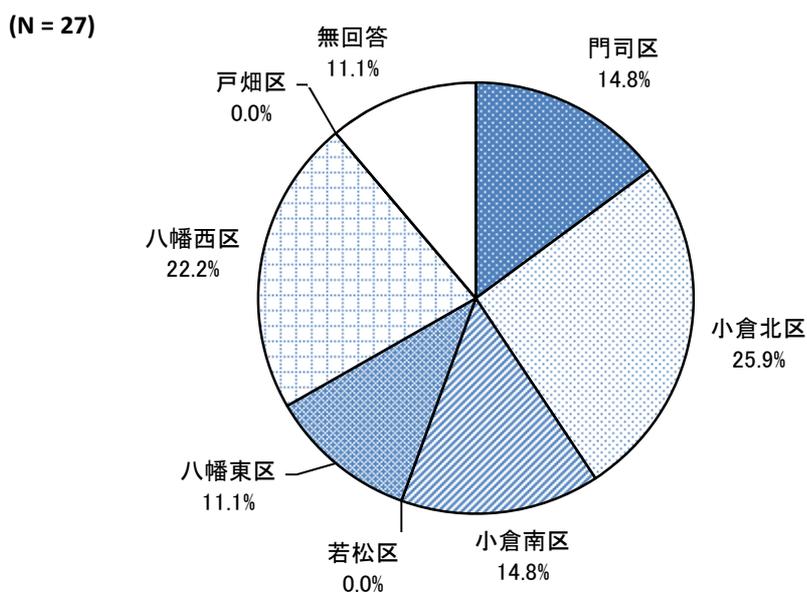
問5. あなたはこれから先も今のお住まいに住み続けたいと思いますか。(〇はひとつだけ)

「住み続ける」が 50.7%と最も高く、次いで「たぶん住み続ける」が 32.8%、「わからない」が 9.0%となっている。

「市内の他の地区に転居したい」の内訳では、「小倉北区」が 25.9%と最も高く、次いで「八幡西区」が 22.2%、「門司区」及び「小倉南区」がともに 14.8%となっている。



【「市内の他の地区に転居したい」の内訳】



2-2 お墓、納骨堂について

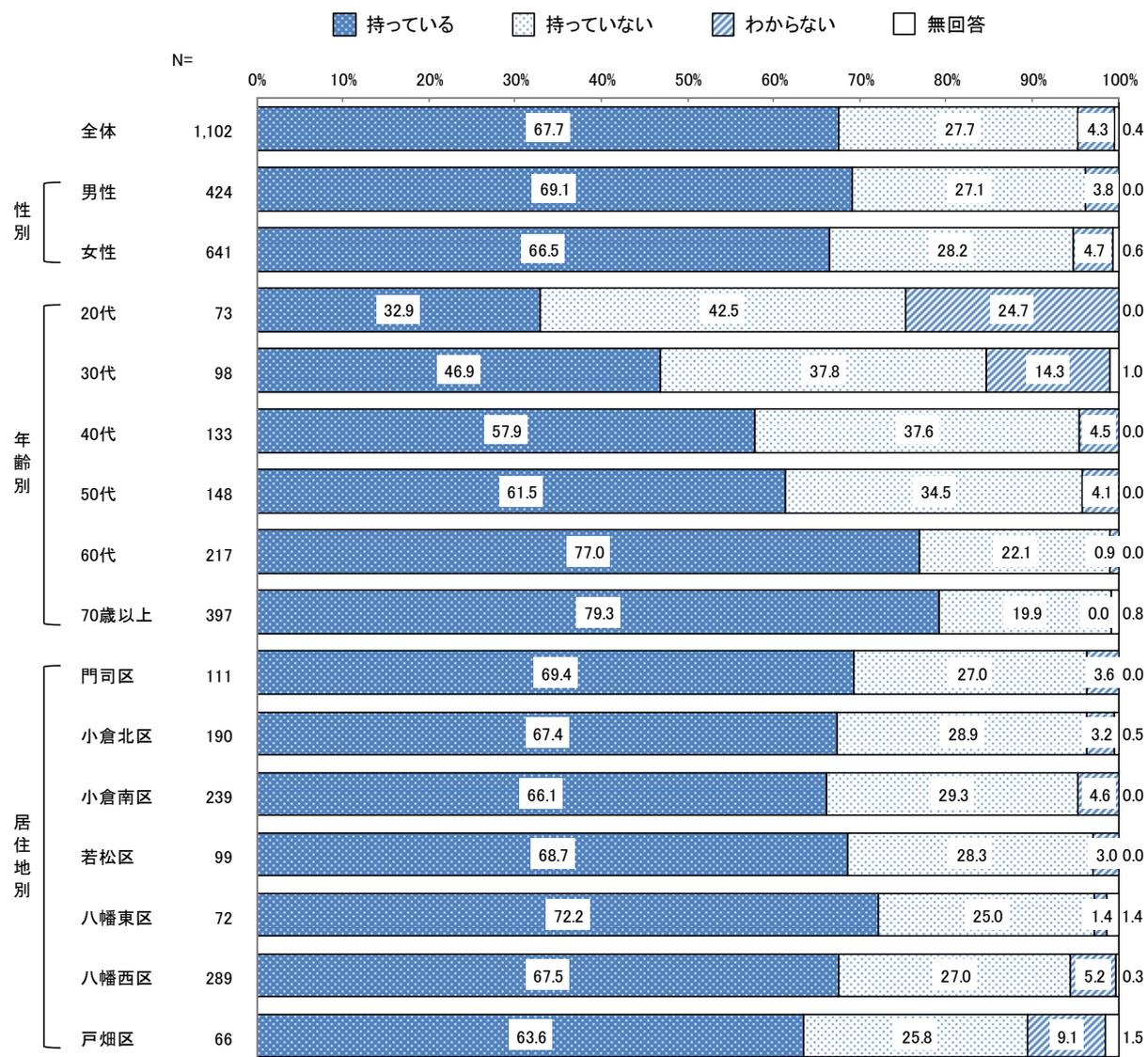
問6. あなたは利用できるお墓や納骨堂を持っていますか。(〇はひとつだけ)

全体では「持っている」が67.7%と最も高く、次いで「持っていない」が27.7%、「わからない」が4.3%となっている。

性別による差はみられない。

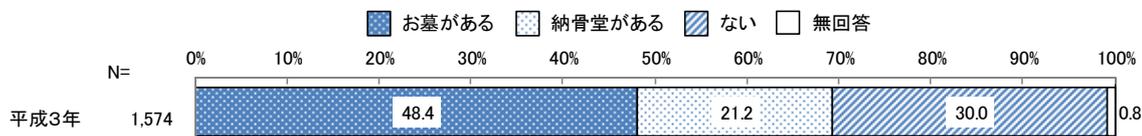
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「持っている」の割合が増加する傾向にある。

居住地別にみると、すべての区で「持っている」の割合が最も高く、6割以上となっている。



【参考:過去の調査結果】

平成3年に行った調査結果では、「お墓がある」が48.4%、「納骨堂がある」が21.2%となっている。なお、「ない」は30.0%となっている。



ここからは、問6で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

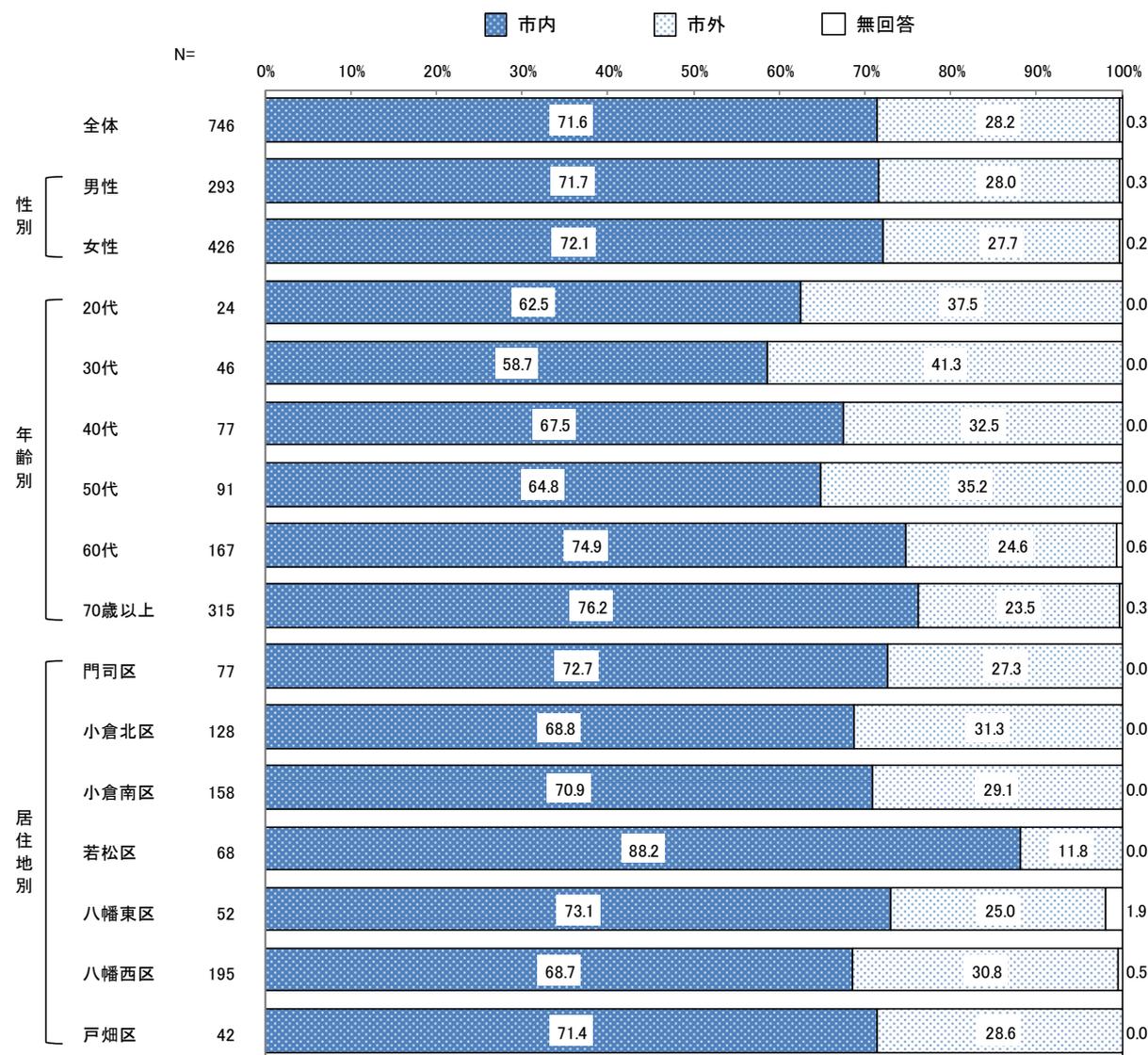
問6-1. そのお墓や納骨堂はどこにありますか。(〇はひとつだけ)

全体では「市内」が71.6%、次いで「市外」が28.2%となっている。

性別による差はみられない。

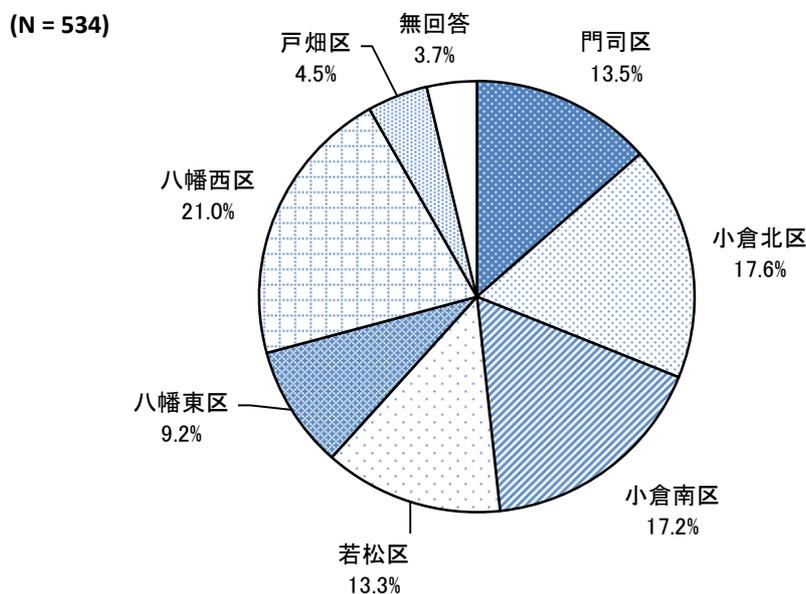
年齢別にみると、70歳以上では「市内」が76.2%、60代では74.9%と、他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、すべての区で「市内」の割合が最も高く、若松区では88.2%と他の区に比べて高くなっている。



【「市内」の内訳】

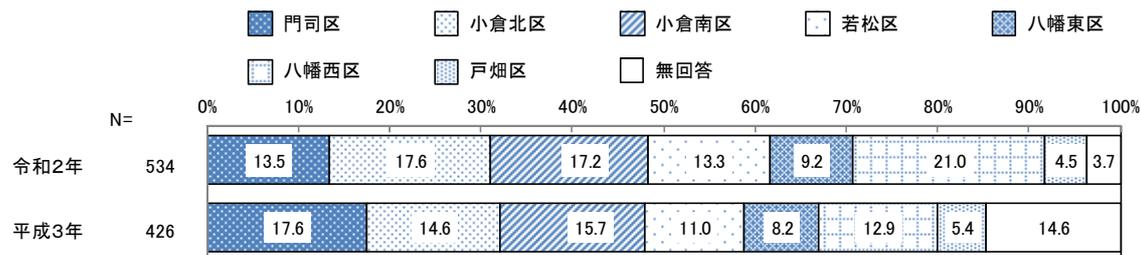
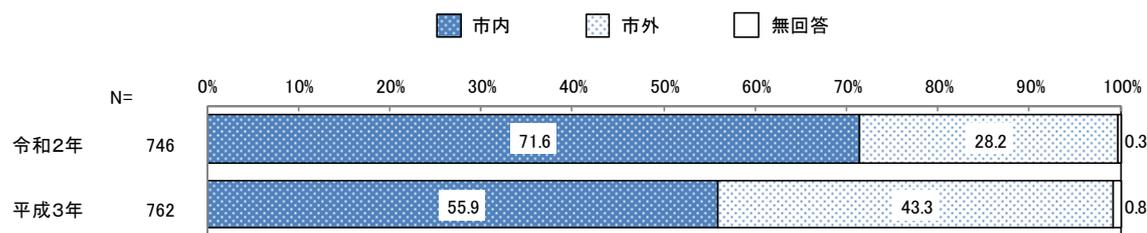
「市内」の内訳では、「八幡西区」が21.0%と最も高く、「小倉北区」が17.6%、「小倉南区」が17.2%となっている。



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「市内」が15.7ポイント増加した一方で、「市外」が15.1ポイント減少している。

「市内」の内訳では、「八幡西区」が8.1ポイント増加している。



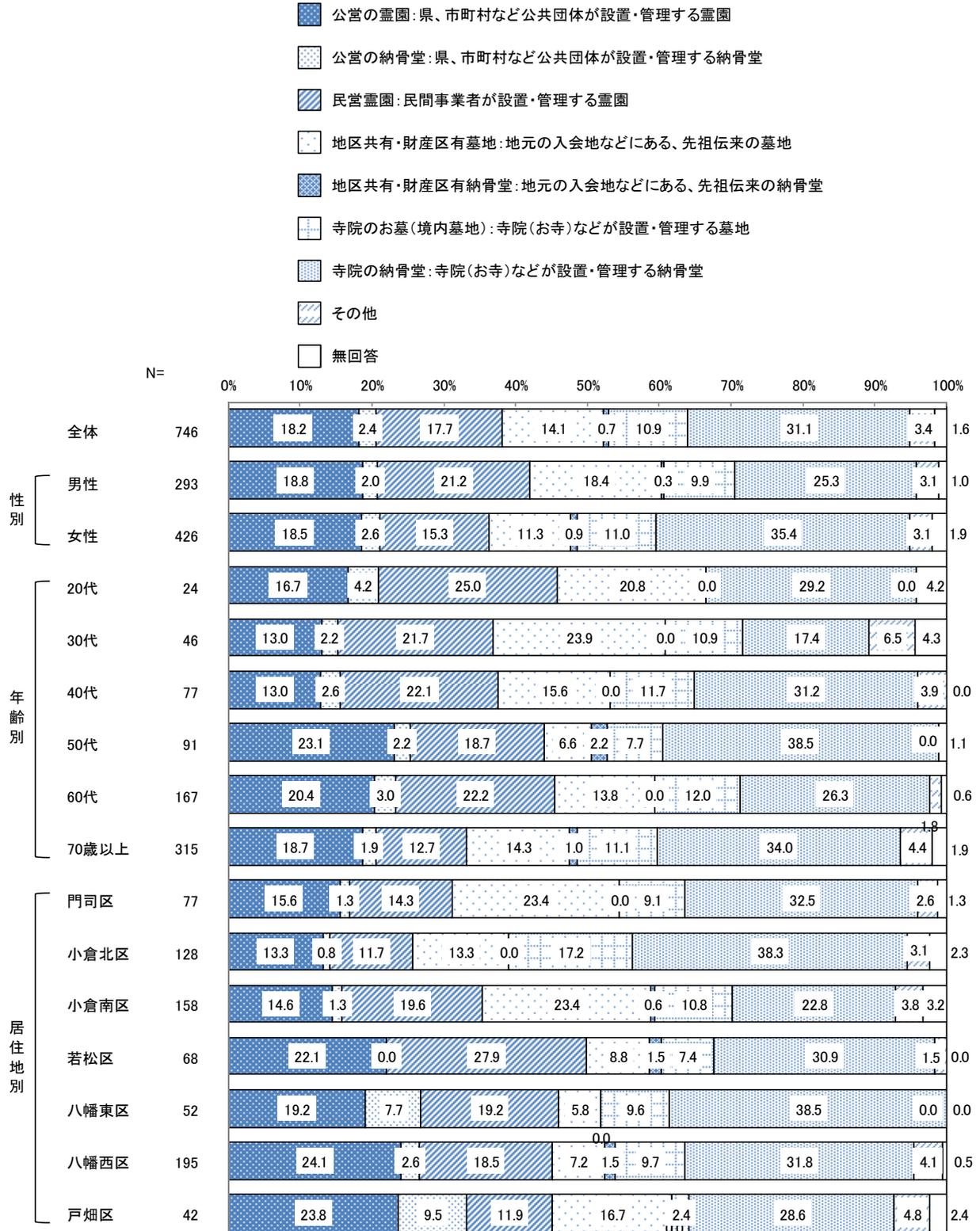
問6-2. そのお墓や納骨堂はどのようなものですか。(〇はひとつだけ)

全体では「寺院の納骨堂」が 31.1%と最も高く、次いで「公営の霊園」が 18.2%、「民営霊園」が 17.7%となっている。

性別にみると、女性では「寺院の納骨堂」が 35.4%と、男性よりも 10.1 ポイント高くなっている。

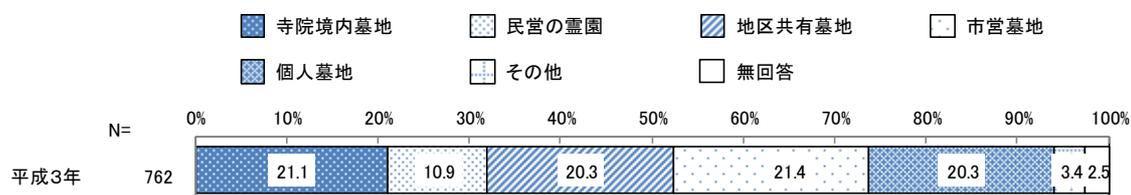
年齢別にみると、50代では「寺院の納骨堂」が 38.5%と、他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、若松区は「民営霊園」が 27.9%と他の区に比べて高くなっている。



【参考:過去の調査結果】

平成3年の調査結果では、「市営墓地」が21.4%と最も高く、次いで「寺院境内墓地」が21.1%、「地区共有墓地」及び「個人墓地」が20.3%となっている。



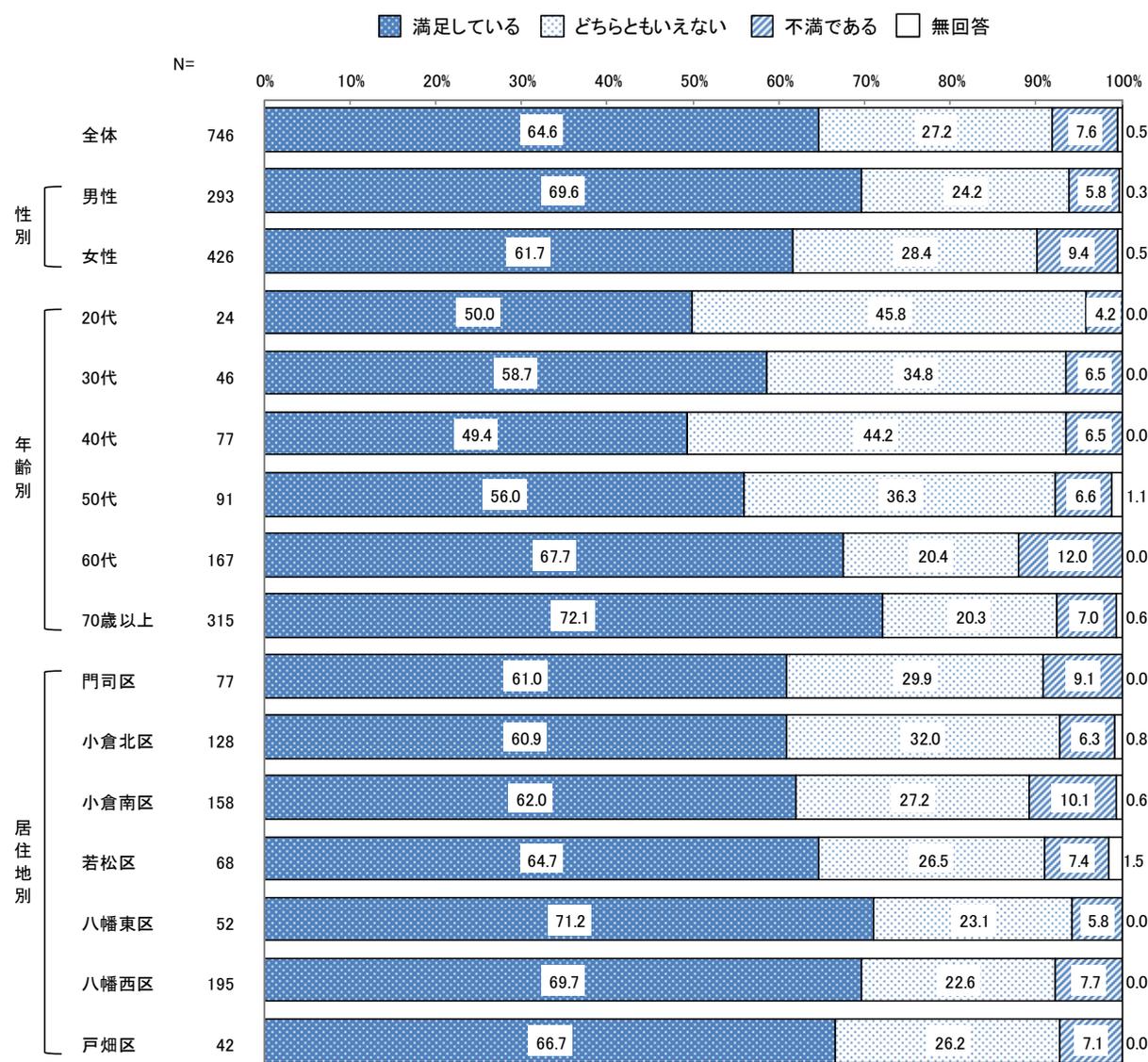
問6-3. あなたはそのお墓や納骨堂に満足していますか。(○はひとつだけ)

全体では「満足している」が64.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が27.2%、「不満である」が7.6%となっている。

性別にみると、男性では「満足している」が69.6%と、女性よりも7.9ポイント高くなっている。

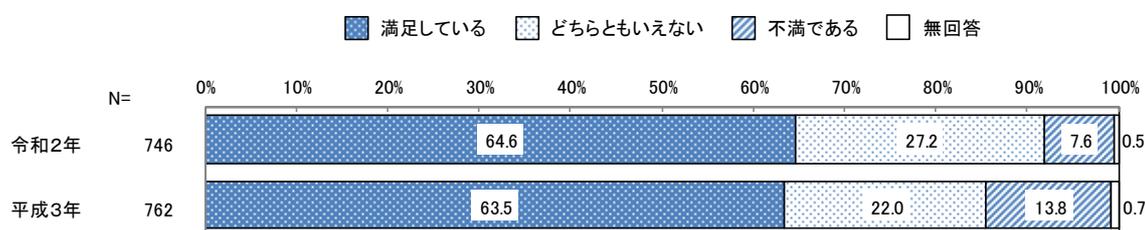
年齢別にみると、70歳以上では「満足している」が72.1%と、他の年代に比べて高くなっている。一方、20代と40代では「満足している」が約5割にとどまり、他の年代に比べて低くなっている。

居住地別にみると、すべての区で「満足している」の割合が最も高く、6割以上となっている。



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「どちらともいえない」が5.2ポイント増加、「不満である」が6.2ポイント減少している。「満足している」は概ね同程度となっている。



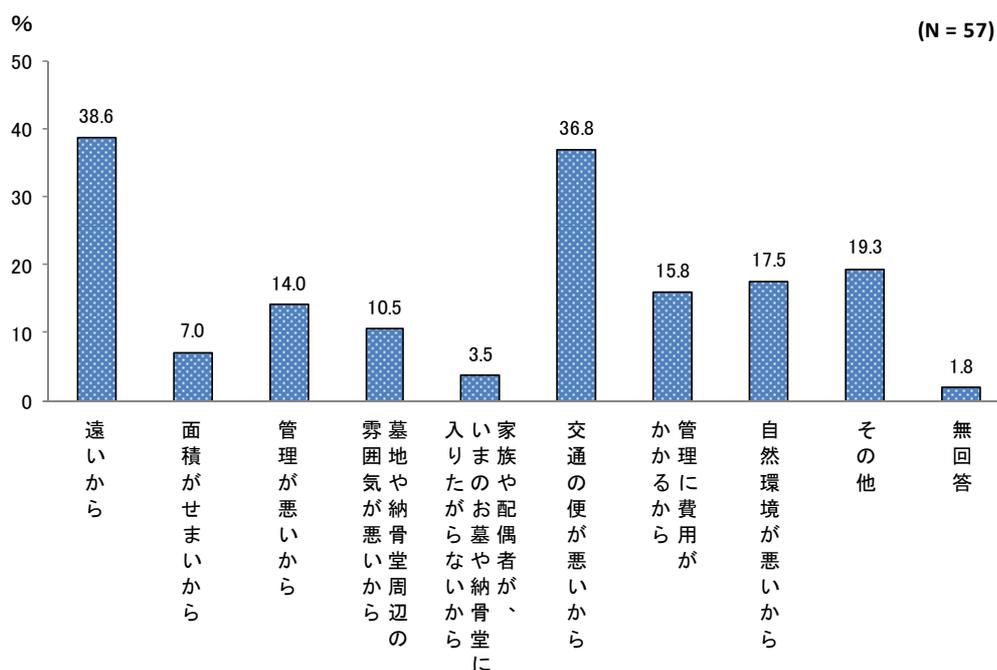
問6-3で「3」とお答えの方のみにおたずねします。
 問6-4. あなたが不満に思うのはなぜですか。(〇はいくつでも)

全体では「遠いから」が38.6%と最も高く、次いで「交通の便が悪いから」が36.8%、「その他」として「駐車場が狭い、坂道がある」等が19.3%となっている。

性別にみると、男女ともに「遠いから」の割合が最も高く、女性では「交通の便が悪いから」も同率で高くなっている。

年齢別にみると、50代以上では「遠いから」の割合が比較的高くなっている。

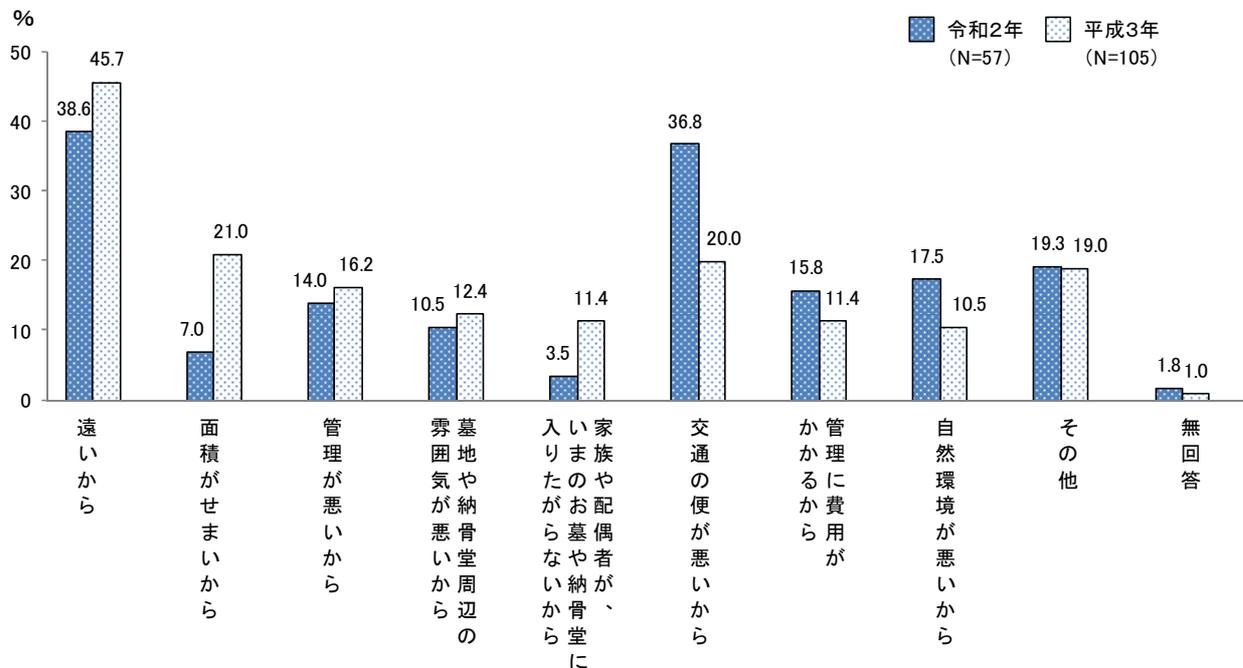
居住地別にみると、門司区、八幡西区、戸畑区では「遠いから」及び「交通の便が悪いから」の割合が他の区に比べて高くなっている。



	全体	遠いから	面積がせまいから	管理が悪いから	墓地や納骨堂周辺の雰囲気が悪いから	家族や配偶者が、お墓や納骨堂に入らないから	交通の便が悪いから	管理に費用がかかるから	自然環境が悪いから	その他	無回答
全体	57 100.0	22 38.6	4 7.0	8 14.0	6 10.5	2 3.5	21 36.8	9 15.8	10 17.5	11 19.3	1 1.8
性別											
男性	17 100.0	7 41.2	1 5.9	4 23.5	2 11.8	1 5.9	6 35.3	0 0.0	2 11.8	2 11.8	0 0.0
女性	40 100.0	15 37.5	3 7.5	4 10.0	4 10.0	1 2.5	15 37.5	9 22.5	8 20.0	9 22.5	1 2.5
年齢別											
20代	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
30代	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
40代	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
50代	6 100.0	3 50.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0
60代	20 100.0	9 45.0	1 5.0	4 20.0	1 5.0	0 0.0	9 45.0	2 10.0	3 15.0	5 25.0	0 0.0
70歳以上	22 100.0	8 36.4	3 13.6	1 4.5	2 9.1	1 4.5	8 36.4	4 18.2	4 18.2	4 18.2	1 4.5
居住地別											
門司区	7 100.0	3 42.9	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	4 57.1	1 14.3	2 28.6	1 14.3	0 0.0
小倉北区	8 100.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0
小倉南区	16 100.0	4 25.0	3 18.8	5 31.3	2 12.5	2 6.3	4 25.0	2 12.5	4 25.0	3 18.8	0 0.0
若松区	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0
八幡東区	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3
八幡西区	15 100.0	10 66.7	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	8 53.3	3 20.0	1 6.7	3 20.0	0 0.0
戸畑区	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0

【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「交通の便が悪いから」が16.8ポイント増加、「自然環境が悪いから」が7.0ポイント増加している。一方、「面積がせまいから」は14.0ポイント、「家族や配偶者が、いまのお墓や納骨堂に入りたがらないから」は7.9ポイント減少している。



※平成3年調査と選択肢が一部異なる。

「墓地や納骨堂周辺の雰囲気が悪いから」→平成3年調査では「墓地周辺の雰囲気が悪いから」

「管理に費用がかかるから」→平成3年調査では「経費がかかるから」

全員の方におたずねします。

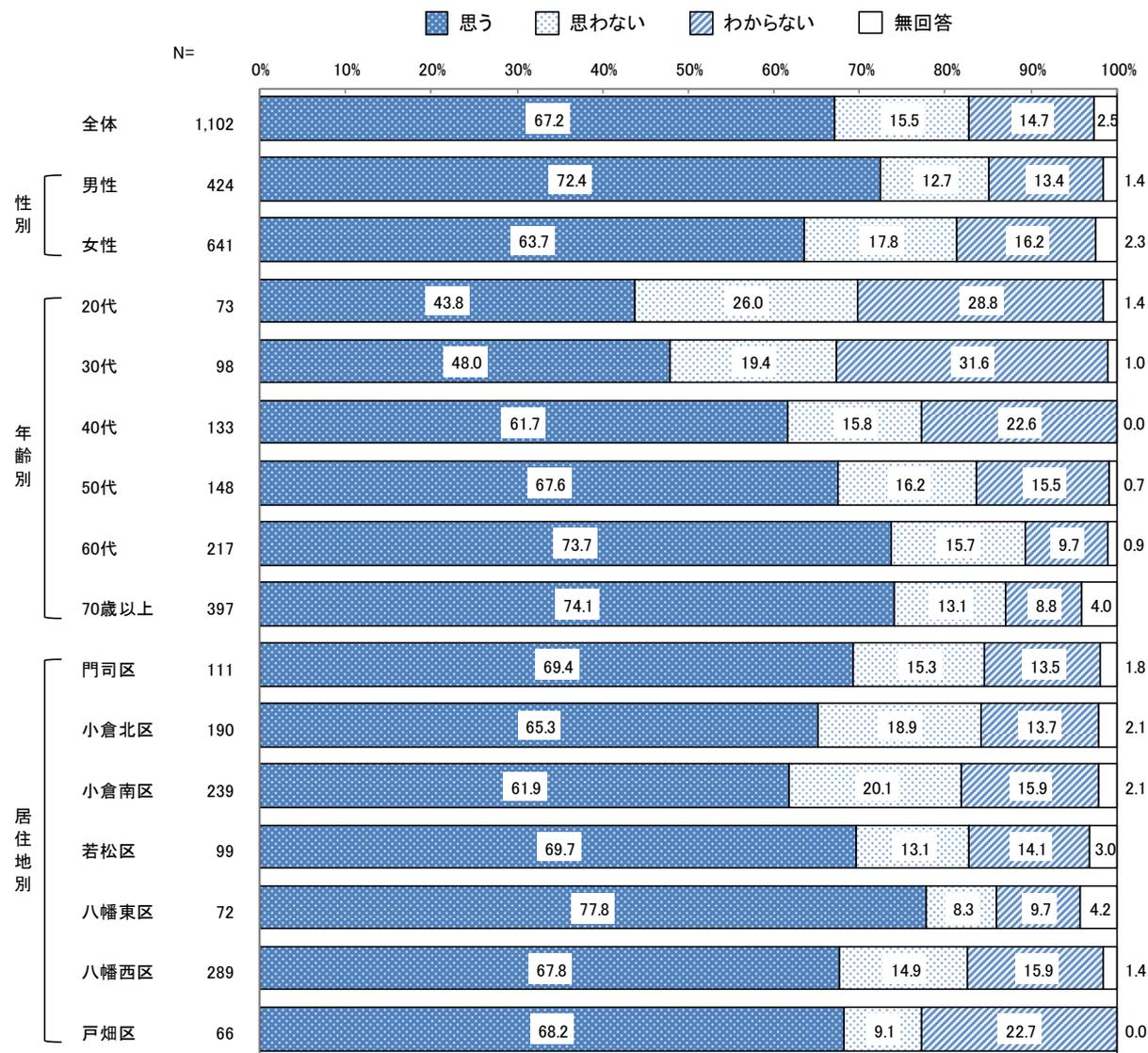
問7. あなたはお墓や納骨堂を守る立場にあると思いますか。(〇はひとつだけ)

全体では「思う」が67.2%と最も高く、次いで「思わない」が15.5%、「わからない」が14.7%となっている。

性別にみると、男性では「思う」が72.4%と、女性よりも8.7ポイント高くなっている。

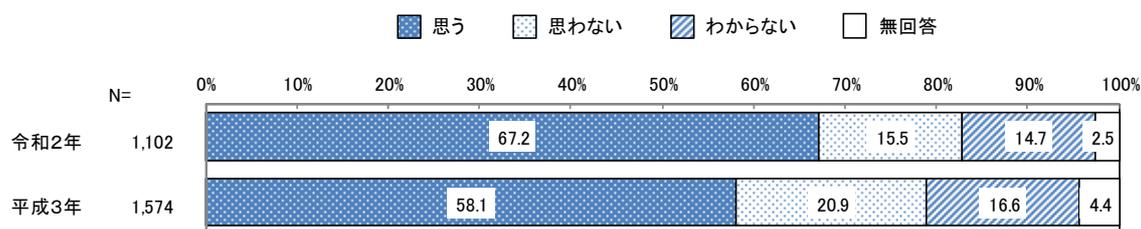
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「思う」の割合が増加する傾向にある。

居住地別にみると、八幡東区は「思う」が77.8%と他の区に比べて高くなっている。



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「思う」が9.1ポイント増加している。一方、「思わない」は5.4ポイント減少している。



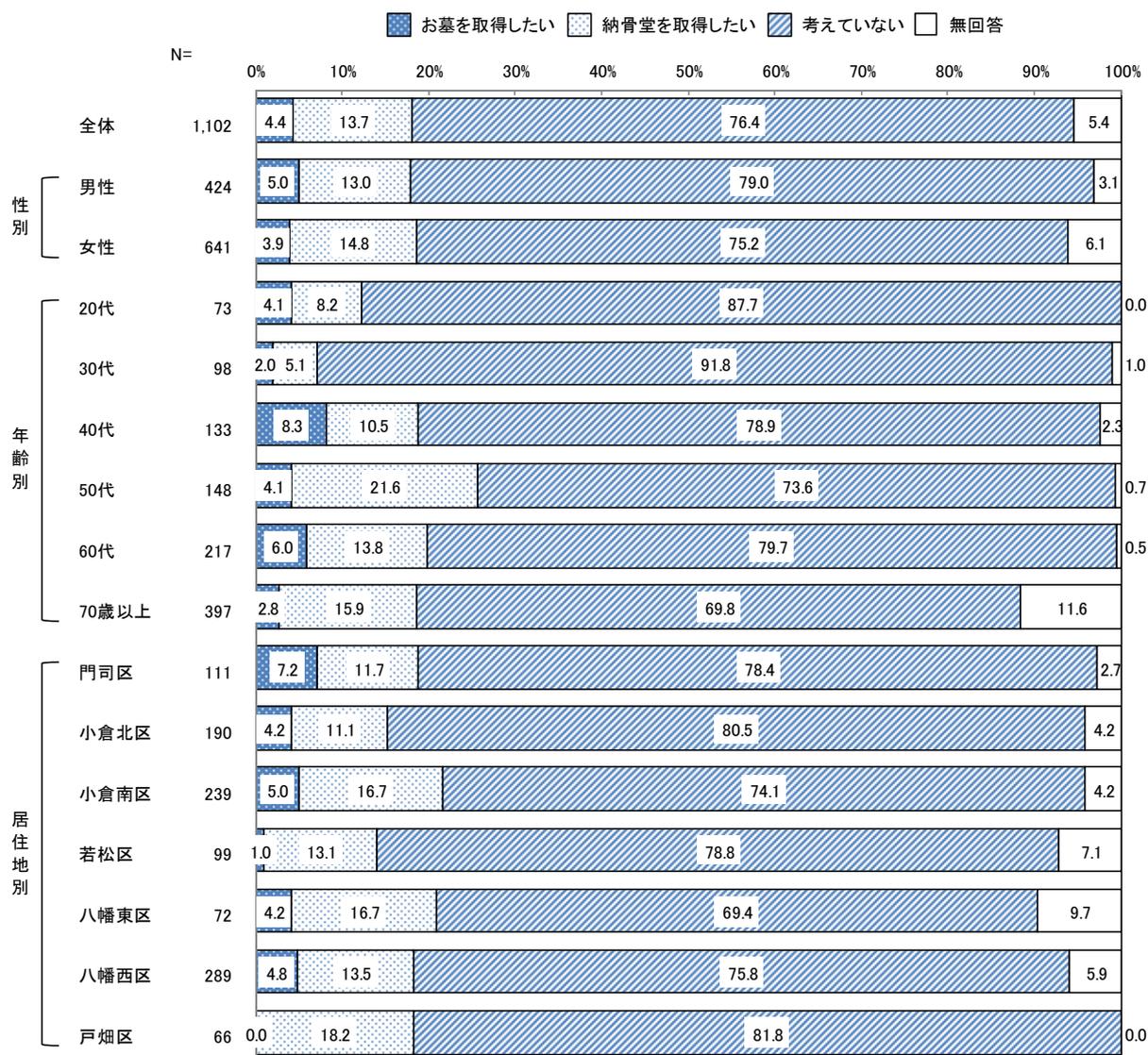
問8. あなたは新たにお墓や納骨堂の取得を考えていますか。(○はひとつだけ)

全体では「考えていない」が76.4%と最も高く、次いで「納骨堂を取得したい」が13.7%、「お墓を取得したい」が4.4%となっている。

性別による差はみられない。

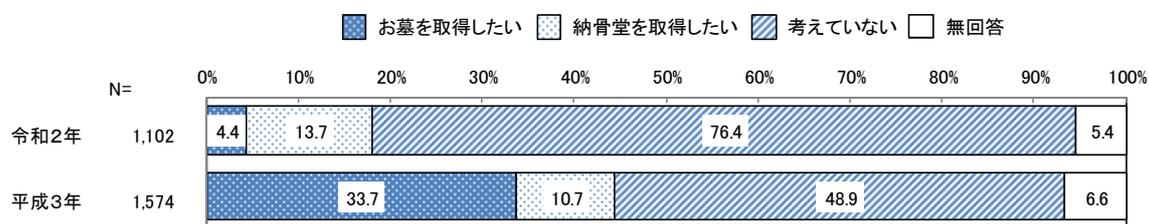
年齢別にみると、30代では「考えていない」が91.8%、50代では「納骨堂を取得したい」が21.6%と、それぞれ他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、すべての区で「考えていない」の割合が最も高くなっている。



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「考えていない」が27.5ポイント増加している。一方、「お墓を取得したい」は29.3ポイント減少している。



※平成3年調査と選択肢が一部異なる。

「お墓を取得したい」→平成3年調査では「お墓をつくりたい」

「納骨堂を取得したい」→平成3年調査では「納骨堂を求めたい」

「考えていない」→平成3年調査では「思わない」

問8で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

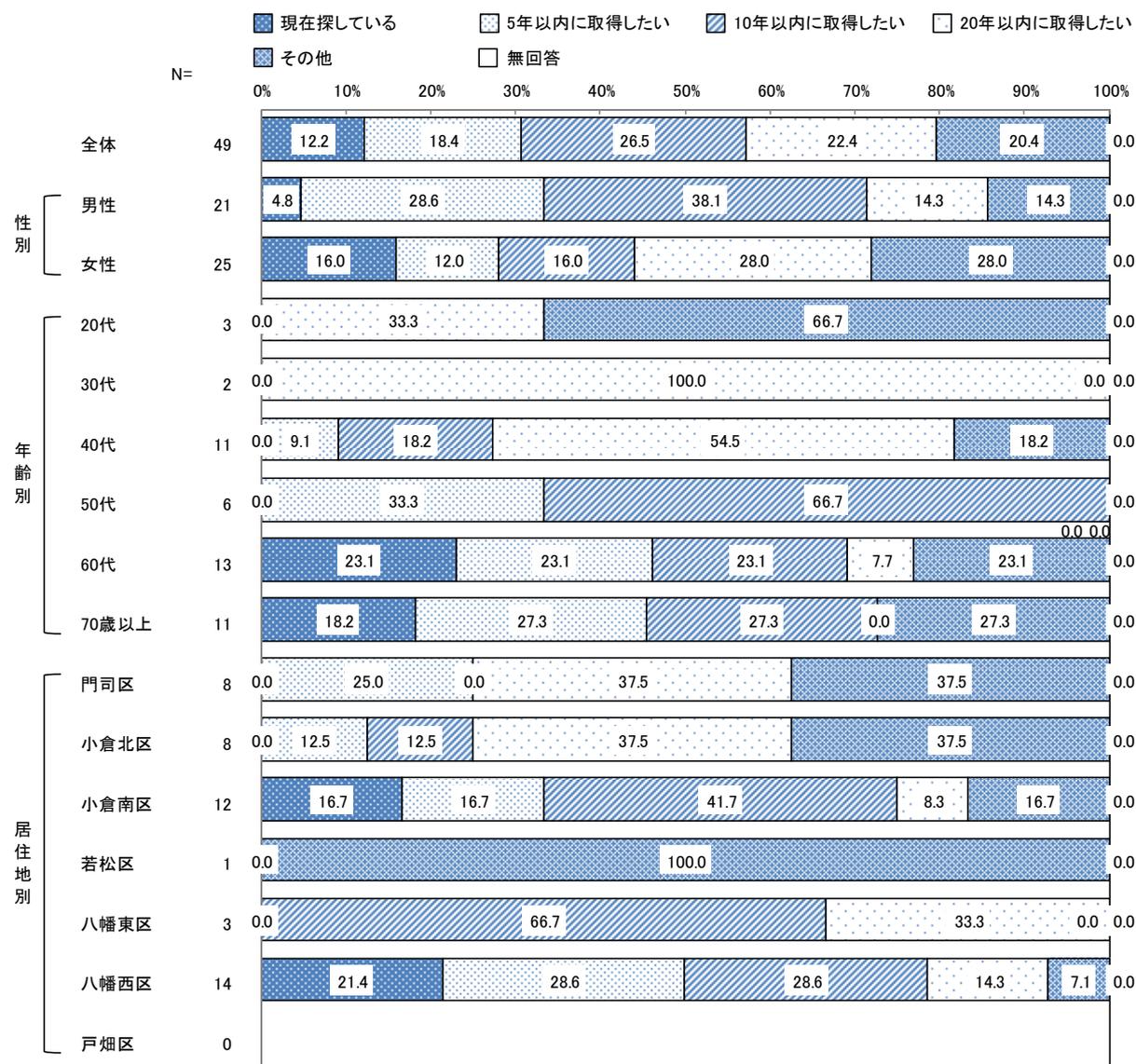
問8-1. あなたはお墓をいつごろ取得したいと考えていますか。(〇はひとつだけ)

全体では「10年以内に取得したい」が26.5%と最も高く、次いで「20年以内に取得したい」が22.4%、「その他」として「今のところわからない」等が20.4%となっている。

性別にみると、男性では「10年以内に取得したい」が38.1%と女性よりも22.1ポイント高くなっている。

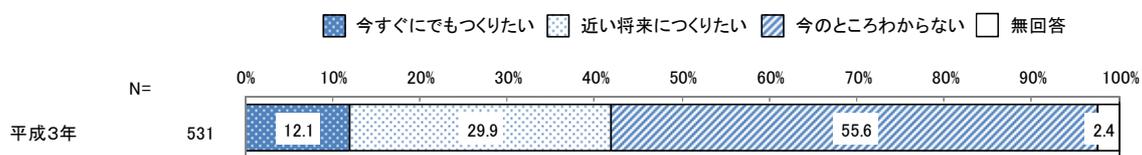
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて、取得したいと考えている年数が短くなる傾向にある。

居住地別にみると、小倉南区と八幡西区では「現在探している」及び「5年以内に取得したい」の割合が他の区に比べて高くなっている。



【参考:過去の調査結果】

平成3年の調査結果では、「今のところわからない」が55.6%と最も高く、次いで「近い将来につくりたい」が29.9%となっている。



ここからは、問8で「1」または「2」とお答えの方におたずねします。

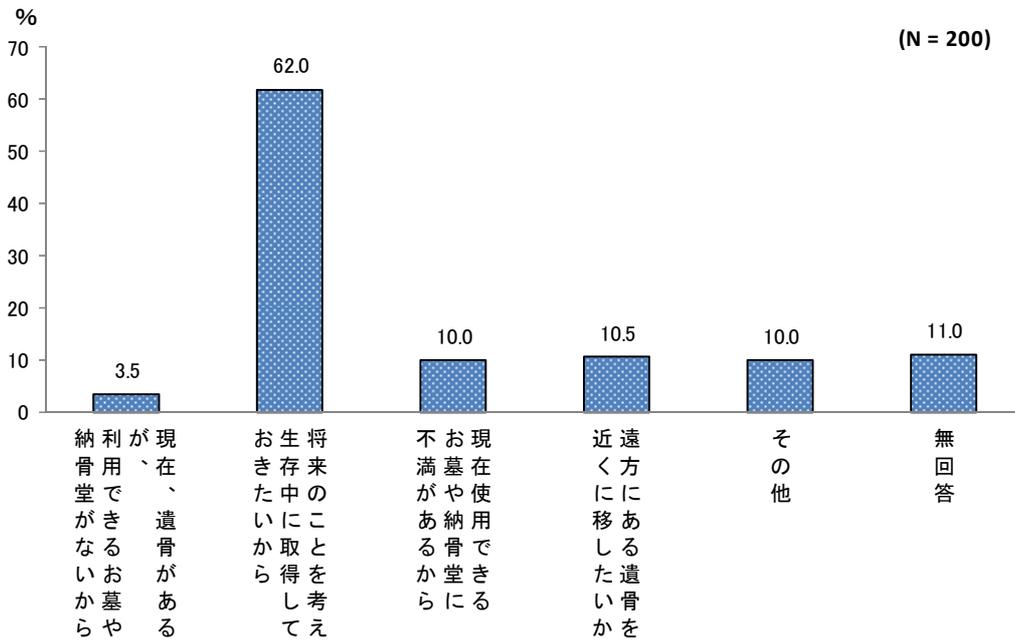
問8-2. 新たにお墓や納骨堂の取得を考えている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体では「将来のことを考え、生存中に取得しておきたいから」が62.0%と最も高く、「遠方にある遺骨を近くに移したいから」が10.5%、「現在使用できるお墓や納骨堂に不満があるから」及び「その他」として「世帯だけの墓地を持ちたい」や「管理負担軽減のため」が10.0%となっている。

性別にみると、女性では「将来のことを考え、生存中に取得しておきたいから」が65.8%と男性よりも9.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50代では「遠方にある遺骨を近くに移したいから」が18.4%と他の年代に比べて高くなっている。

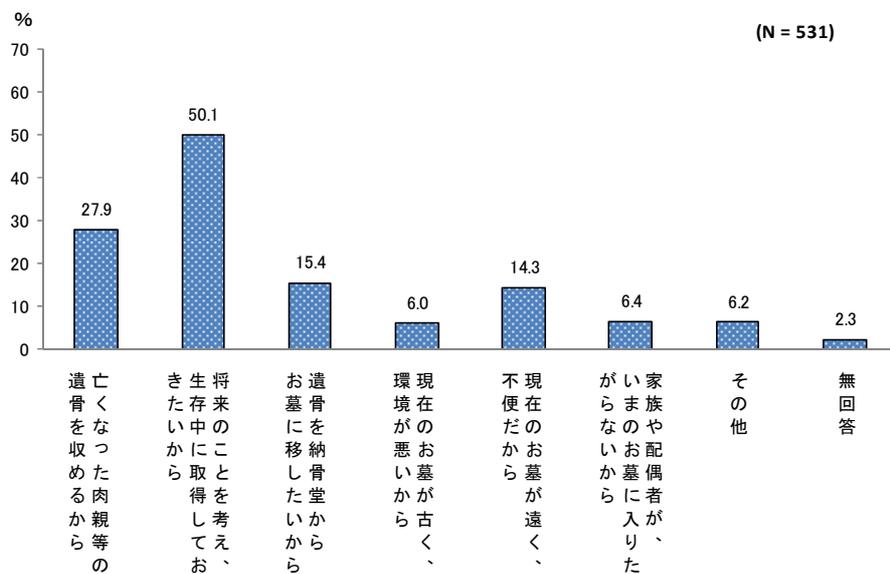
居住地別にみると、八幡東区では「現在、遺骨があるが、利用できるお墓や納骨堂がないから」が20.0%と他の区に比べて高くなっている。



	全体	納骨堂がないから	現在、遺骨があるが、	将来のことを考え、	現在使用できないお墓から	遠方にある遺骨を近くに	その他	無回答
全体	200	7	124	20	21	20	22	
	100.0	3.5	62.0	10.0	10.5	10.0	11.0	
性別								
男性	76	5	43	9	10	5	8	
	100.0	6.6	56.6	11.8	13.2	6.6	10.5	
女性	120	2	79	11	10	15	13	
	100.0	1.7	65.8	9.2	8.3	12.5	10.8	
年齢別								
20代	9	1	6	0	0	1	2	
	100.0	11.1	66.7	0.0	0.0	11.1	22.2	
30代	7	0	4	2	0	0	1	
	100.0	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3	
40代	25	1	11	3	2	3	7	
	100.0	4.0	44.0	12.0	8.0	12.0	28.0	
50代	38	1	25	4	7	4	3	
	100.0	2.6	65.8	10.5	18.4	10.5	7.9	
60代	43	2	25	3	5	3	5	
	100.0	4.7	58.1	7.0	11.6	7.0	11.6	
70歳以上	74	2	51	8	6	9	3	
	100.0	2.7	68.9	10.8	8.1	12.2	4.1	
居住地別								
門司区	21	1	12	3	5	2	4	
	100.0	4.8	57.1	14.3	23.8	9.5	19.0	
小倉北区	29	1	13	3	4	5	4	
	100.0	3.4	44.8	10.3	13.8	17.2	13.8	
小倉南区	52	1	33	6	5	4	6	
	100.0	1.9	63.5	11.5	9.6	7.7	11.5	
若松区	14	0	11	2	0	1	1	
	100.0	0.0	78.6	14.3	0.0	7.1	7.1	
八幡東区	15	3	9	1	0	1	2	
	100.0	20.0	60.0	6.7	0.0	6.7	13.3	
八幡西区	53	1	35	3	6	6	4	
	100.0	1.9	66.0	5.7	11.3	11.3	7.5	
戸畑区	12	0	9	2	0	1	0	
	100.0	0.0	75.0	16.7	0.0	8.3	0.0	

【参考:過去の調査結果】

平成3年の調査結果では、「将来のことを考え、生存中に取得しておきたいから」が50.1%と最も高く、次いで「亡くなった肉親等の遺骨を収めるから」が27.9%となっている。



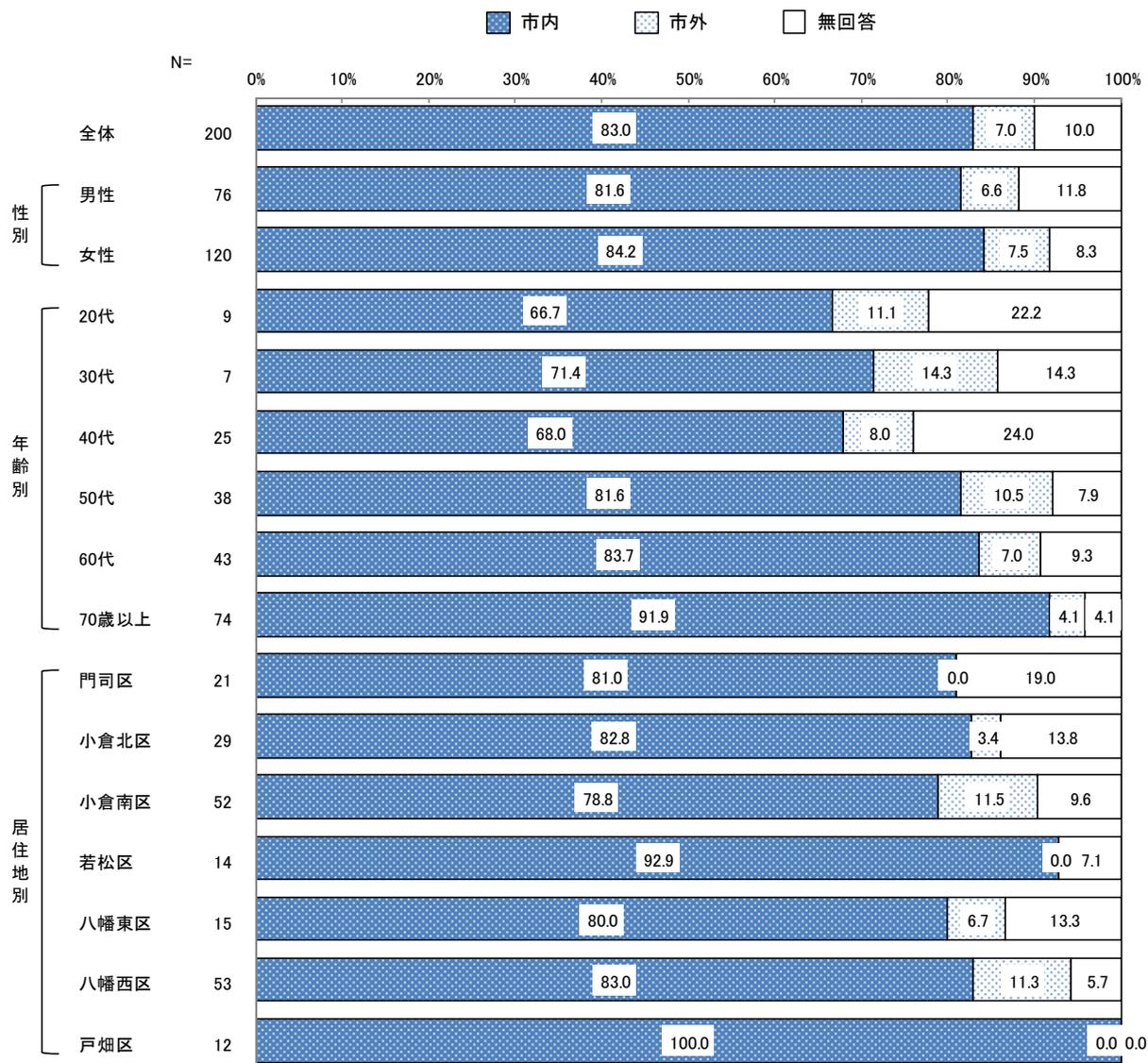
問8-3. お墓や納骨堂を取得するとしたら、どの地区を希望しますか。(〇はひとつだけ)

全体では「市内」が83.0%、「市外」が7.0%となっている。

性別による差はみられない。

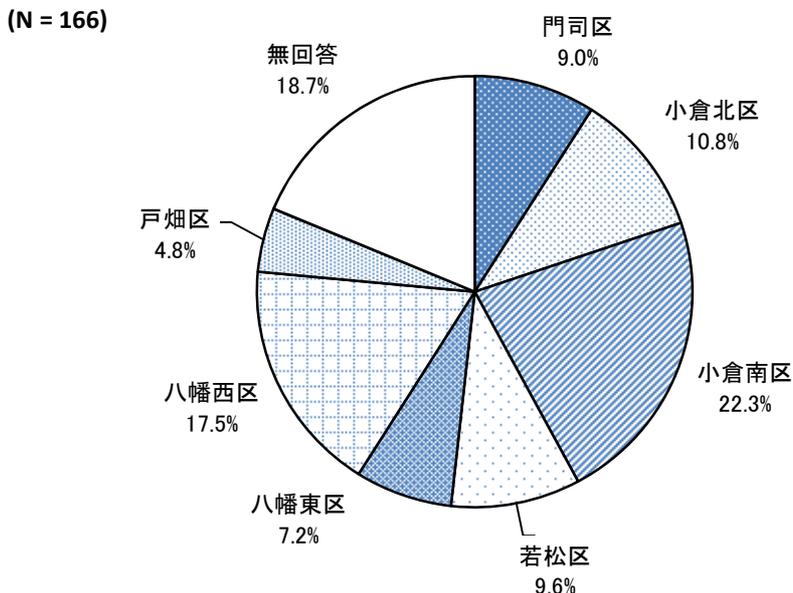
年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「市内」の割合が増加する傾向にある。

居住地別にみると、すべての区で「市内」の割合が最も高くなっている。「市外」の割合は小倉南区では11.5%、八幡西区では11.3%と比較的高くなっている。



【「市内」の内訳】

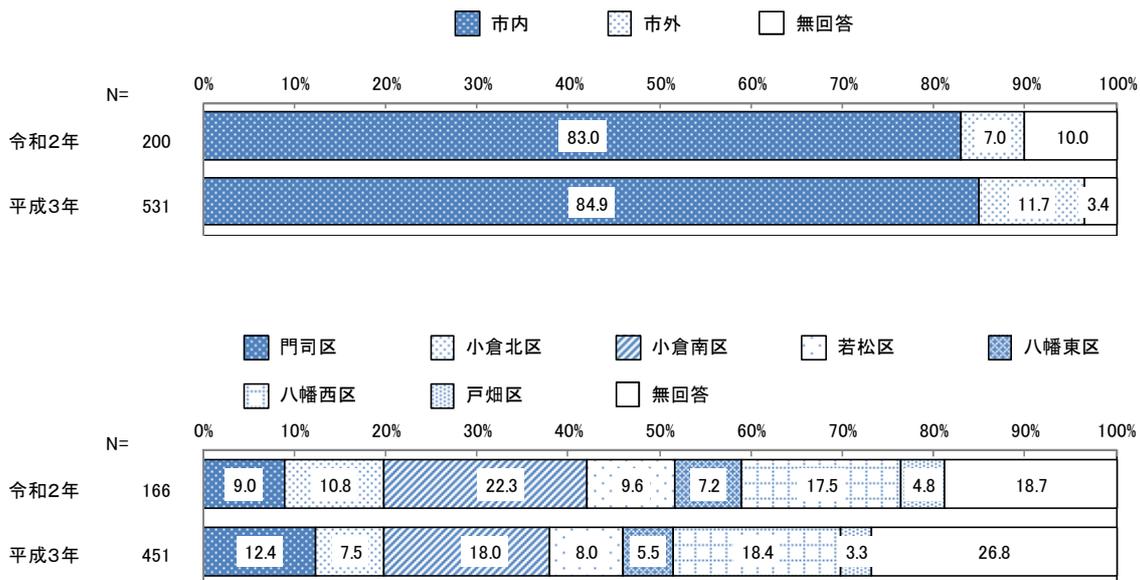
「市内」の内訳では、「小倉南区」が22.3%と最も高く、次いで「八幡西区」が17.5%、「小倉北区」が10.8%となっている。



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「市内」が8割を超え、概ね同程度となっている。

「市内」の内訳では「小倉南区」が4.3ポイント増加している。



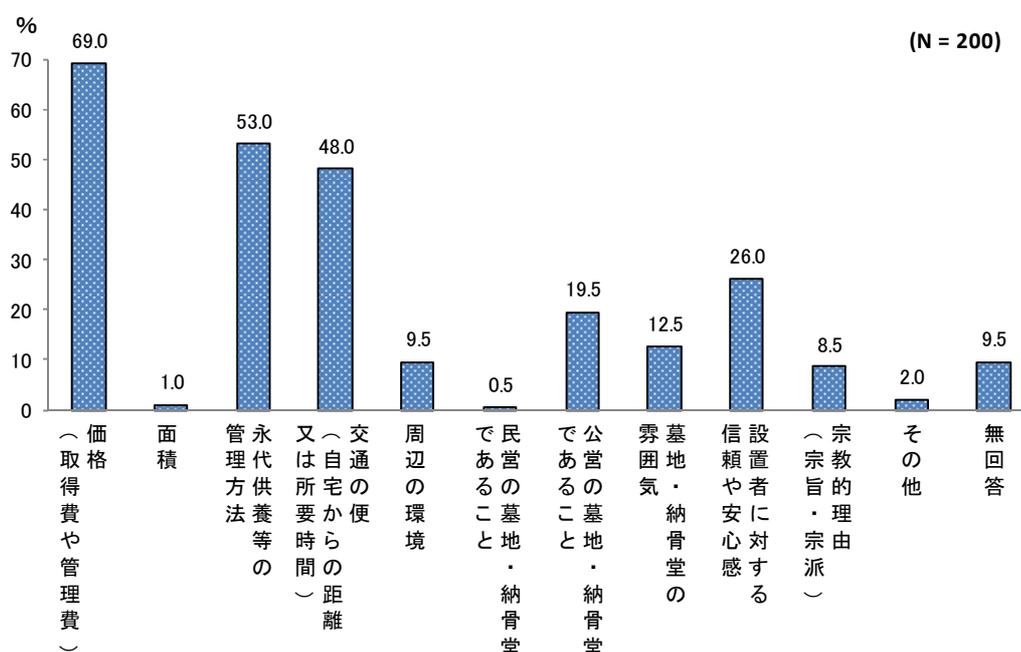
問8-4. お墓や納骨堂を選ぶときにどんな条件を重視しますか。(〇は3つまで)

全体では「価格(取得費や管理費)」が69.0%と最も高く、次いで「永代供養等の管理方法」が53.0%、「交通の便(自宅からの距離又は所要時間)」が48.0%となっている。

性別にみると、男女ともに「価格(取得費や管理費)」の割合が最も高くなっている。女性では「墓地・納骨堂の雰囲気」が18.3%と男性よりも15.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50代と60代では「永代供養等の管理方法」の割合が他の年代と比べて高くなっている。

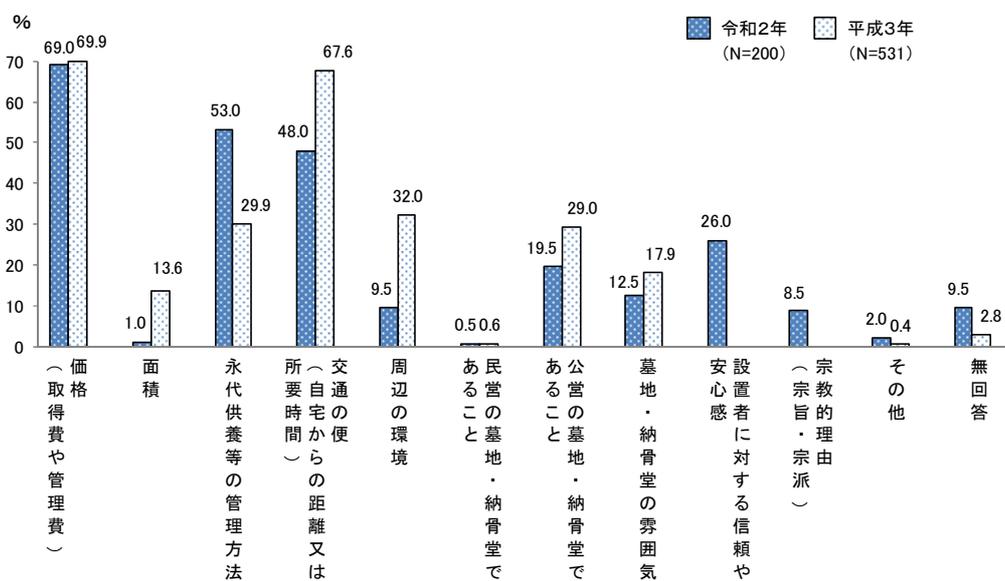
居住地別にみると、すべての区で「価格(取得費や管理費)」の割合が最も高く、戸畑区では91.7%と他の区に比べて高くなっている。



	全体	価格(取得費や管理費)	面積	永代供養等の管理方法	交通の便(自宅からの距離又は所要時間)	周辺の環境	民営の墓地・納骨堂であること	公営の墓地・納骨堂であること	墓地・納骨堂の雰囲気	設置者に対する信頼や安心感	宗教的理由(宗派・宗派)	その他	無回答
全体	200	138	2	106	96	19	1	39	25	52	17	4	19
	100.0	69.0	1.0	53.0	48.0	9.5	0.5	19.5	12.5	26.0	8.5	2.0	9.5
性別													
男性	76	51	2	39	39	7	1	15	2	20	7	2	7
	100.0	67.1	2.6	51.3	51.3	9.2	1.3	19.7	2.6	26.3	9.2	2.6	9.2
女性	120	84	0	64	57	12	0	23	22	31	9	2	12
	100.0	70.0	0.0	53.3	47.5	10.0	0.0	19.2	18.3	25.8	7.5	1.7	10.0
年齢別													
20代	9	6	0	3	2	1	0	3	1	2	0	0	2
	100.0	66.7	0.0	33.3	22.2	11.1	0.0	33.3	11.1	22.2	0.0	0.0	22.2
30代	7	5	1	1	4	1	0	0	3	1	2	0	1
	100.0	71.4	14.3	14.3	57.1	14.3	0.0	0.0	42.9	14.3	28.6	0.0	14.3
40代	25	17	0	12	10	4	0	0	3	5	1	0	6
	100.0	68.0	0.0	48.0	40.0	16.0	0.0	0.0	12.0	20.0	4.0	0.0	24.0
50代	38	30	0	25	21	3	0	4	6	7	3	0	2
	100.0	78.9	0.0	65.8	55.3	7.9	0.0	10.5	15.8	18.4	7.9	0.0	5.3
60代	43	28	0	25	19	4	0	9	4	14	2	0	4
	100.0	65.1	0.0	58.1	44.2	9.3	0.0	20.9	9.3	32.6	4.7	0.0	9.3
70歳以上	74	49	1	37	40	6	1	22	7	22	8	4	4
	100.0	66.2	1.4	50.0	54.1	8.1	1.4	29.7	9.5	29.7	10.8	5.4	5.4
居住地別													
門司区	21	14	0	11	9	3	0	1	3	5	2	1	3
	100.0	66.7	0.0	52.4	42.9	14.3	0.0	4.8	14.3	23.8	9.5	4.8	14.3
小倉北区	29	19	1	12	15	2	0	4	4	7	2	0	4
	100.0	65.5	3.4	41.4	51.7	6.9	0.0	13.8	13.8	24.1	6.9	0.0	13.8
小倉南区	52	39	1	27	20	7	0	16	5	15	5	1	4
	100.0	75.0	1.9	51.9	38.5	13.5	0.0	30.8	9.6	28.8	9.6	1.9	7.7
若松区	14	8	0	8	7	2	0	4	2	2	1	0	2
	100.0	57.1	0.0	57.1	50.0	14.3	0.0	28.6	14.3	14.3	7.1	0.0	14.3
八幡東区	15	9	0	6	10	1	1	2	1	3	1	0	3
	100.0	60.0	0.0	40.0	66.7	6.7	6.7	13.3	6.7	20.0	6.7	0.0	20.0
八幡西区	53	35	0	31	27	4	0	8	7	18	4	2	3
	100.0	66.0	0.0	58.5	50.9	7.5	0.0	15.1	13.2	34.0	7.5	3.8	5.7
戸畑区	12	11	0	8	8	0	0	3	2	1	1	0	0
	100.0	91.7	0.0	66.7	66.7	0.0	0.0	25.0	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0

【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「永代供養等の管理方法」が23.1ポイント増加している。一方、「周辺の環境」が22.5ポイント減少、「交通の便（自宅からの距離又は所要時間）」が19.6ポイント減少となっている。



※平成3年調査と選択肢が一部異なる。

「永代供養等の管理方法」→平成3年調査では「管理」

「交通の便（自宅からの距離又は所要時間）」→平成3年調査では「交通の便自宅からの距離又は所要時間」

「周辺の環境」→平成3年調査では「自然環境」

「民営の墓地・納骨堂であること」→平成3年調査では「民営墓地」

「公営の墓地・納骨堂であること」→平成3年調査では「公営墓地」

「墓地・納骨堂の雰囲気」→平成3年調査では「墓地の雰囲気」

※平成3年調査では「設置者に対する信頼や安心感」「宗教的理由（宗派）」はなし。

全員の方におたずねします。

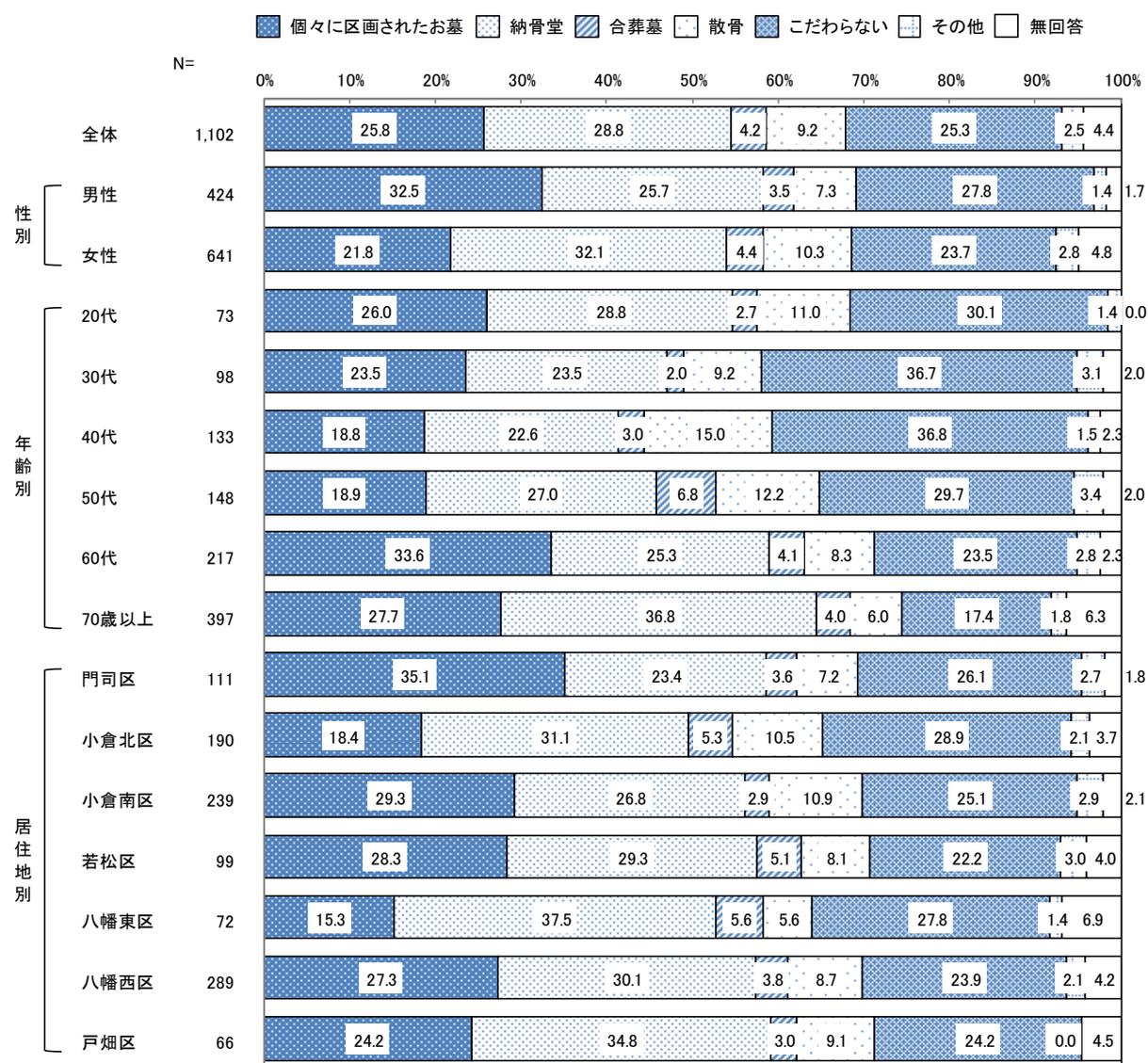
問9. 近年、葬送の形態が多様化しています。あなたはあなた自身(又は家族を)どのように葬られる(葬る)ことを希望しますか。(〇はひとつだけ)

全体では「納骨堂」が28.8%と最も高く、次いで「個々に区画されたお墓」が25.8%、「こだわらない」が25.3%となっている。

性別にみると、男性では「個々に区画されたお墓」が32.5%と女性よりも10.7ポイント高く、女性では「納骨堂」が32.1%と男性よりも6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50代以上では年齢が高くなるにつれて「こだわらない」の割合が減少する傾向にある。

居住地別にみると、門司区では「個々に区画されたお墓」が35.1%と他の区に比べて高くなっている。



市立霊園について全員の方におたずねします。

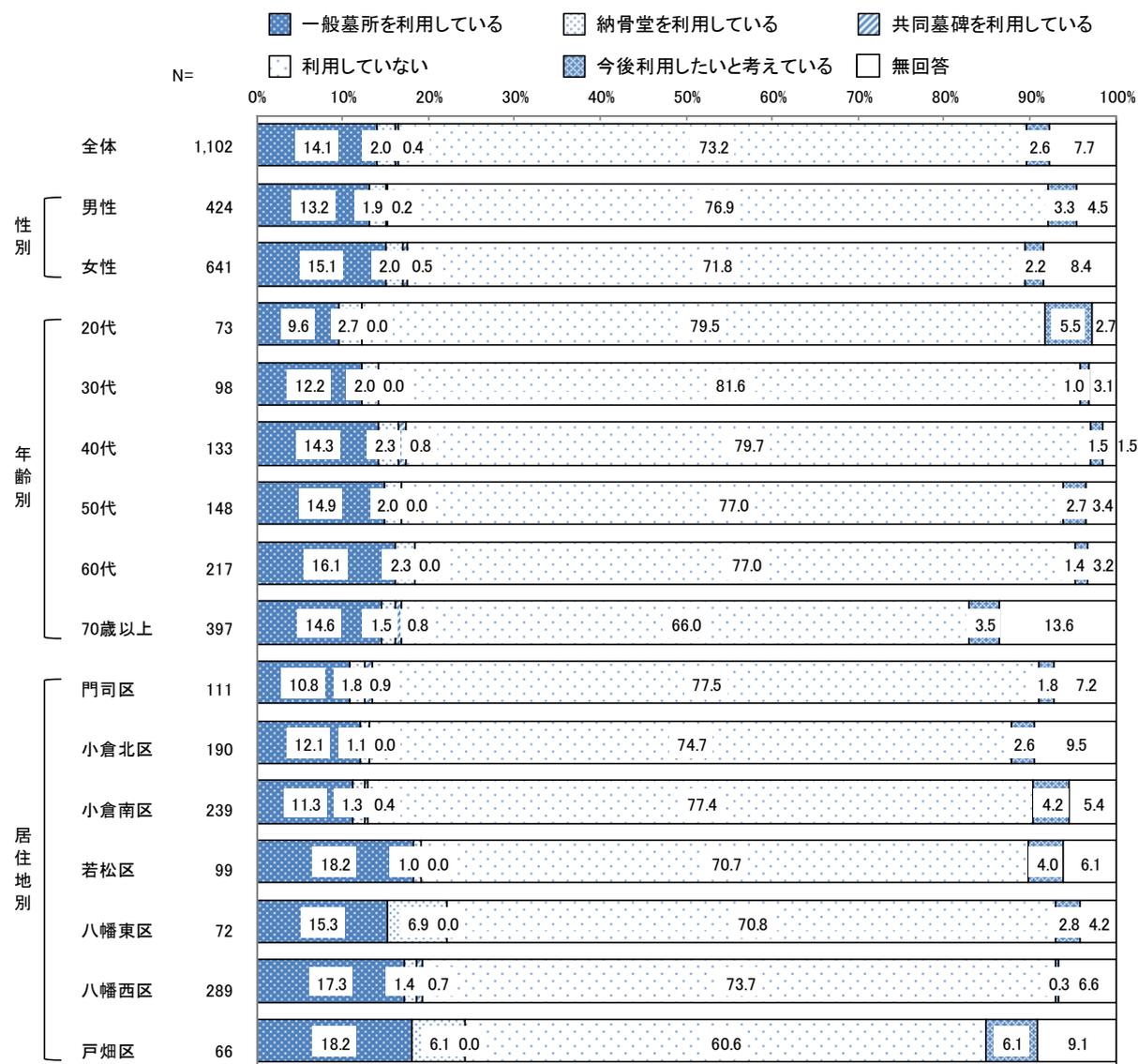
問10. あなたは北九州市立霊園を利用していますか。(○はひとつだけ)

全体では「利用していない」が73.2%と最も高く、次いで「一般墓所を利用している」が14.1%、「今後利用したいと考えている」が2.6%となっている。

性別にみると、男性は「利用していない」が76.9%と女性よりも5.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、60代では「一般墓所を利用している」が16.1%と他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、戸畑区では「一般墓所を利用している」「納骨堂を利用している」の合計が24.3%と他の区に比べて高くなっている。



問10で「1」～「3」とお答えの方のみにおたずねします。

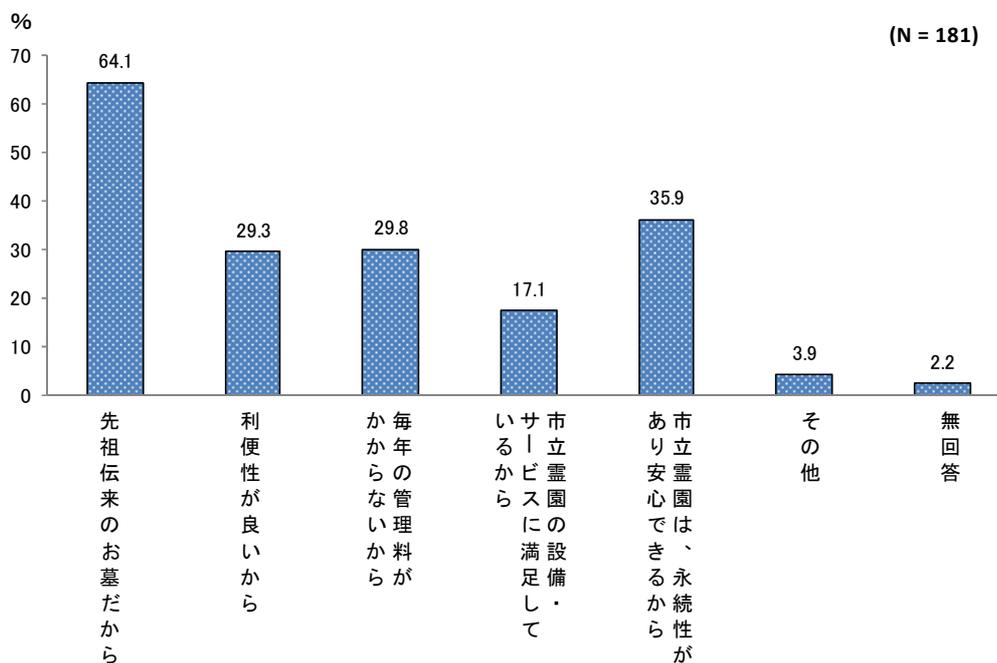
問11. あなたが北九州市立霊園を利用する理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体では「先祖伝来のお墓だから」が 64.1%と最も高く、次いで「市立霊園は、永続性があり安心できるから」が 35.9%、「毎年の管理料がかからないから」が 29.8%となっている。

性別にみると、男性では「市立霊園は、永続性があり安心できるから」が 47.7%と女性よりも 18.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、60代以下では「先祖伝来のお墓だから」の割合が最も高くなっている。一方 70歳以上では「市立霊園は、永続性があり安心できるから」が 52.2%と最も高くなっている。

居住地別にみると、戸畑区では「利便性が良いから」「市立霊園は、永続性があり安心できるから」の割合が他の区に比べて高くなっている。



		全体	先祖伝来のお墓だから	利便性が良いから	毎年の管理料がかからないから	市立霊園の設備・サービスに満足しているから	市立霊園は、永続性があり安心できるから	その他	無回答
全体		181	116	53	54	31	65	7	4
		100.0	64.1	29.3	29.8	17.1	35.9	3.9	2.2
性別	男性	65	39	24	26	15	31	1	0
		100.0	60.0	36.9	40.0	23.1	47.7	1.5	0.0
女性	113	74	28	27	16	33	6	4	
		100.0	65.5	24.8	23.9	14.2	29.2	5.3	3.5
年齢別	20代	9	7	1	1	0	0	1	0
		100.0	77.8	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0
	30代	14	13	2	4	1	2	0	0
		100.0	92.9	14.3	28.6	7.1	14.3	0.0	0.0
	40代	23	19	6	4	3	7	1	0
		100.0	82.6	26.1	17.4	13.0	30.4	4.3	0.0
	50代	25	20	5	4	3	6	0	0
	100.0	80.0	20.0	16.0	12.0	24.0	0.0	0.0	
60代	40	20	17	15	3	14	3	1	
	100.0	50.0	42.5	37.5	7.5	35.0	7.5	2.5	
70歳以上	67	34	21	25	21	35	2	3	
	100.0	50.7	31.3	37.3	31.3	52.2	3.0	4.5	
居住地別	門司区	15	9	3	3	0	4	1	1
		100.0	60.0	20.0	20.0	0.0	26.7	6.7	6.7
	小倉北区	25	16	6	5	2	7	2	2
		100.0	64.0	24.0	20.0	8.0	28.0	8.0	8.0
	小倉南区	31	18	6	7	2	6	3	0
		100.0	58.1	19.4	22.6	6.5	19.4	9.7	0.0
	若松区	19	14	6	5	3	6	0	0
		100.0	73.7	31.6	26.3	15.8	31.6	0.0	0.0
	八幡東区	16	11	1	3	1	7	0	0
	100.0	68.8	6.3	18.8	6.3	43.8	0.0	0.0	
八幡西区	56	33	20	23	18	23	1	1	
	100.0	58.9	35.7	41.1	32.1	41.1	1.8	1.8	
戸畑区	16	12	10	7	5	11	0	0	
	100.0	75.0	62.5	43.8	31.3	68.8	0.0	0.0	

全員の方におたずねします。

問12. あなたが北九州市立霊園に求めるものは何ですか。(〇はいくつでも)

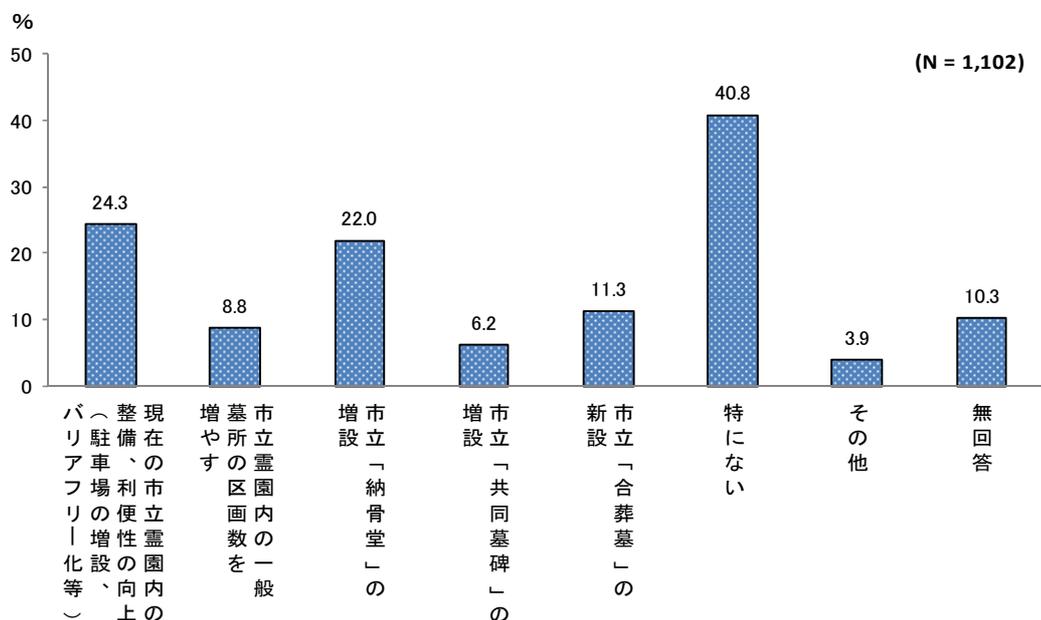
全体では「特にない」が40.8%と最も高く、次いで「現在の市立霊園内の整備、利便性の向上（駐車場の増設、バリアフリー化等）」が24.3%、「市立『納骨堂』の増設」が22.0%となっている。

「その他」として、「散骨や樹木葬等への積極的な取組」や「管理サービス面の向上」等が3.9%となっている。

性別による差はみられない。

年齢別にみると、30代では「特にない」が54.1%と他の年代に比べて高くなっている。40代から60代では「市立『納骨堂』の増設」及び「市立『合葬墓』の新設」の割合が他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、戸畑区では「現在の市立霊園内の整備、利便性の向上（駐車場の増設、バリアフリー化等）」が33.3%と、他の区に比べて高くなっている。



	全体	バ（整現在の市立霊園内の整備、利便性の向上（駐車場の増設、バリアフリー化等）」	増設 市立「納骨堂」の増設	増設 市立「共同墓碑」の増設	新設 市立「合葬墓」の新設	市立「合葬墓」の新設	特にない	その他	無回答
全体	1102	268	97	242	68	125	450	43	114
性別	100.0	24.3	8.8	22.0	6.2	11.3	40.8	3.9	10.3
男性	424	94	44	84	20	35	192	14	36
女性	641	164	50	152	44	82	247	28	68
年齢別	100.0	25.6	7.8	23.7	6.9	12.8	38.5	4.4	10.6
20代	73	22	9	14	1	4	35	5	0
30代	98	29	3	12	5	7	53	3	3
40代	133	33	13	32	12	19	59	5	5
50代	148	34	19	41	9	22	61	6	5
60代	217	67	26	57	14	27	74	10	15
70歳以上	397	73	24	80	23	38	158	13	76
居住地別	100.0	18.4	6.0	20.2	5.8	9.6	39.8	3.3	19.1
門司区	111	31	18	26	6	10	45	0	11
小倉北区	190	40	14	32	9	24	89	7	21
小倉南区	239	59	20	55	13	25	97	15	18
若松区	99	29	8	22	7	16	42	2	8
八幡東区	72	20	3	19	3	6	28	6	4
八幡西区	289	57	29	65	21	28	118	10	32
戸畑区	66	22	2	17	5	8	21	2	10
全体	100.0	33.3	3.0	25.8	7.6	12.1	31.8	3.0	15.2

問13. 墓地や納骨堂に関するご意見、ご要望等がございましたら、何でも結構ですから自由にご記入ください。

【葬送の形態に関するもの】

- ・ 墓を守るのは大きな負担です。私自身4つ（私の両親、妻の両親）の墓を守らないといけません。ただ、それも私の代で終わらせ、子の代には合理的な負担で守れる墓があると助かります。その時に、うちの場合「合葬墓」では親族を説得する自信はありませんが、タワーパーキングみたいな納骨堂なら説得できるかもしれません。私や妻は自分が入るのは合葬墓でいいと思っています。いずれにしろ、多様化が進んでおり、かつ過渡期的な現在は、選択肢は多いほうありがたいです。
- ・ 各家庭で自由に選択できるものなので、子供の負担が重くならない方法（葬送）をとることが望ましいと考えます。
- ・ 墓地や納骨堂は、費用、維持費、などが高く管理しづらいイメージです。そういう面では合葬墓が妥当だけど、私は知らない人と同じ所に入るのがいやなので、管理費も安く、個々に分かれているのがあればいいと思いました。
- ・ 子供の代まではお墓を守るように言っているが、孫の代（現在小学生）ではどうなるか分からない。それはそれで仕方ないかなと思っている。
- ・ 近年、お墓を守る（継ぐ？）人がいなくなり、困っていることも多いと聞きます。永代供養や期間利用・樹木葬などさまざまな希望に対応してくれるところがあると助かると思います。
- ・ 少子高齢化のなか、墓や納骨堂のお世話ができなくなり、放置されることが多くなると思われます。永代供養が可能で、子孫に負担のかからない葬り方が選択できるよう希望します。
- ・ 現在利用している納骨堂は市外で遠いので近くで利便性の良い価格的にも合う所があれば利用したい。将来的には管理する家族もいなくなるので永代供養等の件でも考えなくてはならない。納骨堂から合葬墓への移行など相談しながらできるようになればと思っている。
- ・ 家族を大切にするという意味でお墓や納骨堂は、日本の良い文化だと思います。子供達にはお墓の意味をよく考えて、是非地元（北九州市）で守ってほしいと思います。

【費用面に関するもの】

- ・ 時代に応じた価格設定がいいと思います。今の時代、不景気ですから、若い人達からも計画出来る様にしてもらえるといいと思います。
- ・ 墓地、納骨堂ともに高額すぎると感じる。
- ・ 使用料が高く感じる。核家族化が進み、墓を継ぐ問題などが出てくるので、樹木葬など墓の維持などが簡単で、子どもたちに負担にならないようしくみができるといいと思う。

【意見、要望等】

- ・ 北九州市立霊園を知らなかった。遠くにある墓の移設を検討したい。
- ・ 市立霊園がどこにあるのかわかりにくい。募集もわからない。
- ・ 今後の社会や考え方の変化に即した、行政サービスのあり方を検討してほしい。
- ・ 23年間、北九州で生活していますが、正直若い世代では墓地や納骨堂について知らない人が多いかなと思います。もっと若者への認知度を高めることで、将来の人生設計の中で、墓地や納骨堂について考えるのかな？と思いました。

- 市立の「納骨堂」を多く増設して欲しいと思います。個人で墓を造る金銭的に余裕のない人も多くいると思います！！
- 家族（子供達含め）皆で整備されている行きやすい（お参りしやすい）墓地環境にしてほしい。お墓が怖いと思うことのない様な電灯など明るい環境にしてほしい。
- 墓地の整備は管理者がきちんとすべき。個人の区画以外の共有の道や間などの草取り。大雨が降った後の溝の土、砂利のとりぞき、裏山などがあれば大雨後の土砂崩れなどのチェック、補修など、きちんとすべき。
- 墓所の維持、継続が困難になってきました。そのような点について相談が出来る窓口が欲しいと思います。
- 階段ばかり、駐車スペースも少ししかなく、とにかく不便でした。高齢化が進み、それでなくても墓を守っていく人が減少する中、平地でお墓に行きやすいような所が良いです。とにかく、階段とかは避けたいものです。

2-3 合葬墓について

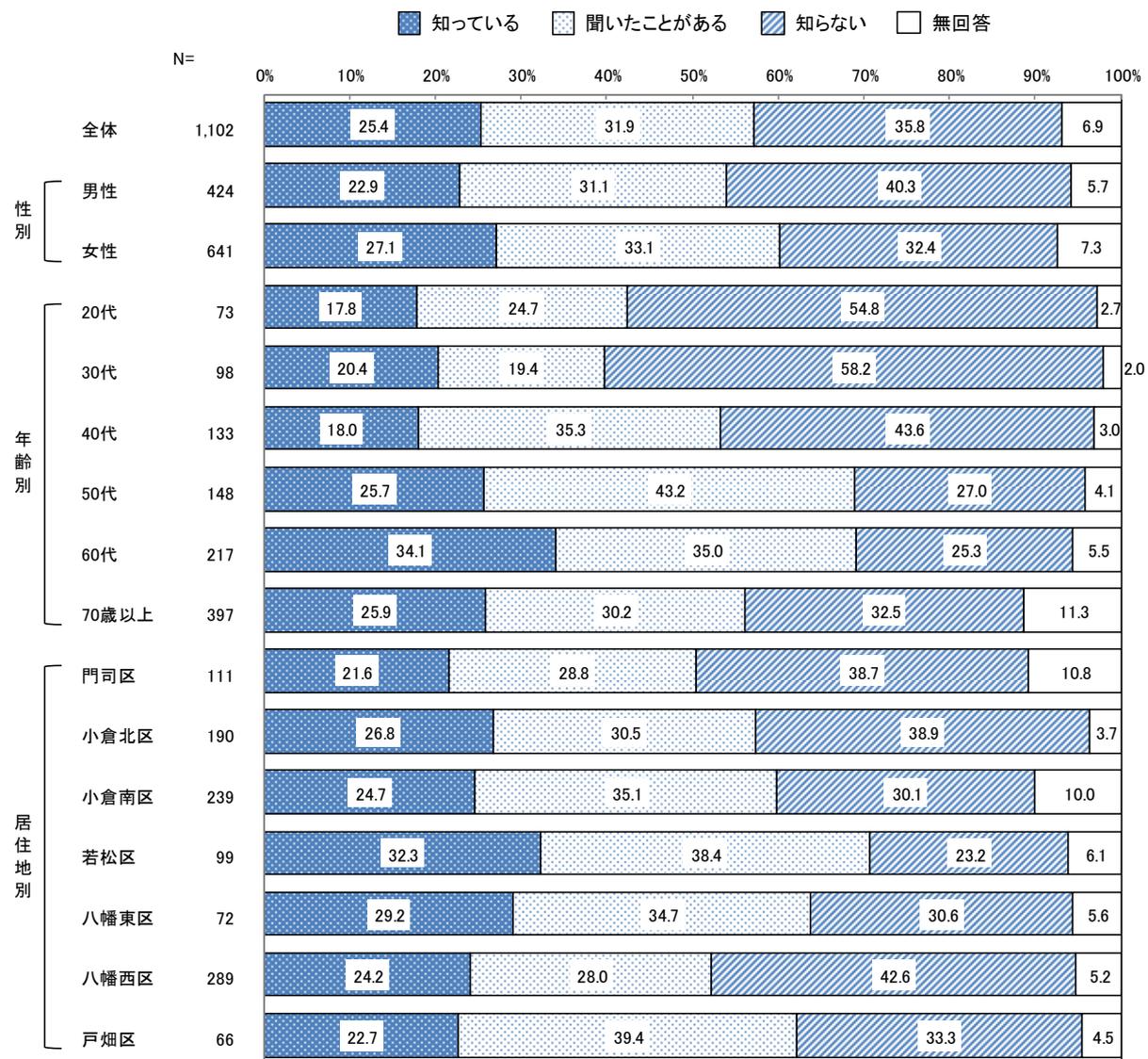
問14. あなたは合葬墓を知っていますか。(〇はひとつだけ)

全体では「知らない」が35.8%と最も高く、次いで「聞いたことがある」が31.9%、「知っている」が25.4%となっている。

性別にみると、「知っている」は女性では27.1%と男性よりも4.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50代以上で「知っている」の割合が比較的高くなっており、60代では34.1%と他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、若松区では「知っている」が32.3%と、他の区に比べて高くなっている。「聞いたことがある」の割合は戸畑区では39.4%、若松区では38.4%と、比較的高くなっている。



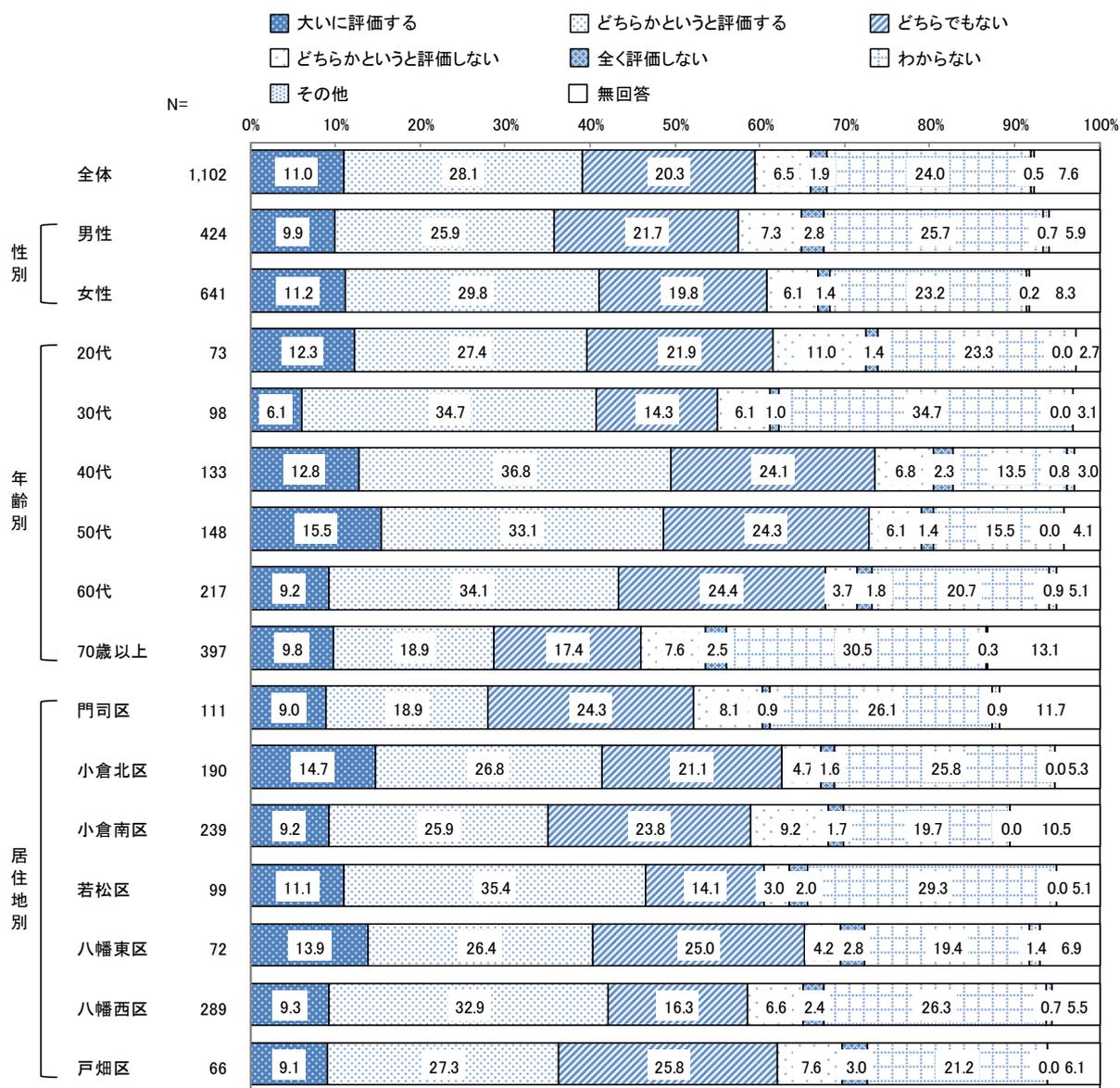
問15. あなたは合葬墓についてどのように考えますか。(〇はひとつだけ)

全体では「どちらかという評価する」が28.1%と最も高く、次いで「わからない」が24.0%、「どちらでもない」が20.3%となっている。

性別にみると、女性では「大いに評価する」「どちらかという評価する」の合計が41.0%と男性よりも5.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50代では「大いに評価する」が15.5%と他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、小倉北区と八幡東区では「大いに評価する」が約14%、若松区では「どちらかという評価する」が35.4%と、それぞれ他の区に比べて高くなっている。



問15で「1」または「2」とお答えの方のみにおたずねします。

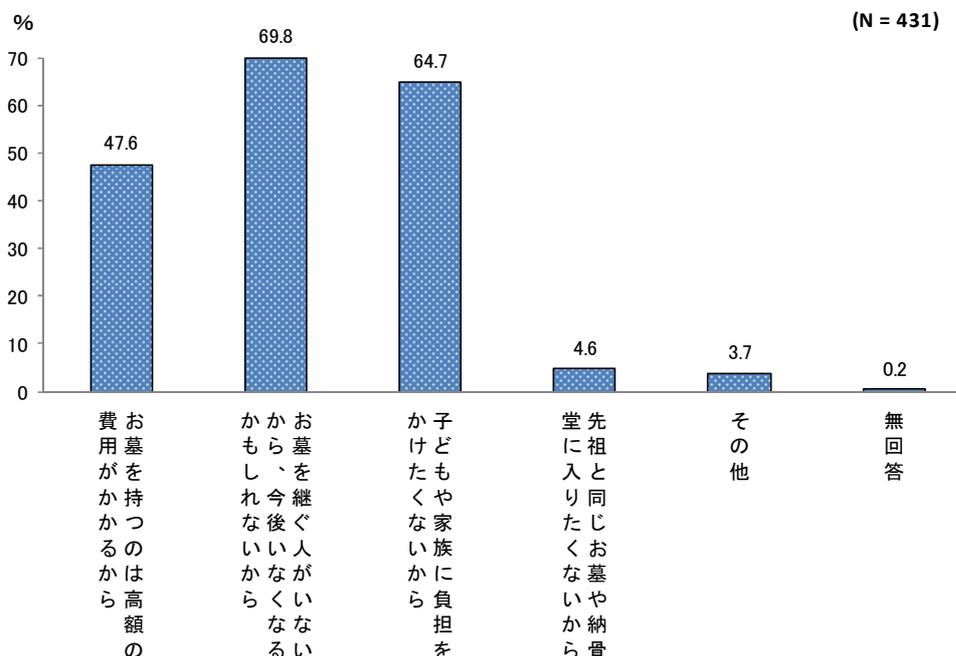
問15-1. 合葬墓を評価する理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体では「お墓を継ぐ人がいないから、今後いなくなるかもしれないから」が69.8%と最も高く、次いで「子どもや家族に負担をかけたくないから」が64.7%、「お墓を持つのは高額な費用がかかるから」が47.6%となっている。

性別による差はみられない。

年齢別にみると、50代では「子どもや家族に負担をかけたくないから」が76.4%と最も高く、他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、八幡西区を除いたすべての区で「お墓を継ぐ人がいないから、今後いなくなるかもしれないから」の割合が最も高くなっている。八幡西区では「子どもや家族に負担をかけたくないから」が71.3%と最も高くなっている。



		全体	お墓を持つのは高額な費用がかかるから	お墓を継ぐ人がいないから、今後いなくなるかもしれないから	子どもや家族に負担をかけたくないから	先祖と同じお墓や納骨堂に入りたくないから	その他	無回答
全体		431	205	301	279	20	16	1
		100.0	47.6	69.8	64.7	4.6	3.7	0.2
性別	男性	152	72	103	100	5	8	1
	女性	263	128	188	169	13	8	0
		100.0	48.7	71.5	64.3	4.9	3.0	0.0
年齢別	20代	29	16	22	18	2	3	0
	30代	40	25	32	28	2	2	0
	40代	66	37	44	43	4	4	0
	50代	72	33	52	55	2	0	0
	60代	94	41	63	58	5	2	1
	70歳以上	114	48	78	67	3	5	0
	全体	100.0	42.1	68.4	58.8	2.6	4.4	0.0
居住地別	門司区	31	13	21	19	1	1	0
	小倉北区	79	38	55	51	2	6	0
	小倉南区	84	41	58	51	6	4	0
	若松区	46	26	36	29	1	1	0
	八幡東区	29	13	20	15	2	2	0
	八幡西区	122	61	83	87	6	2	1
	戸畑区	24	8	18	17	0	0	0
	全体	100.0	44.8	69.0	51.7	6.9	6.9	0.0
	八幡西区	100.0	50.0	68.0	71.3	4.9	1.6	0.8

問15で「4」または「5」とお答えの方のみにおたずねします。

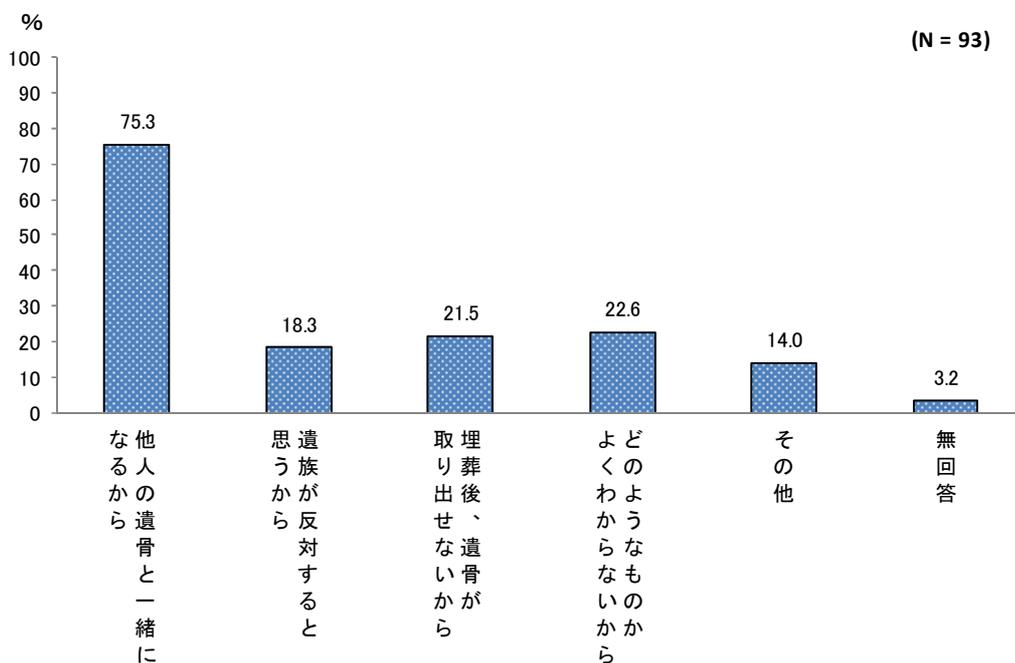
問15-2. 合葬墓を評価しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

全体では「他人の遺骨と一緒にいるから」が75.3%と最も高く、次いで「どのようなものかよくわからないから」が22.6%、「埋葬後、遺骨が取り出せないから」が21.5%、「その他」として、「個別墓がよいから」や「なんとなく受け入れられない」が14.0%となっている。

性別による差はみられない。

年齢別にみてもすべての年代で「他人の遺骨と一緒にいるから」の割合が6割以上と最も高くなっている。

居住地別にみてもすべての区で「他人の遺骨と一緒にいるから」の割合が最も高く、小倉北区と門司区では9割台と比較的高くなっている。



		全体	他人の遺骨と一緒にいるから	遺族が反対すると思うから	埋葬後、遺骨が取り出せないから	どのようなものかよくわからないから	その他	無回答
全体		93	70	17	20	21	13	3
		100.0	75.3	18.3	21.5	22.6	14.0	3.2
性別	男性	43	31	7	7	9	6	2
	女性	48	37	9	13	12	7	1
		100.0	77.1	18.8	27.1	25.0	14.6	2.1
年齢別	20代	9	7	1	2	2	2	0
		100.0	77.8	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0
	30代	7	5	2	3	3	1	0
		100.0	71.4	28.6	42.9	42.9	14.3	0.0
	40代	12	10	1	2	4	1	0
		100.0	83.3	8.3	16.7	33.3	8.3	0.0
	50代	11	7	1	2	2	1	1
	100.0	63.6	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	
60代	12	8	2	5	4	2	2	
	100.0	66.7	16.7	41.7	33.3	16.7	16.7	
70歳以上	40	31	9	6	6	6	0	
	100.0	77.5	22.5	15.0	15.0	15.0	0.0	
居住地別	門司区	10	9	1	4	3	1	0
		100.0	90.0	10.0	40.0	30.0	10.0	0.0
	小倉北区	12	11	1	1	3	0	0
		100.0	91.7	8.3	8.3	25.0	0.0	0.0
	小倉南区	26	19	5	4	4	6	1
		100.0	73.1	19.2	15.4	15.4	23.1	3.8
	若松区	5	3	1	2	1	0	1
		100.0	60.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0
	八幡東区	5	3	1	0	2	1	0
	100.0	60.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	
八幡西区	26	17	6	6	7	5	1	
	100.0	65.4	23.1	23.1	26.9	19.2	3.8	
戸畑区	7	6	1	3	1	0	0	
	100.0	85.7	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	

全員の方におたずねします。

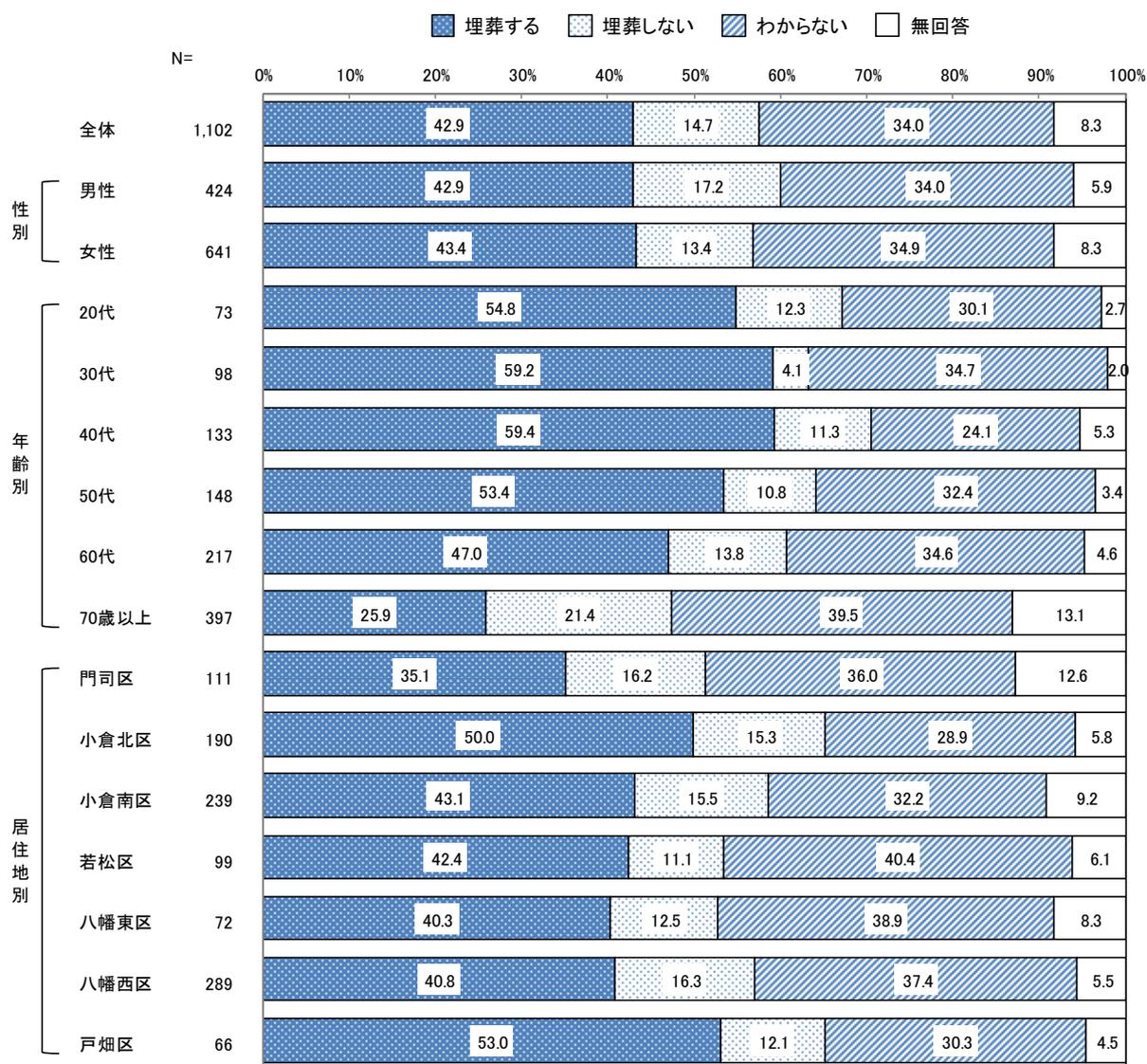
問16. 家族が合葬墓への埋葬を希望した場合、あなたは家族の希望通り合葬墓に埋葬しますか。(○はひとつだけ)

全体では「埋葬する」が42.9%と最も高く、次いで「わからない」が34.0%、「埋葬しない」が14.7%となっている。

性別による差はみられない。

年齢別にみると、70歳以上では「埋葬しない」が21.4%と、他の年代に比べて高くなっており、「埋葬する」は25.9%と他の年代の約半数となっている。

居住地別にみると「埋葬する」の割合が戸畑区では53.0%、小倉北区では50.0%と比較的高くなっている。



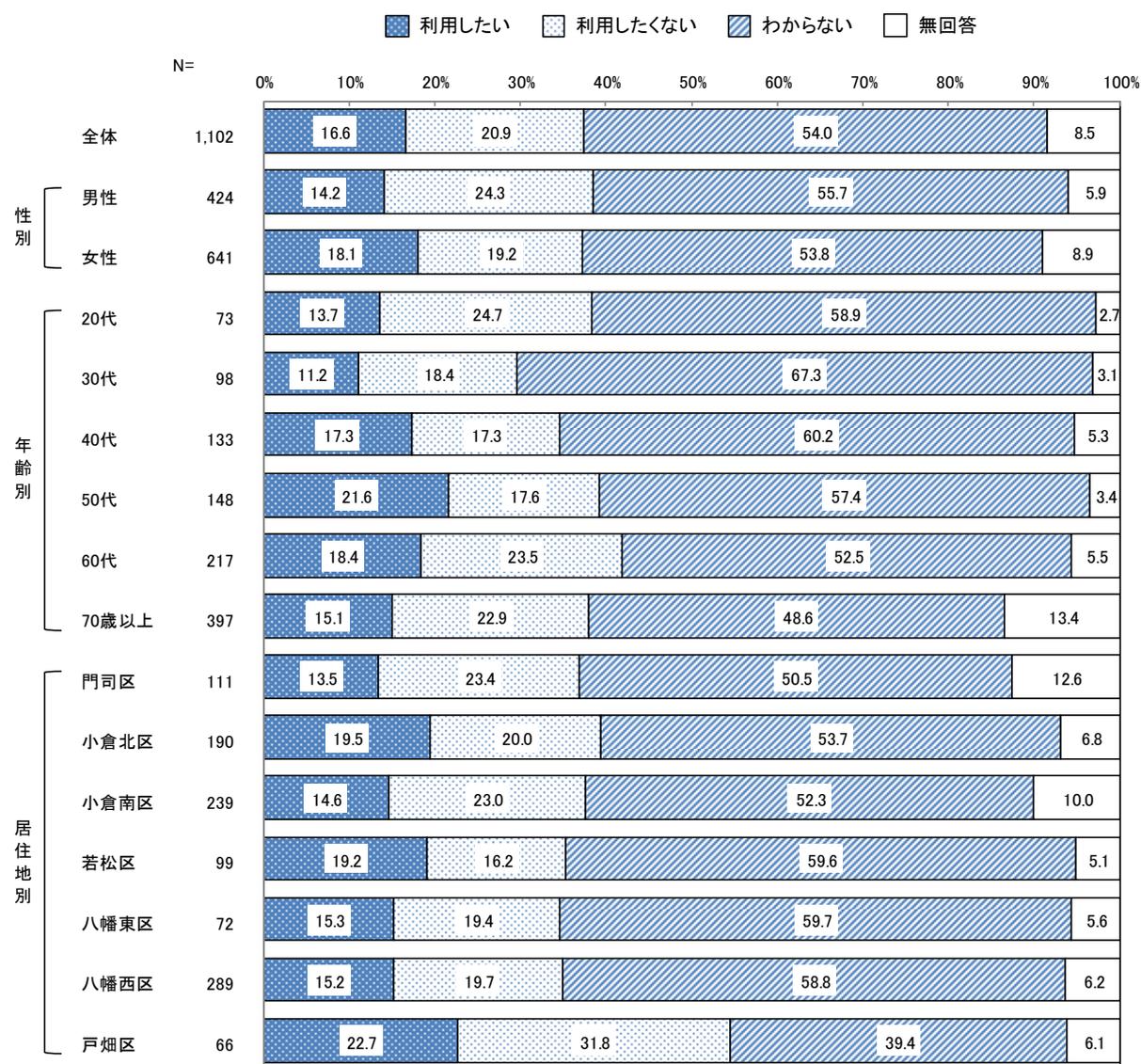
問17. 北九州市が市立の合葬墓を設置した場合、あなたは利用したいですか。(〇はひとつだけ)

全体では「わからない」が54.0%と最も高く、次いで「利用したくない」が20.9%、「利用したい」が16.6%となっている。

性別にみると、男性では「利用したくない」の割合が24.3%と女性よりも5.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50代では「利用したい」が21.6%と他の年代に比べて高くなっている。

居住地別にみると、戸畑区では「利用したい」が22.7%、「利用したくない」が31.8%と、ともに他の区に比べて高くなっており、合葬墓の利用について明確な意識を持つ人が多くなっている。



問17で「1」または「2」とお答えの方のみにおたずねします。

問17-1. 市立の合葬墓を利用したい理由または利用したくない理由は何ですか。自由にご記入ください。

利用したい理由

【管理面に関するもの】

- ・ 個人でお墓や納骨堂を管理していくのは、長い目でみて大変に思います。市が運営する合葬墓だと維持管理をしっかりと行っていただけるのではないかと思います、利用する側としては安心に思います。
- ・ 市立であれば、市が管理してくれると思った。もし、将来管理してくれる人がいなくなってしまう時のことを考えると信頼できる人に管理してほしい。
- ・ 墓を継いでくれる者がいないため。また民間では高価でかつ長く管理してもらえる保証がないため、合葬墓であれば公的（市立）な機関が運営してくれる方が安心。
- ・ 管理面において信頼がおける。
- ・ 子供がいないので、自分達でできるかたちの埋葬をしたいと思っているからです。
- ・ 維持・管理が必要ないので、負担が少ない。子供に迷惑をかけたくない。

【費用面に関するもの】

- ・ 費用の面でみてもお墓を購入するよりは安く済む点も魅力です。
- ・ 費用面で安心できる。

【その他】

- ・ 利用したいとは思いますが、夫婦・家族の遺骨が手元になくなる事が寂しいです。

利用したくない理由

【既に墓を所有】

- ・ 先祖代々のお墓があるので利用する必要がないから。
- ・ 先祖代々のお墓に入る事が当たり前だと思っているから。幸い後継ぎも居るので、わざわざ合葬墓は利用しないが、もし自分に身内がおらず独りなら、考えるかもしれない。
- ・ 樹木葬購入した。
- ・ 先祖からお墓があり、守っていかなくてはいけない為。
- ・ 合葬墓については、とても良いと思うが、先祖代々のお墓があるので今のところはそこへ入る予定である。
- ・ すでに自分が入れる個別のお墓があるため。もし、無い状態でしたら合葬墓でもよいと思うと思います。
- ・ 一人がいいので。父は納骨堂も嫌がって自分でお墓を建てたので、その気持ちは大事にしたい。どれも管理できなくなっても、このままでいいと思っています。

【墓が不要】

- ・私自身は死後、葬式も納骨も不要と考えている。ただ火葬して廃棄してくれればよい。ゆえに、合葬墓に限らず、墓が不要なので、利用しない。
- ・自分は散骨を希望しているため利用はしない。また、他者の人と同じ墓に入るのは嫌なのではないか...

【合葬墓が嫌・個別墓が良い】

- ・他人と一緒にの墓には入れたくないし（家族）、入りたくない（自分）。一度納骨したらその後、墓を買ってそちらに移したりできないから。
- ・私は娘一人ですが、やはり自分が生きてきた証として合葬墓に入りたくない。でも最後には、娘にまかせざるを得ないと思う。
- ・私個人は個別に埋葬されたいと思うし、先祖もそのように祭られてきているのでそれを崩したくない。ただ、これから継いでいく人達はそれぞれの考えがあるだろうから、強制はできない。
- ・合葬自体に賛同できない。
- ・やはり個人名義の納骨堂等であとに残る人に供養してほしい。

【その他】

- ・お墓は大切だったご先祖様を供養するところで、お墓参りは、家族にとっては大事なことだと思います。子供、孫に受け継がれていくことだと思っています。流行によって、樹木葬とかはしたくありません。
- ・あっても良いが利用は個人の勝手。
- ・合葬になじみがなく違和感があるから。どのように供養されるのか、整備や管理がどのように行われるかに不安があるから。

問18. 合葬墓に関するご意見、ご要望等がございましたら、何でも結構ですから自由にご記入ください。

【肯定】

- ・今現在、自分の墓があるから合葬墓を考えていないが何もなかったら是非利用したいと思う。
- ・自分は親族のお墓に入ることに決まっていますが、もし無ければ合葬墓で良いと思うし、ずっと先にその親族達が墓じまいをしたければ、合葬墓や共同墓碑が利用できるのは良いことと安心できます。将来貧困者が増加することを考えると、費用的にも助かるし、不安も減り幸なことと思うので、知らない人も多いと思うのでもっと公示されたらと思います。
- ・基本的には賛成です。私自身は各家系で墓を維持するのは、これからの時代大変だと思っているので、合葬墓は散骨や樹木葬などと同じく選択肢の一つになります。後は残っている人の受け止めにかかっているかと思います。
- ・これから先は墓や納骨堂を管理する家族が無くなっていくと思われるので市立の霊園であれば永続的で、安心して利用できるのではないかと思います。合葬墓を増やしてもらえれば、将来的に安心して利用できるのではないかと思います。
- ・現在は墓があるので、それを利用します。しかし、将来は維持管理費用、後継者問題などもあり、いずれは合葬墓に入らざるを得ないと思う。従って、そのようなことを想定して、それなりの公営合葬墓を設けることに賛成します。
- ・自分は合葬墓に埋葬でも良いと思う。子どもに負担をかけたくないと思っているので。ただ親族の中で反対する人がいるだろうと思う。現在お寺に納骨堂があるのでそこに入ると思っていたのでよくわからないのが現実です。
- ・私個人の意見としたら、他の人のお骨と一緒にされるのは少し違和感がありますが、子ども達が管理をしなくて良いというのには惹かれるものがあります。(良い意味で) 好きな時に行って、手を合わせる事が出来れば、それでちょうど良いのでは?と思います。
- ・将来お骨を管理する人がいない者にとって、とても有難いシステムだと思います。早い時期に設立を望みます。(多くの人が集まる公園の中とか)
- ・土地を離れてしまうとお墓を維持していくことは難しくなります。合葬墓はこれからのお墓選びの選択肢の1つとして需要が増えてくると思います。
- ・行きやすい所にあつて、いつでも行ける・行きたくなる、費用負担が少なく済むのであれば良いと思います。
- ・子供達にとっては合葬墓とかの方が便利なのかなと思います。お金もかからず環境のいい合葬墓とかだといいと思います。無縁仏のような雰囲気にならないのがいいと思います。明るくここだと葬られてもいいと思う合葬墓などがあれば安心して決められそうですね。
- ・お墓は決して安くはないので、また1人暮らしの身寄りのない方などは、1つの選択としてよいと思います。私もお墓がなければ考えていると思います。
- ・今後においては墓への考え方も変化していくと考えられ、また子孫が現状においても市内に居住していない状況を鑑みると、希望としては個人墓を考えつつも、現実的にはだんだんと合葬墓の存在が大きくなり、理想形になっていくのではと思慮する。
- ・お墓参りに行くたびに放置されたようなままのお墓を数多く見ます。少子化等冷静に考えると合葬墓はとてもいい方法だと思います。

- ・自分の周りにもお墓を持っている人が少ないので高額な費用も出せなく悩んでいる人も多く合葬墓を作るならば低い費用で入れるような合葬墓を作って欲しい。

【否定】

- ・今までは先祖代々の墓を守ってきた。手入れや祈る事が当たり前だったが、合葬墓になる事で手を合わせる事への不快感がある。
- ・人、それぞれに経済的、家族構成、遠方の転居等あると思いますので合葬墓を希望するのは悪いとは思いますが、他の墓地が売れなくなり、少なくなるのは残念です。墓じまいが増えているのは個人的には悲しい。お墓の前で手をあわせる事は心がおちつき、気持ちよいです。
- ・合葬墓といえば“雑”にあつかわれているイメージがあり供養されているのかわからないためさみしいです。
- ・埋葬後、遺骨を取り出せないところが、気にかかる。

【その他】

- ・年齢的なものがあって、正直実感がわからない。ただ、高齢化社会かつ、核家族化がますます進んでいるので、管理・維持が難しくなる。また、これからしばらくの間、墓地が必要になるなどの問題があるのは理解できるし、想像もできるが、具体的な意見等が思いつかない。伝統・慣習は大事だが、柔軟性も大事だと思う。
- ・墓ないし墓地自体が近い将来、無くなるような気がします。
- ・合葬墓については一定の評価はしますが、若者のお墓離れ、お墓参り離れが進むのは少し寂しい気持ちになります。昔はきっとお盆や彼岸の時は先祖のお墓に行き、家族そろって供養するのが当然だったと思います。たしかにお墓を継ぐ人がいなくなるという問題は解決できると思いますが、お墓を継いでもらうようにするのも大切なことだと思います（少子化対策や教育などで）。多様化する埋葬方法の1つとしては良いことと思いますが、若者や子たちのお墓離れも進み、地元に残ろうという気も少なくまた地元から離れやすくなるのではないのでしょうか？

【要望】

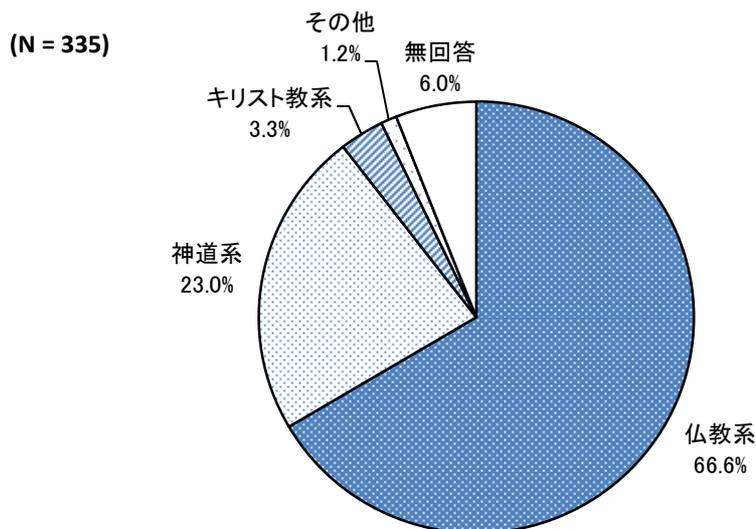
- ・合葬墓はどんなものなのかわかりません。わかりやすい資料などあればよいと思う。
- ・合葬墓＝名前共同のお墓ということは、知っていますが詳しい事は、わからないのでいろいろ知りたいと思っています。なるべく交通の便が良い場所がいいです。
- ・詳細がよくわからない。情報をもっと発信して欲しい。
- ・合葬墓のことを知らない人が多いと思うので、市民に知ってもらえるようにしたらいいと思う。
- ・合葬墓を知らない人が多いと思います。もっと広めて市民に知ってもらいたいです。お墓の事で悩んでいる方はたくさんいらっしゃると思います。

第3章 宗教法人等アンケート調査 調査結果

3-1 団体について

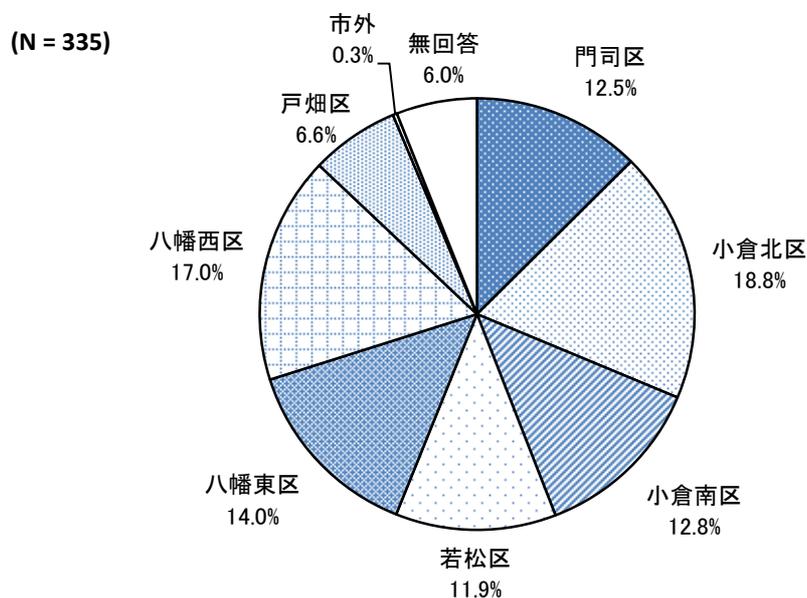
問1. 貴団体は次のどれにあてはまりますか。(〇はひとつだけ)

「仏教系」が66.6%と最も高く、次いで「神道系」が23.0%、「キリスト教系」が3.3%となっている。



問2. 貴団体は何区にありますか。(〇はひとつだけ)

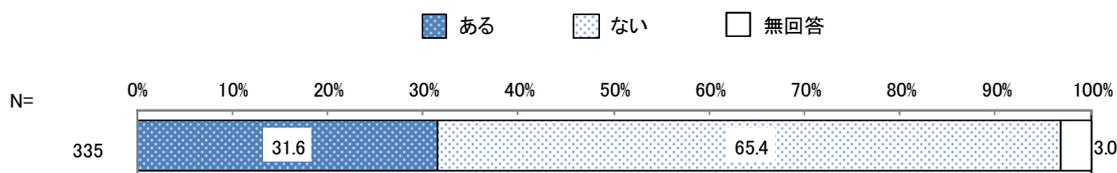
「小倉北区」が18.8%と最も高く、次いで「八幡西区」が17.0%、「八幡東区」が14.0%となっている。



3-2 墓地(霊園)について

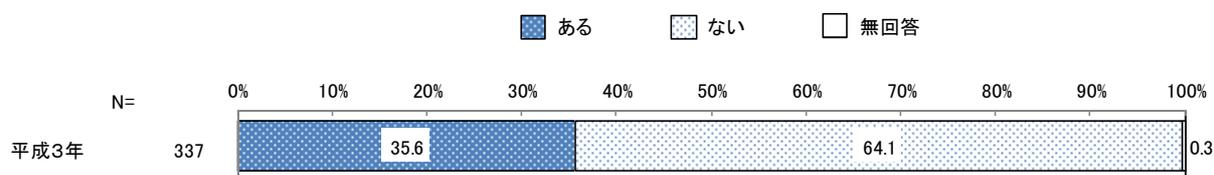
問3. 北九州市内に貴団体所有の墓地(霊園を含む)はありますか。(〇はひとつだけ)

「ない」が65.4%、「ある」が31.6%となっている。



【参考:過去の調査結果】

平成3年に行った調査結果では、「ない」が64.1%、「ある」が35.6%となっている。



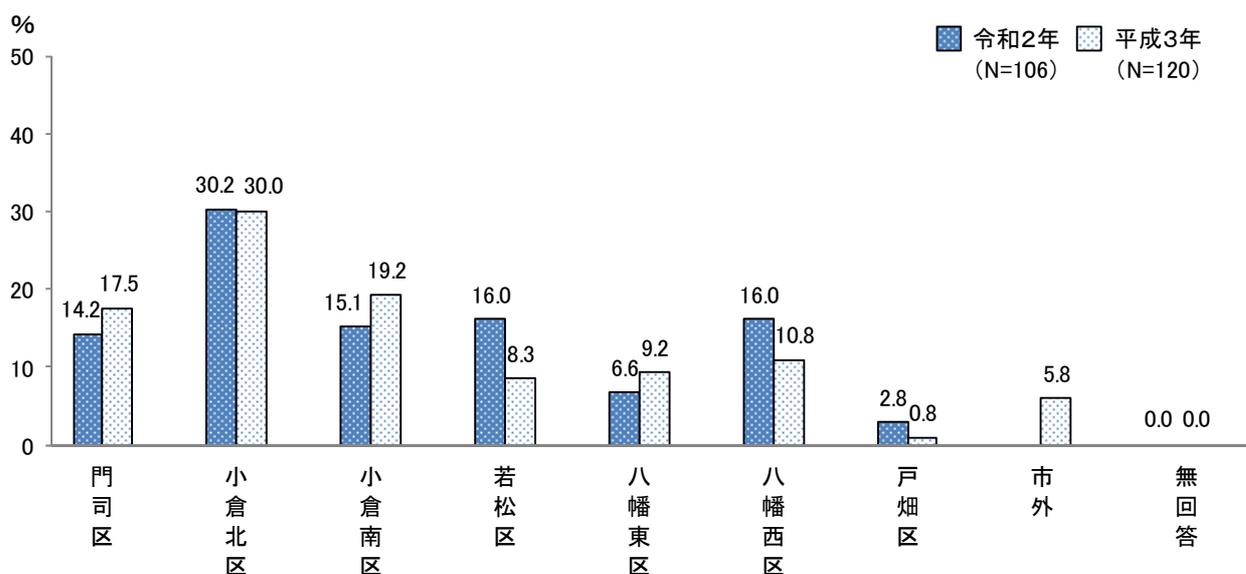
※平成3年調査では、市内・市外を問わず所有墓地の有無をたずねている。

ここからは、問3で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問3-1. その墓地はどこにありますか。(複数ある場合は、該当するものすべてに〇をつけてください。)

「小倉北区」が30.2%と最も高く、次いで「若松区」及び「八幡西区」が16.0%となっている。

平成3年の調査結果と比較すると、「若松区」が7.7ポイント、「八幡西区」が5.2ポイント増加している。一方で、「小倉南区」が4.1ポイント減少している。

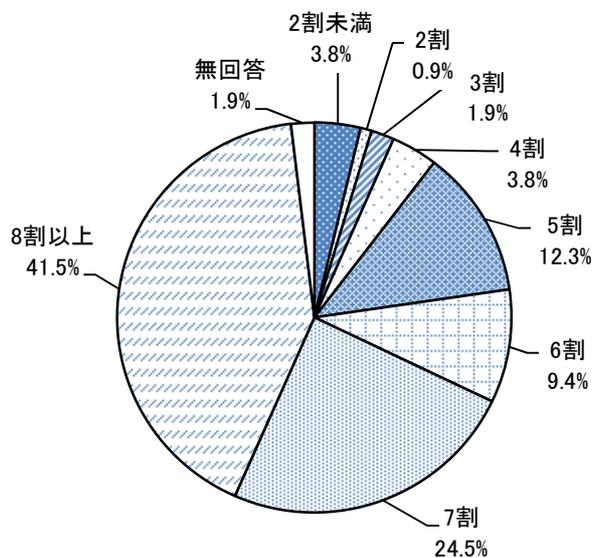


※令和2年調査では市内に墓地を所有する団体を対象としているため「市外」はなし。

問3-2. その墓地の利用者のうち、北九州市内の居住者はどのくらいの割合ですか。(〇はひとつだけ)

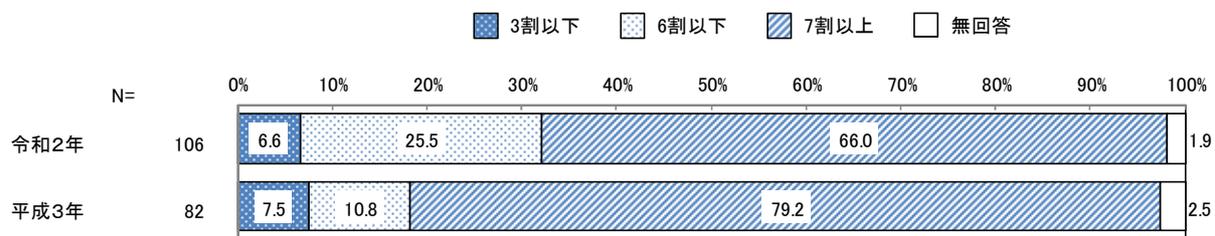
「8割以上」が41.5%と最も高く、次いで「7割」が24.5%、「5割」が12.3%となっている。

(N = 106)



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「6割以下」が14.7ポイント増加した一方で、「7割以上」が13.2ポイント減少している。

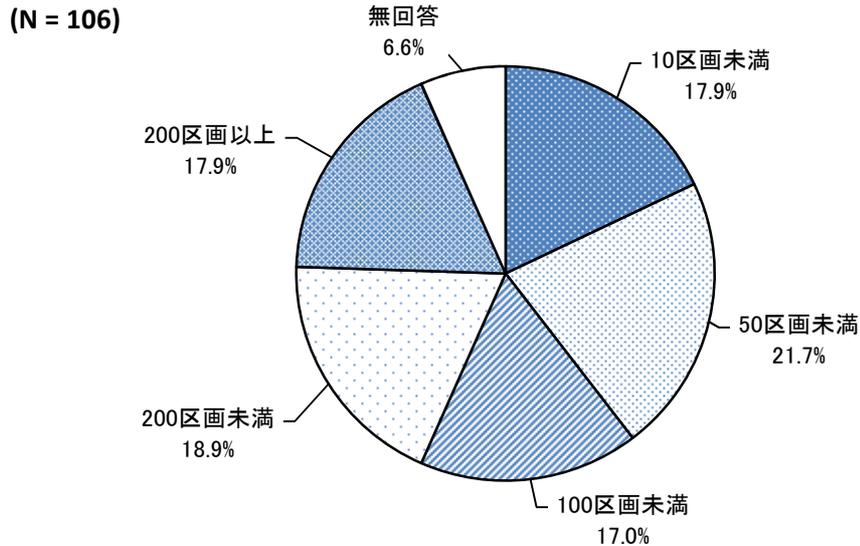


問3-3. 墓地は全部で何区画ありますか。

※区画とは、永代使用を認めた個々の区域をいいますが、その区域がはっきりしない場合は、一つの墓碑を1区画とみなしてください。

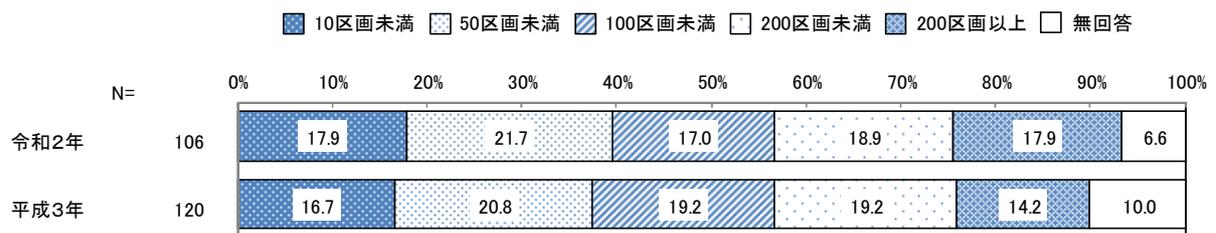
「50区画未満」が21.7%と最も高く、次いで「200区画未満」が18.9%、「10区画未満」及び「200区画以上」が17.9%となっている。

[回答を得られた法人の所有する区画合計数は28,853区画]



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「200区画以上」が3.7ポイント増加している。



問3-3-1. 墓地の区画のうち、次のものはそれぞれ何区画ありますか。

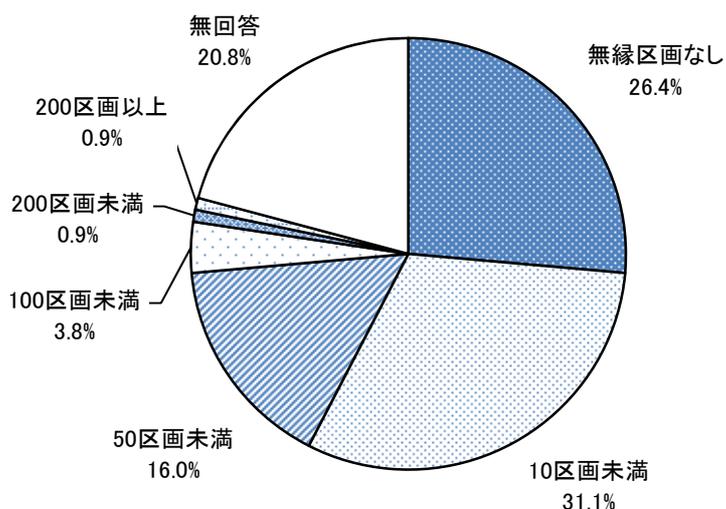
- ・無縁と推定されるもの
- ・未使用のもの

【無縁と推定されるもの】

無縁と推定される区画数は「10区画未満」が31.1%と最も高く、次いで「無縁区画なし」が26.4%、「50区画未満」が16.0%となっている。

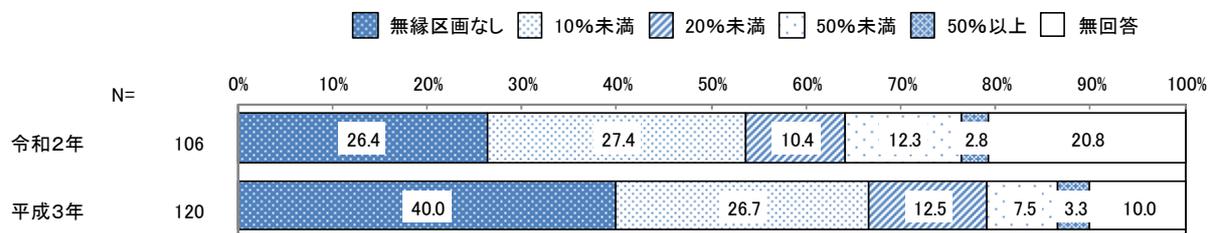
〔回答を得られた法人の無縁化墓地の区画合計数は1,093区画〕

(N = 106)



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「無縁区画なし」は13.6ポイント減少している。

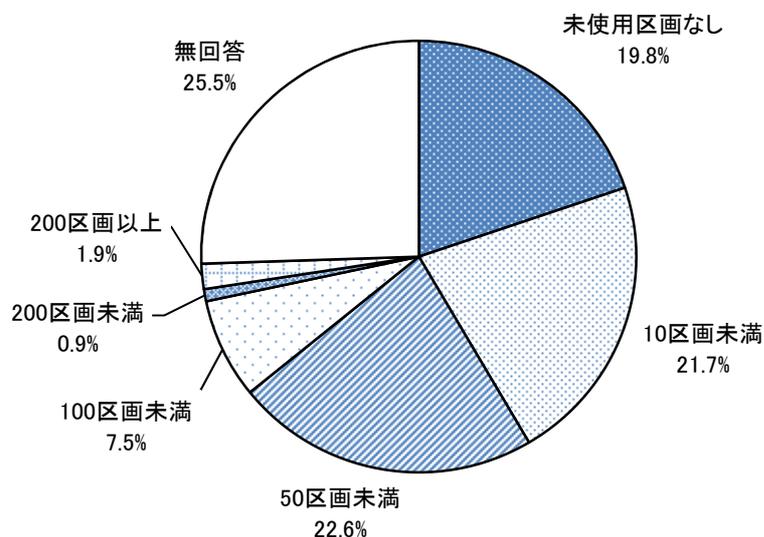


【未使用のもの】

未使用区画数は「50区画未満」が22.6%と最も高く、次いで「10区画未満」が21.7%、「未使用区画なし」が19.8%となっている。

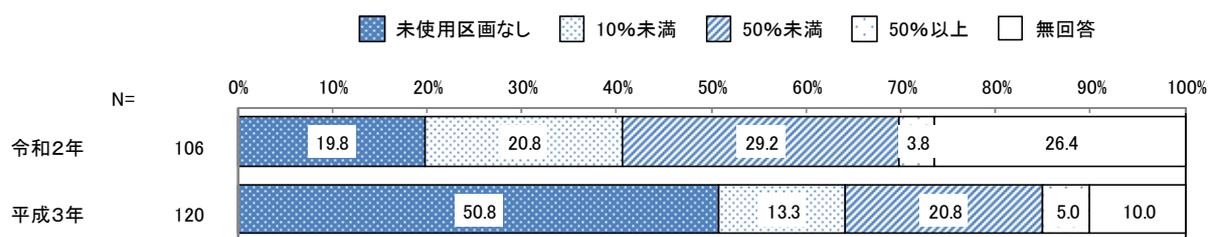
〔回答を得られた法人の未使用基地の区画合計数は2,242区画〕

(N = 106)



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「50%未満」は8.4ポイント、「10%未満」は7.5ポイント増加している。一方で「未使用区画なし」は31.0ポイント減少し、大きく下げている。

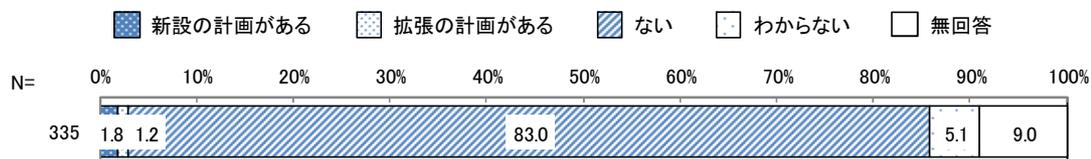


全員の方におたずねします。

問4. 北九州市内に墓地を新しく建設または拡張する計画はありますか。(○はひとつだけ)

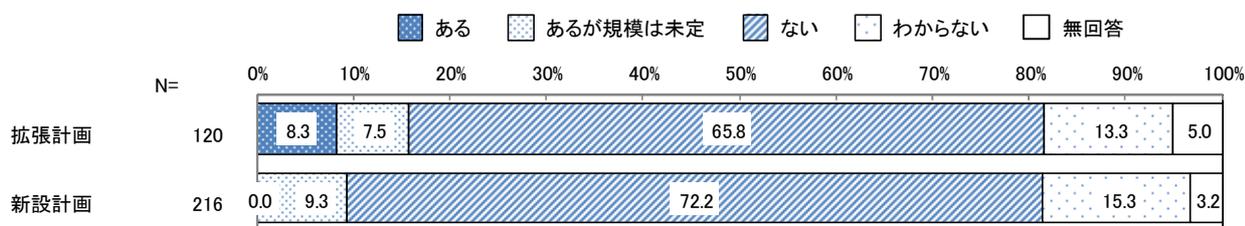
※「ある」場合は区画数を、「ある」が規模が未定の場合は「未定」と()内に記入してください。

「ない」が83.0%と最も高く、「新設の計画がある」が1.8%、「拡張の計画がある」が1.2%となっている。



【参考:過去の調査結果】

平成3年の調査結果では、墓地の拡張計画、新設計画ともに「ない」が最も高く、6割から7割程度を占めている。拡張計画については「ある」が8.3%となっている。

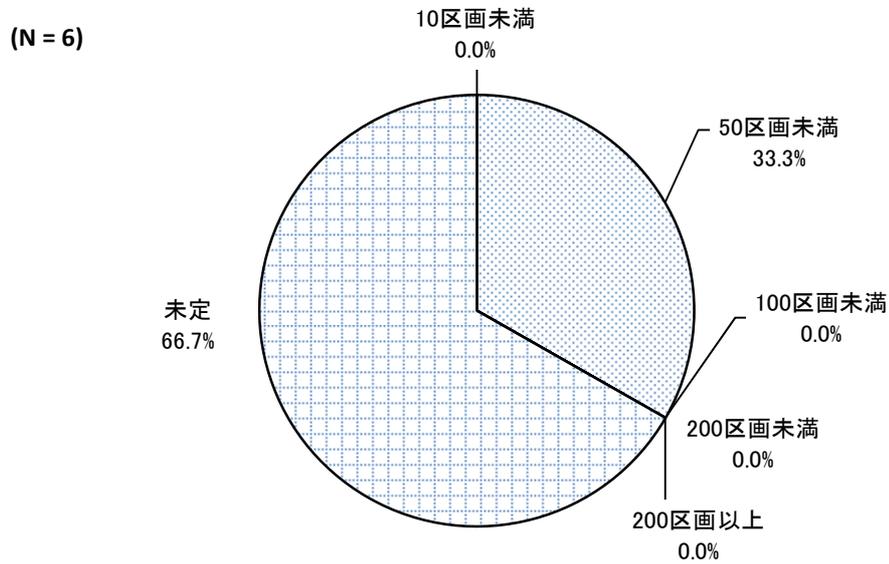


※拡張計画は墓地を所有している寺院が対象。新設計画は墓地を所有していない寺院が対象。

【「新設の計画がある」の区画数】

「新設の計画がある」の区画数については、「未定」が 66.7%、「50 区画未満」が 33.3%となっている。

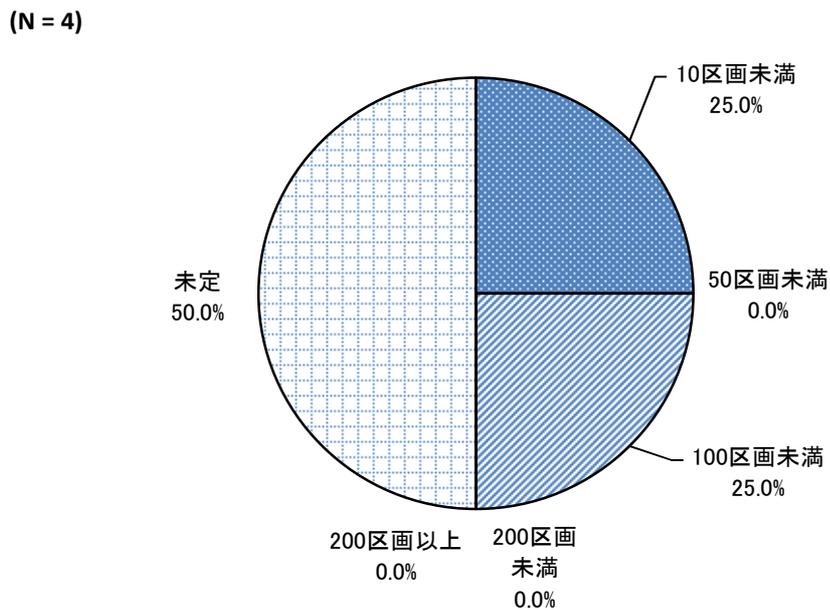
〔回答を得られた法人の新規計画の区画合計数は 30 区画〕



【「拡張の計画がある」の区画数】

「拡張の計画がある」の区画数については、「未定」が 50.0%、「10 区画未満」及び「100 区画未満」が 25.0%となっている。

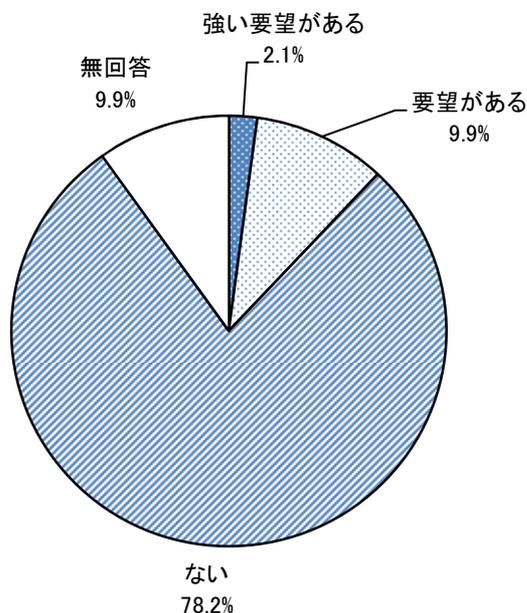
〔回答を得られた法人の拡張計画の区画合計数は 81 区画〕



問5. 信者の方から墓地の新設または拡張を要望されていますか。(〇はひとつだけ)

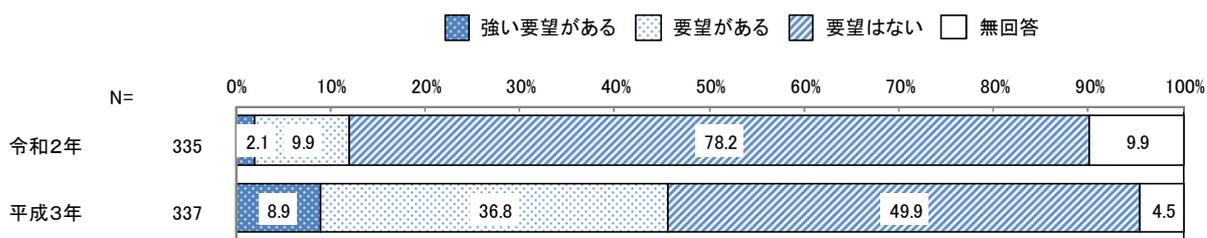
「要望はない」が78.2%と最も高く、次いで「要望がある」が9.9%、「強い要望がある」が2.1%となっている。

(N = 335)



【過去の調査結果との比較】

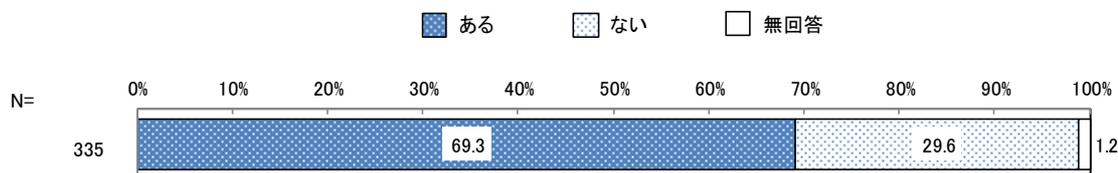
平成3年の調査結果と比較すると、「要望はない」が28.3ポイント増加している。一方で「強い要望がある」は6.8ポイント、「要望がある」は26.9ポイント減少している。



3-3 納骨堂について

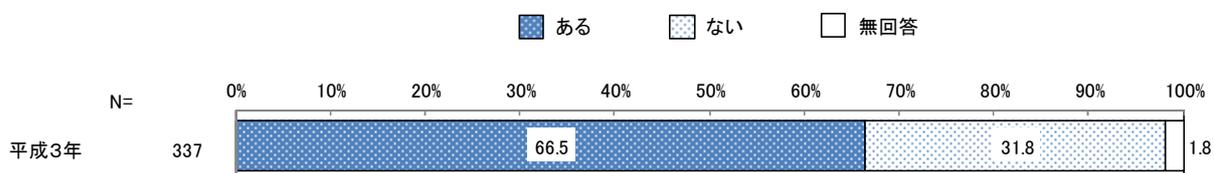
問6. 北九州市内に貴団体所有の納骨堂はありますか。(○はひとつだけ)

「ある」が69.3%、「ない」が29.6%となっている。



【参考:過去の調査結果】

平成3年に行った調査結果では、「ある」が66.5%、「ない」が31.8%となっている。

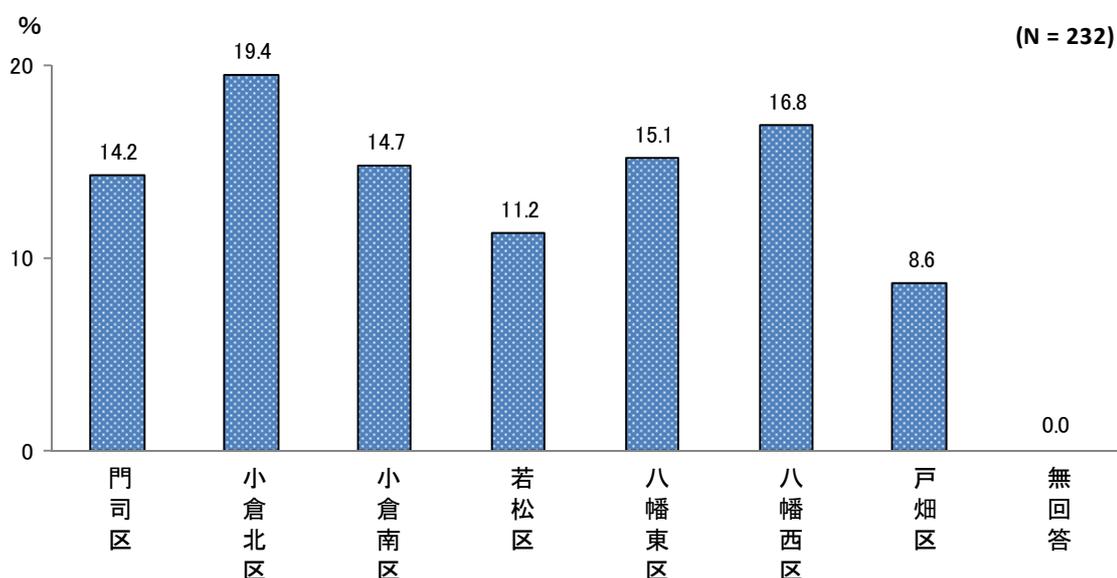


※平成3年調査では、市内・市外を問わず納骨堂の有無をたずねている。

ここからは、問6で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問6-1. その納骨堂はどこにありますか。(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

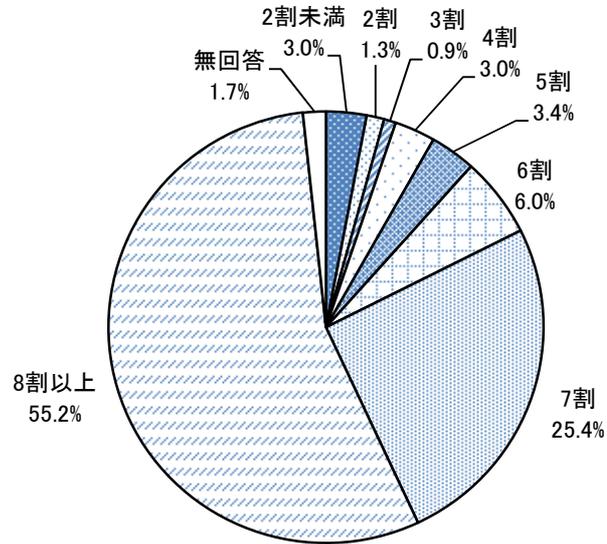
「小倉北区」が19.4%と最も高く、次いで「八幡西区」が16.8%、「八幡東区」が15.1%となっている。



問6-2. その納骨堂の利用者のうち、北九州市内の居住者はどのくらいの割合ですか。(〇はひとつだけ)

「8割以上」が55.2%と最も高く、次いで「7割」が25.4%、「6割」が6.0%となっている。

(N = 232)

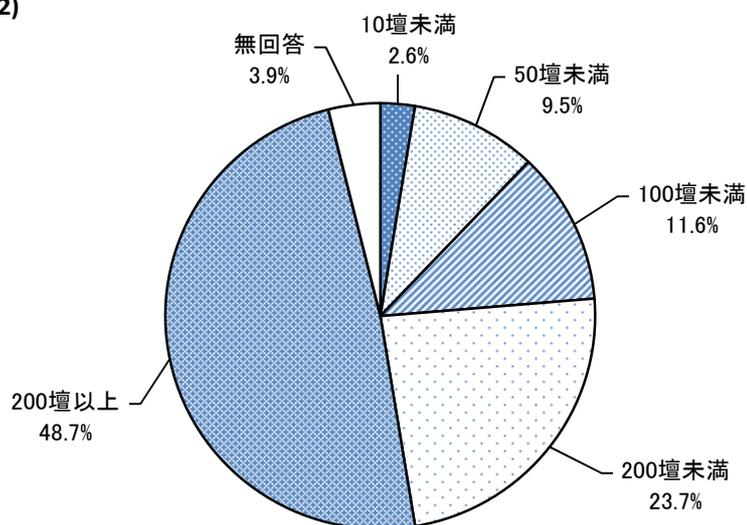


問6-3. 納骨堂は全部で何壇ありますか。

「200 壇以上」が 48.7%と最も高く、次いで「200 壇未満」が 23.7%、「100 壇未満」が 11.6%となっている。

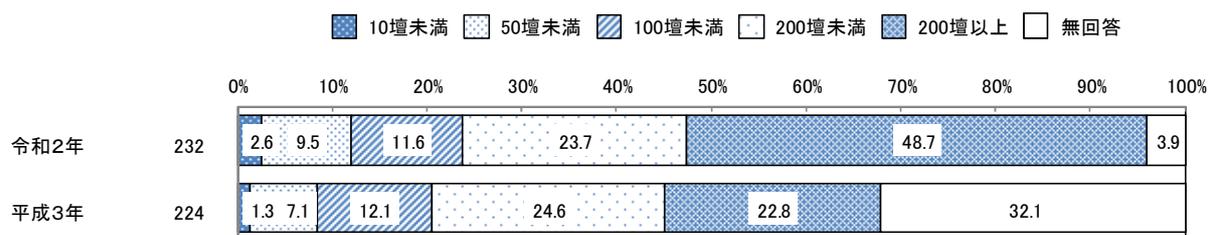
〔回答を得られた法人の所有する納骨堂の合計壇数は 62,293 壇〕

(N = 232)



【過去の調査結果との比較】

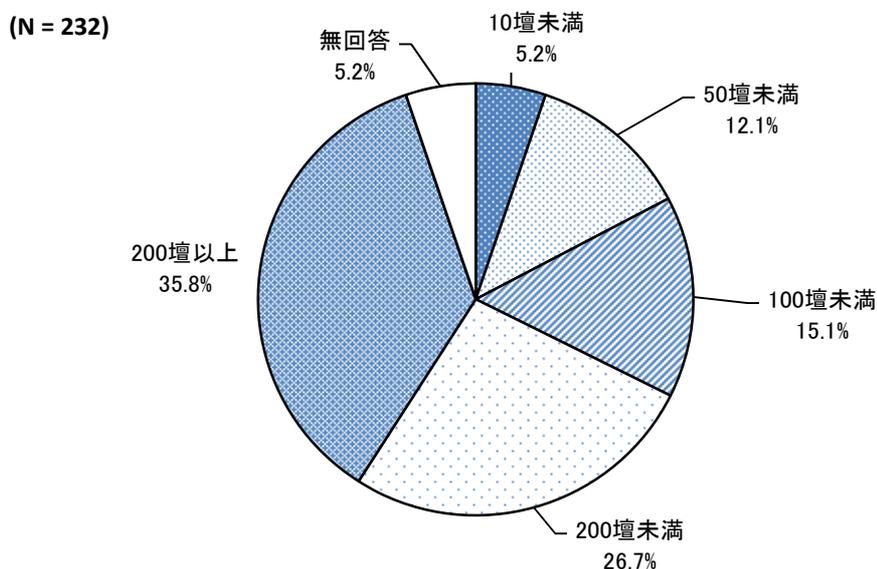
平成3年の調査結果と比較すると、「200 壇以上」が 25.9 ポイント増加している。



問6-4. 現在使用されているのは何壇ですか。

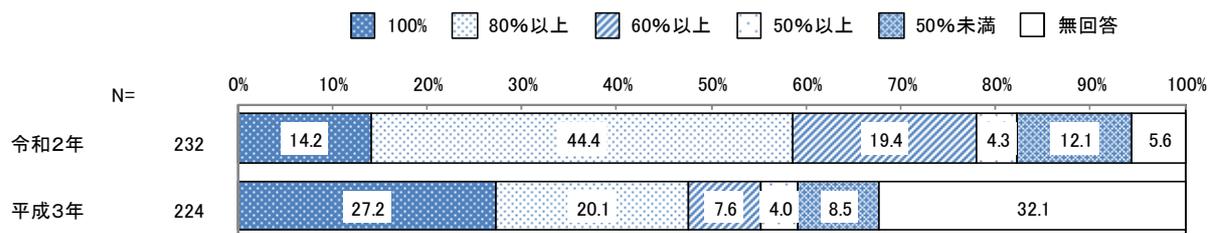
「200壇以上」が35.8%と最も高く、次いで「200壇未満」が26.7%、「100壇未満」が15.1%となっている。

〔回答を得られた法人の所有する納骨堂の使用合計壇数は49,140壇〕



【過去の調査結果との比較】

平成3年の調査結果と比較すると、「80%以上」は24.3ポイント、「60%以上」は11.8ポイント増加している。一方で「100%」は13.0ポイント減少している。



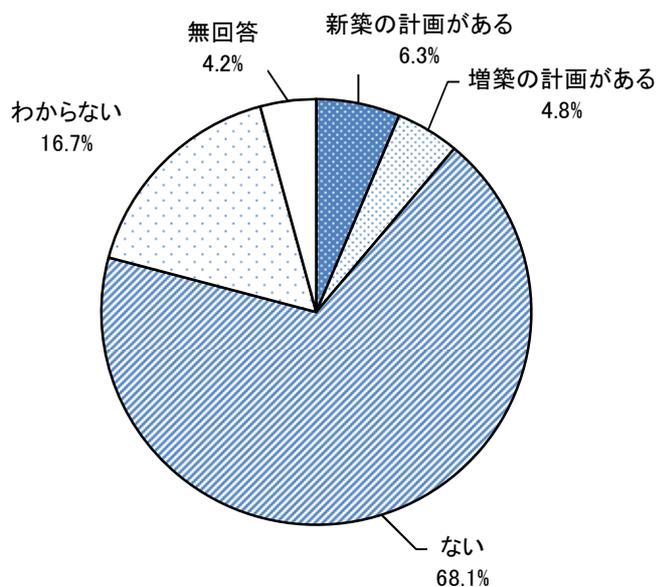
全員の方におたずねします。

問7. 北九州市内に納骨堂を新築または増築する計画はありますか。(○はひとつだけ)

※「ある」場合は壇数を、「ある」が規模が未定の場合は「未定」と()内に記入してください。

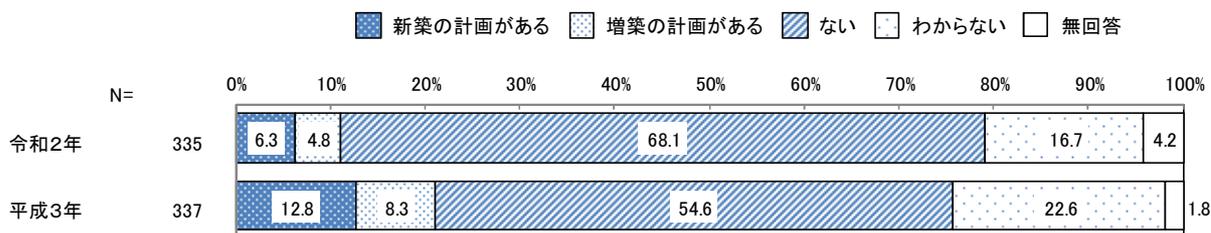
「ない」が68.1%と最も高く、次いで「わからない」が16.7%、「新築の計画がある」が6.3%となっている。

(N = 335)



【過去の調査結果との比較】

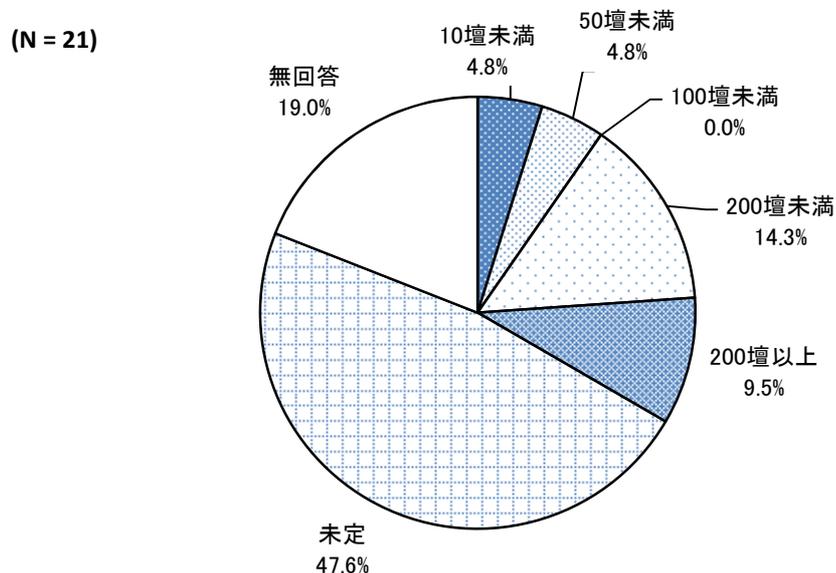
平成3年の調査結果と比較すると、「ない」が13.5ポイント増加している。一方で「新築の計画がある」は6.5ポイント減少している。



【「新築の計画がある」の壇数】

「新築の計画がある」の壇数については、「未定」が 47.6%と最も高く、次いで「200 壇未満」が 14.3%、「200 壇以上」が 9.5%となっている。

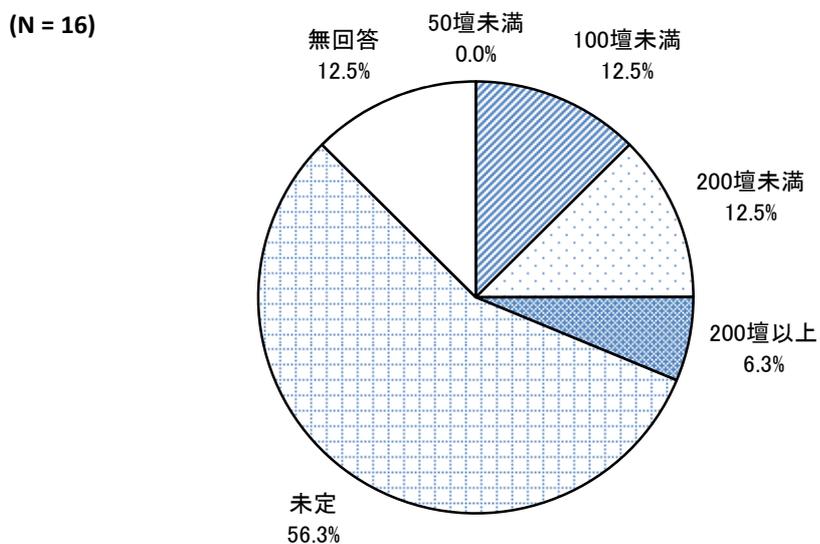
[回答を得られた法人の新築計画の合計壇数は 827 壇]



【「増築の計画がある」の壇数】

「増築の計画がある」の壇数については、「未定」が 56.3%と最も高く、次いで「100 壇未満」及び「200 壇未満」が 12.5%となっている。

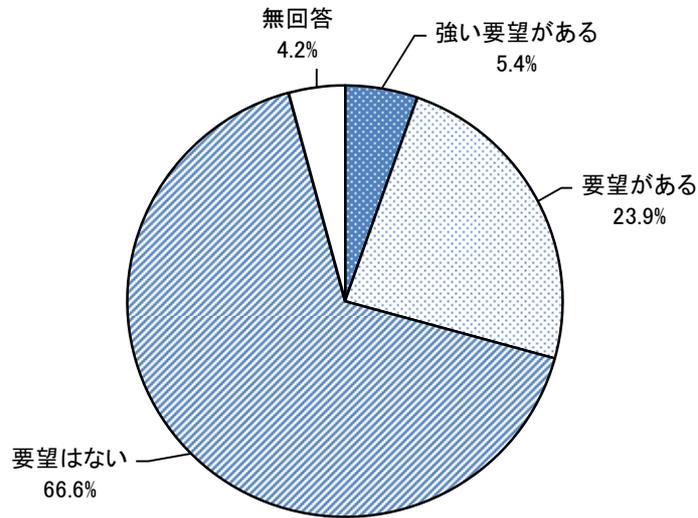
[回答を得られた法人の増築計画の合計壇数は 558 壇]



問8. 信者の方から納骨堂の新築または増築を要望されていますか。(〇はひとつだけ)

「要望はない」が66.6%と最も高く、次いで「要望がある」が23.9%、「強い要望がある」が5.4%となっている。

(N = 335)

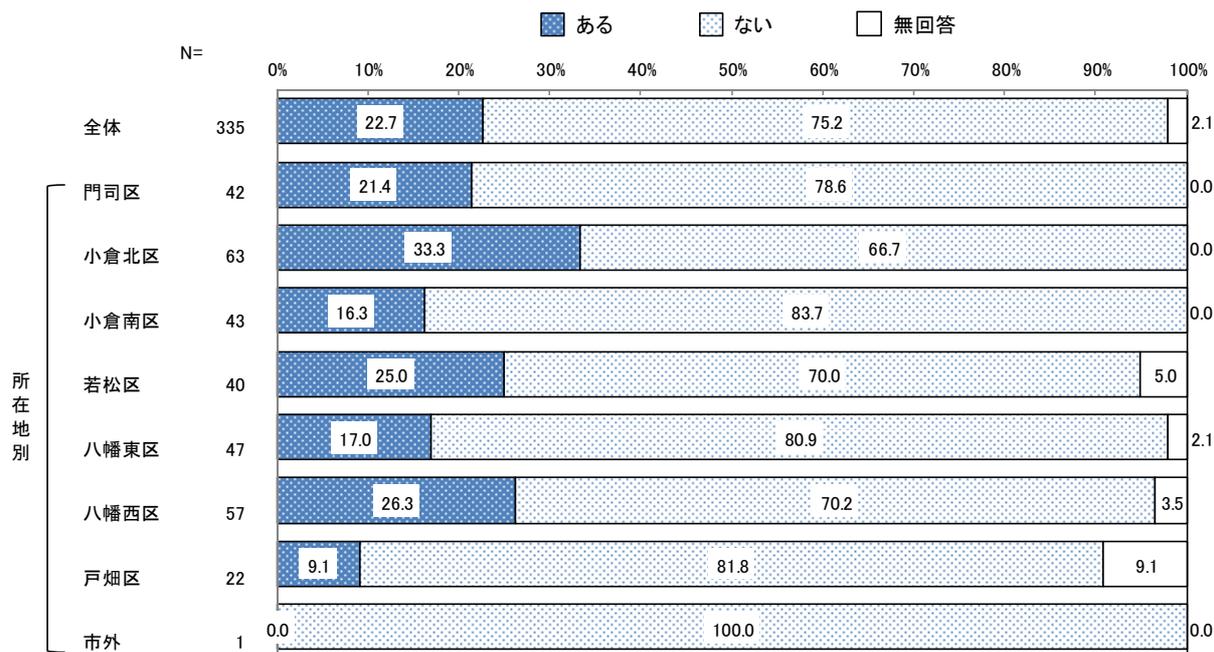


3-4 合葬墓について

問9. 北九州市内に貴団体所有の合葬墓(合葬式の共同墓)はありますか。(〇はひとつだけ)

全体では「ない」が75.2%、「ある」が22.7%となっている。

所在地別にみると、「ある」の割合は小倉北区が33.3%と最も高く、次いで八幡西区が26.3%、若松区が25.0%となっている。一方、戸畑区は9.1%と他の区に比べて低くなっている。

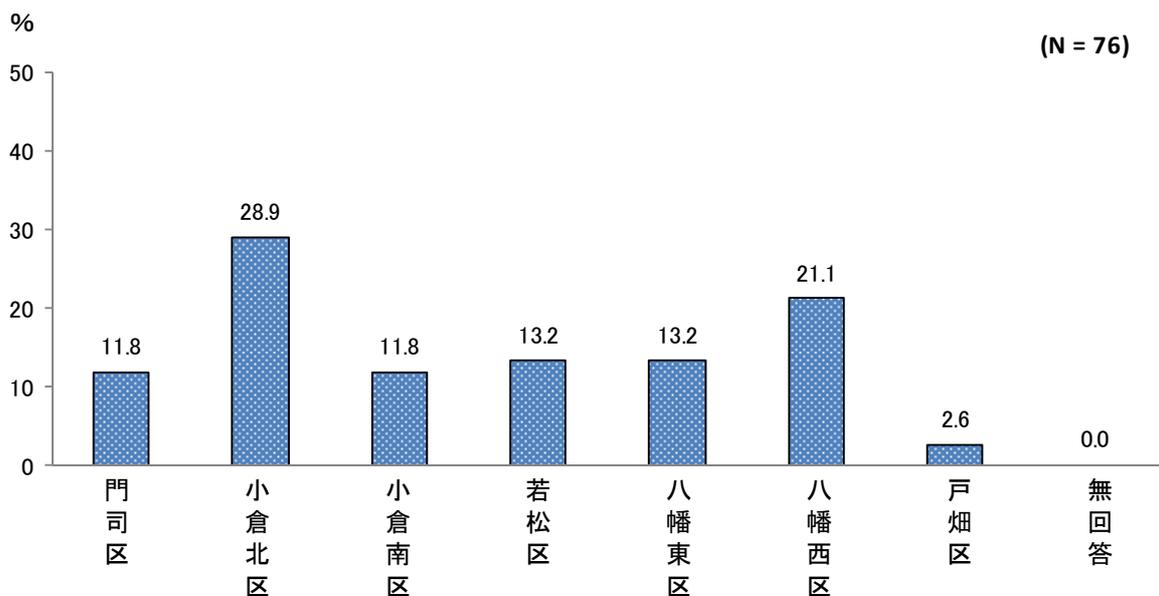


ここからは、問9で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問9-1. その合葬墓はどこにありますか。(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

全体では「小倉北区」が28.9%と最も高く、次いで「八幡西区」が21.1%、「若松区」及び「八幡東区」が13.2%となっている。

所在地別にみると、団体の所在地と合葬墓の所在地はほとんど同じ区となっている。

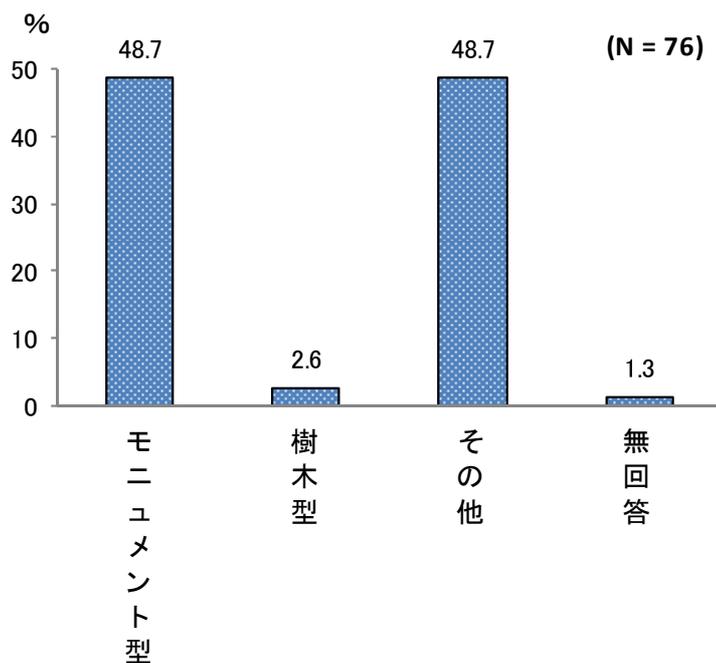


		全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答
全体		76	9	22	9	10	10	16	2	0
		100.0	11.8	28.9	11.8	13.2	13.2	21.1	2.6	0.0
所在地	門司区	9	9	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小倉北区	21	0	21	0	0	1	0	0	0
		100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0
	小倉南区	7	0	0	7	0	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	若松区	10	0	0	0	10	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八幡東区	8	0	0	0	0	8	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
八幡西区	15	0	0	0	0	0	15	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
戸畑区	2	0	0	0	0	0	0	2	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

問9-2. その合葬墓の形状はどのようなものですか。(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

全体では「モニュメント型」及び「その他」が48.7%と最も高く、次いで「樹木型」が2.6%となっている。「その他」としては、「納骨堂内」や「合葬納骨堂」などの回答があった。

所在地別にみると、小倉北区と小倉南区では「モニュメント型」の割合がともに57.1%と比較的高くなっている。

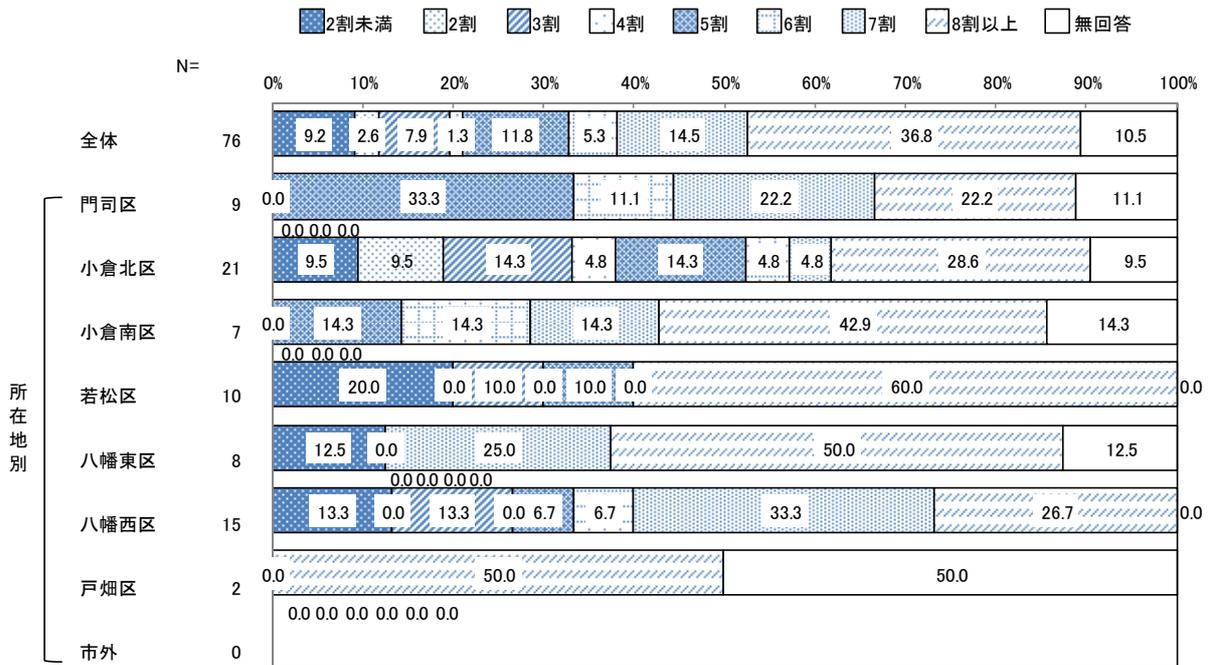


		全体	モニュメント型	樹木型	その他	無回答
全体		76 100.0	37 48.7	2 2.6	37 48.7	1 1.3
所在地	門司区	9 100.0	4 44.4	0 0.0	5 55.6	0 0.0
	小倉北区	21 100.0	12 57.1	0 0.0	9 42.9	0 0.0
	小倉南区	7 100.0	4 57.1	0 0.0	3 42.9	0 0.0
	若松区	10 100.0	5 50.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0
	八幡東区	8 100.0	4 50.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0
	八幡西区	15 100.0	5 33.3	1 6.7	9 60.0	1 6.7
	戸畑区	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	市外	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問9-3. その合葬墓の利用者のうち、北九州市内の居住者はどのくらいの割合ですか。(〇はひとつだけ)

全体では「8割以上」が36.8%と最も高く、次いで「7割」が14.5%、「5割」が11.8%となっている。

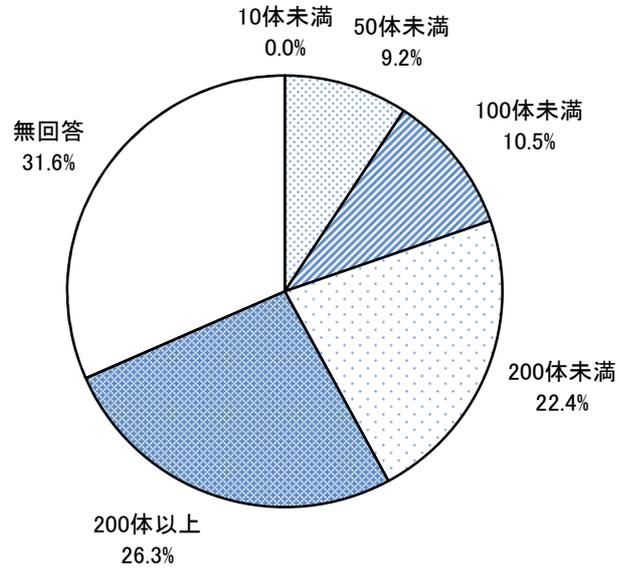
所在地別にみると、「8割以上」の割合は若松区が60.0%と最も高く、次いで八幡東区が50.0%、小倉南区が42.9%となっている。一方、門司区では22.2%と他の区に比べて低くなっている。



問9-4. 合葬墓の収容規模はどのくらいですか。

「200体以上」が26.3%と最も高く、次いで「200体未満」が22.4%、「100体未満」が10.5%となっている。

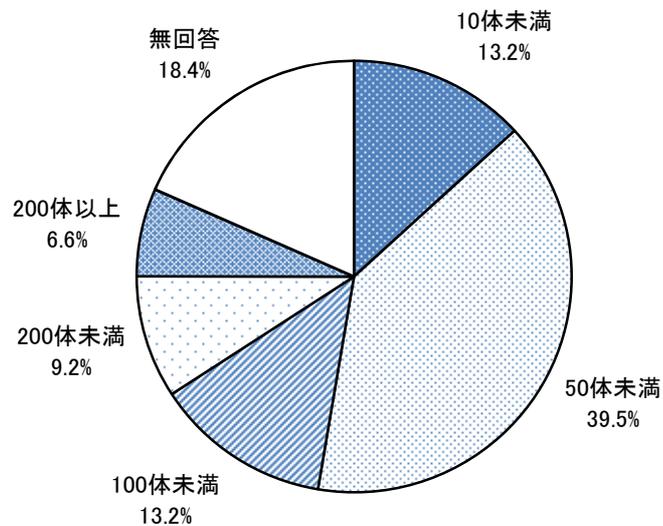
(N = 76)



問9-5. 現在収容されているのはどのくらいですか。

「50体未満」が39.5%と最も高く、次いで「10体未満」及び「100体未満」が13.2%となっている。

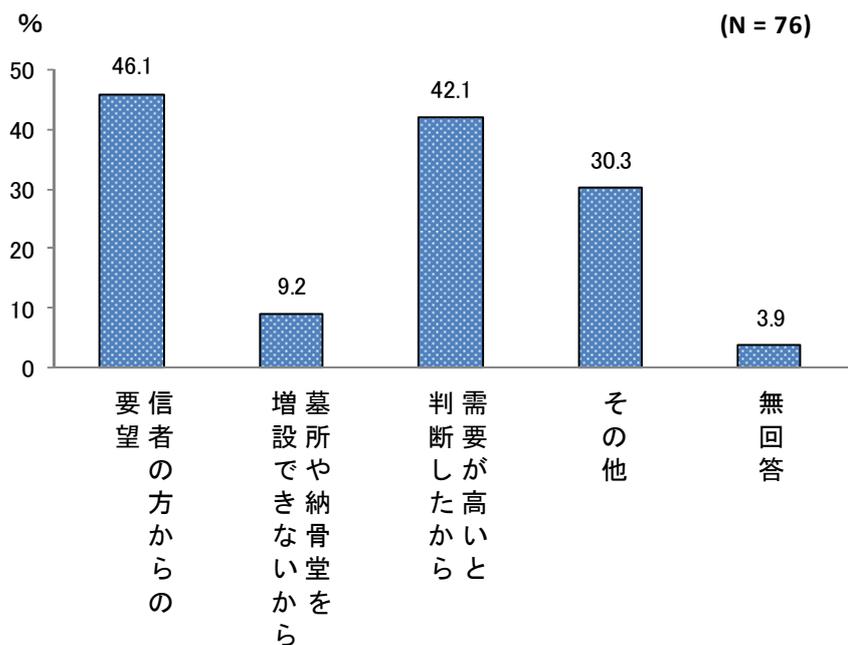
(N = 76)



問9-6. 合葬墓を設置した理由は何ですか。(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

全体では「信者の方からの要望」が46.1%と最も高く、次いで「需要が高いと判断したから」が42.1%、「その他」として「無縁者への対応のため」や「墓じまいへの対応のため」などが30.3%となっている。

所在地別にみると、門司区では「信者の方からの要望」が55.6%、八幡東区では「需要が高いと判断したから」が62.5%とそれぞれ他の区に比べて高くなっている。



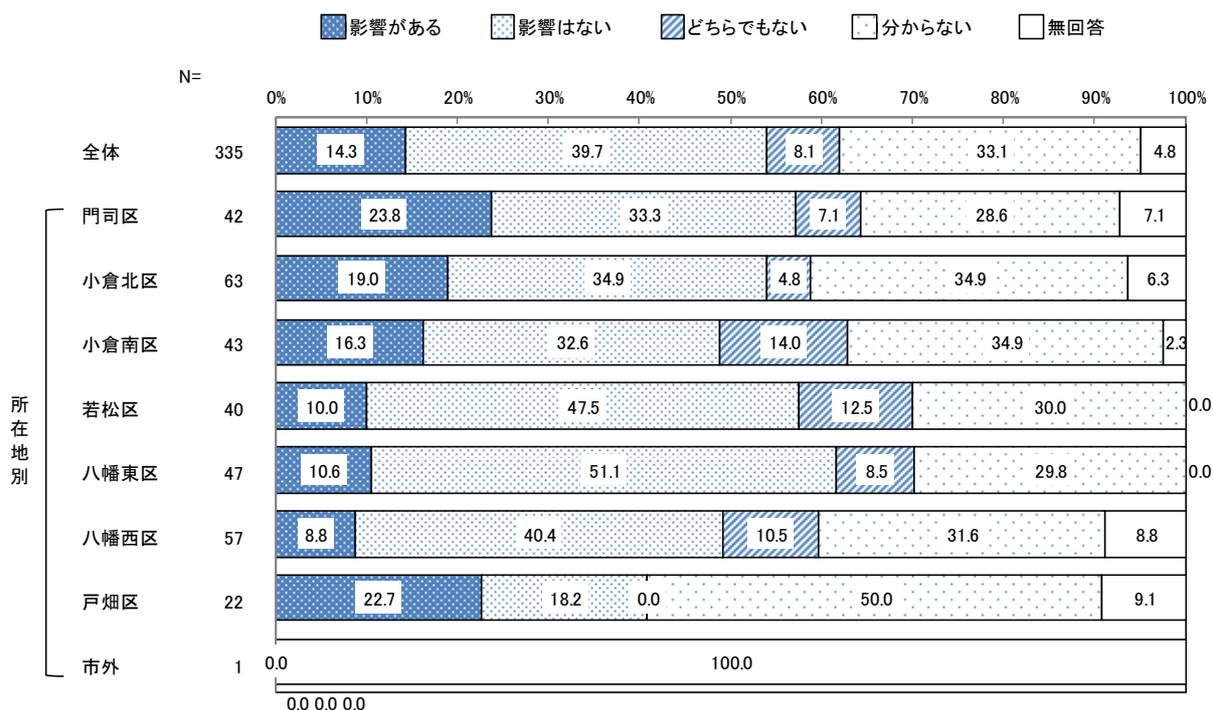
	全体	信者の方からの要望	墓所や納骨堂を増設できないから	需要が高いと判断したから	その他	無回答	
全体	76 100.0	35 46.1	7 9.2	32 42.1	23 30.3	3 3.9	
所在地	門司区	9 100.0	5 55.6	1 11.1	4 44.4	4 44.4	0 0.0
	小倉北区	21 100.0	9 42.9	1 4.8	7 33.3	6 28.6	2 9.5
	小倉南区	7 100.0	2 28.6	1 14.3	4 57.1	2 28.6	0 0.0
	若松区	10 100.0	5 50.0	1 10.0	4 40.0	3 30.0	0 0.0
	八幡東区	8 100.0	4 50.0	1 12.5	5 62.5	1 12.5	0 0.0
	八幡西区	15 100.0	6 40.0	2 13.3	6 40.0	7 46.7	0 0.0
	戸畑区	2 100.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	市外	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

全員の方におたずねします。

問10. 北九州市が公営の合葬墓を新設することになった場合、貴団体所有の霊園の運営に影響が生じると考えますか。(〇はひとつだけ)

全体では「影響はない」が39.7%と最も高く、次いで「分からない」が33.1%、「影響がある」が14.3%となっている。

所在地別にみると、「影響はない」の割合は八幡東区が51.1%と最も高く、次いで若松区が47.5%、八幡西区が40.4%となっている。一方、戸畑区は18.2%と他の区に比べて低くなっている。戸畑区では「わからない」が50.0%と、他の区に比べて高くなっている。



問10で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問10-1. どのような影響が生じると考えますか。ご自由にご記入ください

【檀信徒減・経済的損失】

- ・今までも市営の霊園が出来た事により、元々の檀信徒数が激減しました。宗教法人に対する墓地・納骨堂の新設・増設の厳しい制限を見直して下さい。市営の合葬墓については反対します。他市の様に、合葬墓のみにかかわらず、埋葬の仕様・運営を宗教法人に任せただければ幸いです。
- ・管理費などの金額によっては運営に支障が出る団体が発生するから。
- ・檀家が離檀し、法人の運営が現状よりも難しくなる。
- ・寺院としての存続が不可能となる。
- ・ご門徒の納骨堂希望者が減り、維持が出来ない。

【宗教意識の希薄化】

- ・今以上に、宗教に対する感覚が薄れていく。簡単に合葬が出来ることがわかれば法事を勤めない家族が増え、家族の集まることの出来る大切な縁を減らしてしまう。厳しい条件を付け、合葬許可を出すべき。
- ・合葬、散骨が普及すると、遺族の責任感や、故人を偲ぶ気持ちが生まれにくく、地縁や血縁、宗教を軽視する考えが広がる。(当寺院の合同墓に納骨した遺骨は、ほとんどが置きざりにされたり、身内が放棄したものが多かった。)
- ・門徒が離れる。墓・納骨堂の契約を結ばない。→法事もしない。→寺離れ→祖先の有難さを感じない→核家族化が進み都会に出ていく。
- ・現在葬儀も行わない事例も増えています。子供が、親をみることすらしない、事例も少なくない。先祖を、自分たちで、守る意識をもって、それを継承することが、現代の家族のありかたを(子が親をみる)本来の形にもどすものであると思います。(寺が存在できなくなると檀家が先祖を守る場所を失う)→行政(市)に負担がかかると思います。

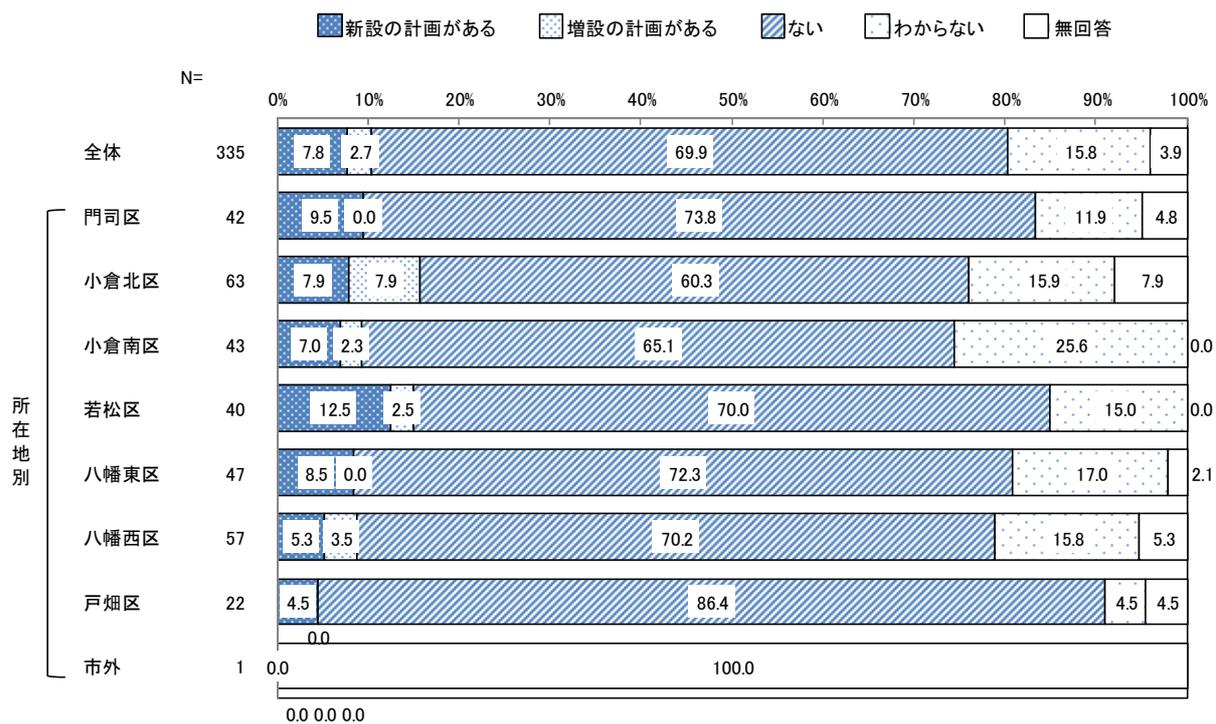
全員の方におたずねします。

問11. 北九州市内に合葬墓を新設または増設する計画はありますか。(〇はひとつだけ)

※「ある」場合は収容規模を、「ある」が規模が未定の場合は「未定」と()内に記入してください。

全体では「ない」が 69.9%と最も高く、次いで「わからない」が 15.8%、「新設の計画がある」が 7.8%となっている。

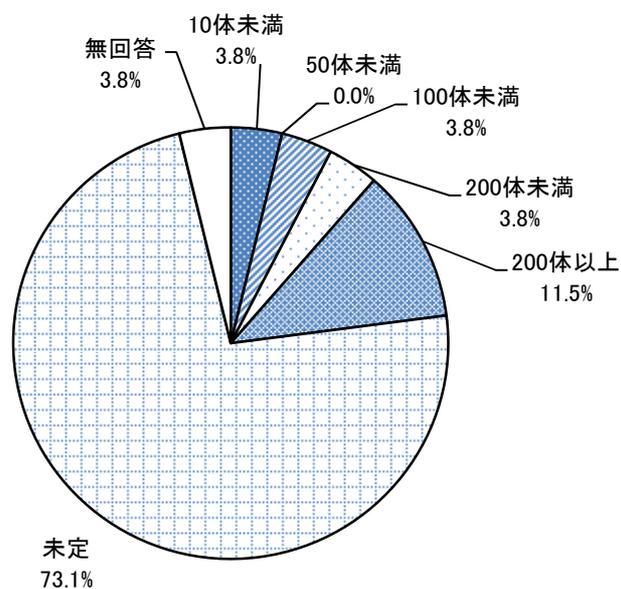
所在地別にみると、すべての区で「ない」の割合が他の項目を大きく上回り、6割以上となっている。戸畑区では「ない」が 86.4%と他の区に比べて高くなっている。



【「新設の計画がある」場合の規模】

「未定」が73.1%と最も高く、次いで「200体以上」が11.5%となっている。

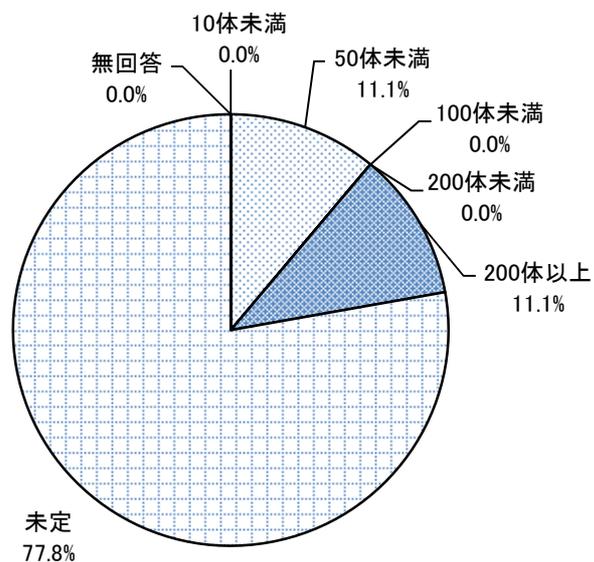
(N = 26)



【「増設の計画がある」場合の規模】

「未定」が77.8%と最も高く、次いで「50体未満」及び「200体以上」が11.1%となっている。

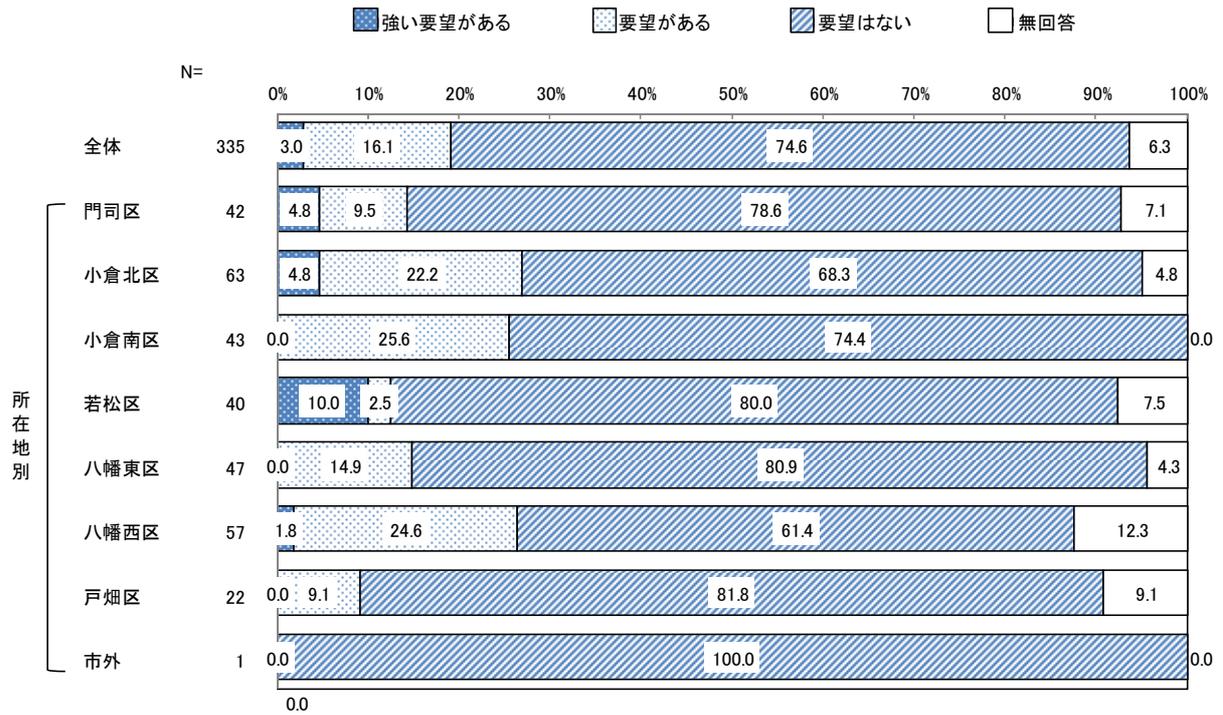
(N = 9)



問12. 信者の方から合葬墓の新設または増設を要望されていますか。(○はひとつだけ)

全体では「要望はない」が74.6%を占め、「要望がある」が16.1%、「強い要望がある」が3.0%となっている。

所在地別にみると、すべての区で「要望はない」の割合が他の項目を大きく上回っている。若松区では「強い要望がある」が10.0%と他の区に比べて高くなっている。



問13. 墓地、納骨堂、合葬墓の設置・管理に関する課題、ご意見、ご要望等がございましたら、何でも結構ですから自由にご記入ください。

- ・代々が同じ場所に住むという時代でなくなったので、お墓のあり方は変わっていくと思う。合祀墓も後継者の不在などで要望は高まっていくと思う。
- ・私共は寺なので、信徒と古くからのご縁を大切にしていきたいと考えています。ご遺骨を「処分する」という考えではなく、ご先祖を大切に下さるように、話し合っ、運営しています。納骨堂が家族の礎となる存在であり続けられるよう、寺としては、伝統を守り続けたいと考えています。
- ・身寄りのない方が孤独死した場合、行政により火葬、合葬されていると思いますが、孤独死した方の家に先立たれた方の遺骨が残されていたり、夜逃げ等した方の放置物の中に遺骨があった場合、その処理については、現場の方々の善意や努力によって合葬されたり、寺院に預けられているのが現状かと思ひます。その様な遺骨についても行政で合葬等出来ないものではないでしょうか？
- ・教会で納骨堂をもつのが望ましいとは思ひますが、費用、設置の条件等を考えると、作りたくても作れない、というのが、(小さな宗教法人は)現状なのではないでしょうか。市営で納骨堂や合葬墓を作るのは、費用がおさえられるのであれば、市民には歓迎されるものと思ひます。
- ・市営の墓地、納骨堂は冥加金が少ないので私共の様な小さな一般寺院への加入が減ります。市営の墓地、納骨堂はこれ以上作って欲しくないです。
- ・市営の大規模な納骨堂を造って下さい。
- ・北九州市立の合葬墓の建設は、反対いたします。合葬墓と言へば、言葉の響きはいいのですが、現実の問題としては、亡き骸の処分ではないからです。
- ・これからは寺院といへども跡継ぎ等の問題で墓所の管理者がいなくなる(無住の寺が増える)と考えられる。宗教法人として、近々にむかえる問題であり苦慮している。
- ・宗教法人が運営する墓地・納骨堂については、信仰が目的であるべきで「宗派問はず」などの営利目的の経営にならない様に監督して欲しい。
- ・民間業社経営(宗教法人の名義貸し的な)の墓地が「永代預り・維持費不用」などと宣伝広告しているが、自転車操業的で、本当に永続運営出来るのか甚だ心配です。そう言う意味では安心して預ける事の出来る市営の墓地増設は必要とも思ひます。宗教法人の運営が厳しくならない様、又、商売目的の巨大納骨堂などがはびこらない様、大切にご検討ください。
- ・納骨堂型合葬墓(永代)を、寺に設置することを計画しております。(理由)子供の代になり関東、関西に在住しているが、ふる里(菩提寺)に帰る、きっかけにしたい。寺であれば、毎日のおつとめとして供養してさしあげることが出来る。

第4章 北九州市における墓地・納骨堂の需給状況

4-1 墓地の需要予測

(1) 需要予測の方法

令和2年2月1日から28日にかけて、北九州市保健福祉局保健衛生課及び建設局公園管理課において「市民の墓地・納骨堂に関する意識調査」（以下「市民アンケート調査」とする）を行った。

「市民の墓地・納骨堂に関する意識調査」(市民アンケート調査)の概要

- ①調査対象 北九州市民（20歳以上の市民を住民基本台帳から無作為抽出）
- ②調査方法 郵送調査
- ③調査期日 令和2年2月1日～28日
- ④送付数 3,000件
- ⑤回収結果 有効回答1,102件（回収率36.7%）
- ⑥集計・分析 株式会社東京商工リサーチ

調査結果から得られた値及び北九州市の統計資料の値から需要数を予測する。

需要予測の計算方法は以下の推計式により算出した。

$$\text{需要数} = \text{将来の死亡者数(予測値)} \times \text{定着志向係数} \times \text{必要者割合}$$

将来の死亡者数 : 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

「将来の生残率」市区町村別仮定値データより算出

定着志向係数 : 「市民アンケート調査」問5において、北九州市への定着志向について「住み続ける」「たぶん住み続ける」「市内の他の地区に転居したい」と回答した人の割合の合計

必要者割合 : 「市民アンケート調査」問8-1において、墓地取得意向に関する項目で「現在探している」「5年以内に取得したい」「10年以内に取得したい」「20年以内に取得したい」と回答した人の割合

(2) 市民アンケート調査による需要予測結果

「市民アンケート調査」において算出された墓地需要予測結果は、下表のとおりである。

年	将来の死亡者数 (人)	定着志向係数 (%)	必要者割合 (%)	需要数	
				5年あたり	1年あたり
2021～2025	63,017	86.0	1.4	759	152
2026～2030	65,845	86.0	1.2	680	136
2031～2040	137,483	86.0	1.0	1,182 (10年)	118

この結果より、北九州市における1年あたりの墓地需要数は、2021年から2025年は152区画、2026年から2030年は136区画、2031年から2040年の10年間は118区画となっている。

(3) 供給可能年数の推定

—墓地・納骨堂・合葬墓についてのアンケート調査(宗教法人等アンケート調査)結果—

所有区画数	28,853 区画
使用区画数	25,518 区画
無縁と推定される区画数	1,093 区画
未使用区画数	2,242 区画
うち市民使用可能区画数	2,286 区画

※市民使用可能区画数 = Σ 法人合計((未使用区画数+無縁と推定される区画数)×その法人における市民使用割合)

法人ごとに、所有する無縁と推定される区画と未使用区画の和にその法人での市民の使用割合に乗じた後、合計した。

新設・拡張予定区画数	111 区画
うち市民使用可能拡張区画数	64 区画

※市民使用可能拡張区画数 = Σ 法人合計(拡張区画×その法人における市民使用割合)

今後使用可能な墓地の総区画数	2,350 区画
----------------	----------

「墓地・納骨堂・合葬墓についてのアンケート調査」(以下「宗教法人等アンケート調査」とする)で得られた市民が使用可能な墓地区画 2,286 区画は、市民の需要に対して何年分に相当するかの検討を行った。

需要数を基に、すでに経営許可を受けている墓地から今後何年間市民に墓地が供給されるかを計算すると、以下のとおり 17.1 年の供給が可能であると考えられる。

$$152 \times 5 \text{ 年} + 136 \times 5 \text{ 年} + 118 \times 7.1 \text{ 年} = 2,277.8 \approx 2,286 \text{ 区画}$$

$$5 \text{ 年} + 5 \text{ 年} + 7.1 \text{ 年} = 17.1 \text{ 年}$$

さらに、今回のアンケート調査で得られた市民使用可能新設・拡張区画数 64 区画も加えた 2,350 区画を同様に計算すると、17.7 年の供給が可能であると考えられる。

$$152 \times 5 \text{ 年} + 136 \times 5 \text{ 年} + 118 \times 7.7 \text{ 年} = 2,348.6 \approx 2,350 \text{ 区画}$$

$$5 \text{ 年} + 5 \text{ 年} + 7.7 \text{ 年} = 17.7 \text{ 年}$$

4-2 墓地・納骨堂の需給状況

墓地・納骨堂・合葬墓の供給量などを把握することにより、今後の北九州市における墓地・納骨堂・合葬墓のあり方を考える上での資料とすることを目的として、市内の宗教法人等 504 法人に対して「墓地・納骨堂・合葬墓についてのアンケート調査」（以下「宗教法人等アンケート調査」とする）を行い、335 法人から回答を得た（回収率 66.5%）。

また、市民を対象とした「墓地・納骨堂についてのアンケート調査」（以下「市民アンケート調査」とする）と併せて分析することにより、本市における墓地の需給状況を推定した。

(1) 墓地について

- ① 99 法人が 28,853 区画を保有している。うち 1,000 区画以上の大規模墓地を持つ法人は、4 法人であり、合計すると 18,906 区画保有している。
- ② 無縁と推定される区画は 1,093 区画であり、1 法人あたりの平均値は 13.0 区画、中央値は 3 区画となっている。
- ③ 未使用区画は 2,242 区画であり、1 法人あたりの平均値は 28.4 区画、中央値は 6 区画となっている。
- ④ 合葬墓の収容規模は 12,240 体であり、1 法人あたりの平均値は 235.4 区画、中央値は 100 体となっている。
- ⑤ 今後、新設予定の区画数は 30 区画、拡張予定の区画数は 81 区画である。
- ⑥ 市民が使用可能な無縁化区画、未使用区画及び新設・拡張予定区画の総計は 2,350 区画である。
- ⑦ 市民が使用可能な 2,350 区画を「市民アンケート調査」に基づく需要数で算定すると 17.7 年分の供給に相当する。

(2) 納骨堂について

- ① 223 法人が 62,293 壇を所有している。うち 1,000 壇以上の納骨堂を持つ法人は 4 法人であり、合計すると 8,596 壇所有している。
- ② 今後、新設予定の壇数は 827 壇、拡張予定の壇数は 558 壇である。
- ③ 市民が使用可能な未使用壇及び新設・拡張予定壇の総計は 10,129 壇である。

4-3 資料

(1)北九州市人口等(住民基本台帳)

市区町村名	人口(H31.1.1)			世帯数 (H31.1.1)	死亡者数 (H30.1.1~H30.12.31)	面積(km ²) (R2.1)
	男	女	計			
北九州市	453,368	502,567	955,935	483,555	11,385	491.69
門司区	45,772	53,297	99,069	50,431	1,557	73.67
若松区	39,636	43,607	83,243	40,297	1,081	71.31
戸畑区	27,915	30,279	58,194	30,267	762	16.61
小倉北区	85,883	95,613	181,496	101,840	2,122	39.23
小倉南区	101,751	110,429	212,180	101,631	2,095	171.48
八幡東区	31,297	35,542	66,839	35,085	972	36.26
八幡西区	121,114	133,800	254,914	124,004	2,796	83.13

出典 人口：「平成31年1月1日住民基本台帳人口・世帯数、平成30年（1月1日から同年12月31日まで）人口動態」
（総務省）

面積：「令和2年全国都道府県市区町村別面積調（1月1日時点）」（国土地理院）

(2) 死亡者予測

国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』をもとに算出した北九州市の死亡者予測

期首年齢→期末年齢	2015～2020年	2020～2025年	2025～2030年	2030～2035年	2035～2040年	2040～2045年
男						
0～4歳→5～9歳	16	13	11	9	8	7
5～9歳→10～14歳	9	8	7	6	5	4
10～14歳→15～19歳	16	14	12	10	9	8
15～19歳→20～24歳	45	38	35	32	28	25
20～24歳→25～29歳	67	64	57	53	49	45
25～29歳→30～34歳	74	67	63	56	52	49
30～34歳→35～39歳	96	80	73	69	62	57
35～39歳→40～44歳	159	132	110	99	95	85
40～44歳→45～49歳	281	230	192	161	146	140
45～49歳→50～54歳	400	431	355	298	250	227
50～54歳→55～59歳	572	575	626	520	441	373
55～59歳→60～64歳	906	819	829	910	762	651
60～64歳→65～69歳	1,804	1,439	1,316	1,349	1,494	1,262
65～69歳→70～74歳	3,058	2,456	1,979	1,831	1,898	2,121
70～74歳→75～79歳	3,606	4,130	3,337	2,703	2,513	2,620
75～79歳→80～84歳	4,779	5,084	5,898	4,788	3,900	3,639
80～84歳→85～89歳	5,729	5,871	6,391	7,630	6,276	5,204
85歳以上→90歳以上	7,336	9,353	10,740	12,301	15,077	15,104
女						
0～4歳→5～9歳	13	11	9	8	7	6
5～9歳→10～14歳	8	7	6	5	4	4
10～14歳→15～19歳	11	9	8	7	6	6
15～19歳→20～24歳	18	16	15	13	12	11
20～24歳→25～29歳	21	21	18	17	16	15
25～29歳→30～34歳	31	28	26	24	22	20
30～34歳→35～39歳	54	43	38	36	33	31
35～39歳→40～44歳	87	72	58	52	50	45
40～44歳→45～49歳	154	125	104	83	75	72
45～49歳→50～54歳	219	228	185	155	125	112
50～54歳→55～59歳	313	312	326	266	225	181
55～59歳→60～64歳	444	419	418	438	359	303
60～64歳→65～69歳	805	623	590	592	624	514
65～69歳→70～74歳	1,505	1,167	908	866	875	927
70～74歳→75～79歳	2,037	2,226	1,728	1,346	1,282	1,298
75～79歳→80～84歳	3,271	3,269	3,603	2,810	2,200	2,101
80～84歳→85～89歳	5,423	5,165	5,262	5,918	4,668	3,700
85歳以上→90歳以上	15,034	18,473	20,513	22,464	25,909	25,850
合計(推計死亡者数)	58,401	63,017	65,845	67,927	69,556	66,816
年平均	11,680	12,603	13,169	13,585	13,911	13,363
総人口	961,286	938,897	909,840	877,426	842,929	807,022

第5章 まとめ及び考察

5-1 まとめ

1. 市民の意識

①市民の墓地または納骨堂の所有状況について

市民に対し、墓地や納骨堂の有無についてたずねたところ、「持っている」が 67.7%、「持っていない」が 27.7%となった。平成3年の調査では、「お墓がある」が 48.4%、「納骨堂がある」が 21.2%、「ない」が 30.0%であり、墓地または納骨堂を持っている人の割合は 69.6%であった。今回調査、平成3年調査ともに墓地または納骨堂を持っている人の割合は6割台であり、大きな変化はみられなかった。

所有している墓地や納骨堂の所在地については、「市内」が 71.6%、「市外」が 28.2%となっている。平成3年の調査結果と比較すると「市内」が 15.7ポイント増加しており、居住地に近い場所に墓地や納骨堂を持つ傾向が強くなっているとみられる。

所有している墓地や納骨堂の形態については「寺院の納骨堂」が 31.1%と最も高く、次いで「公営の霊園」が 18.2%、「民営霊園」が 17.7%となっている。

②墓地や納骨堂の満足度について

墓地や納骨堂の満足度について、「満足している」が 64.6%、「どちらともいえない」が 27.2%、「不満である」が 7.6%となっている。平成3年の調査結果と比較すると、「満足している」は概ね同程度で、経年による変化はみられなかった。また、「不満である」が 6.2ポイント減少している。不満に思う理由は「遠いから」が 38.6%と最も高く、次いで「交通の便が悪いから」が 36.8%となっている。平成3年の調査結果と比較すると、「交通の便が悪いから」が 16.8ポイント増加、「自然環境が悪いから」が 7.0ポイント増加している。一方、「面積がせまいから」は 14.0ポイント減少、「家族や配偶者が、いまのお墓や納骨堂に入りたがらないから」は 7.9ポイント減少している。交通の便、周辺環境などに対する不満は増加しているが、墓の大きさなど墓そのものに対する不満は減少している。

③墓地や納骨堂に対する立場について

お墓や納骨堂を守る立場にあるかについて、「思う」が 67.2%、「思わない」が 15.5%、「わからない」が 14.7%となっている。年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「思う」の割合が増加しており、20代及び30代では4割台だが、60代及び70歳以上では7割を超えている。平成3年の調査結果と比較すると、「思う」が 9.1ポイント増加、「思わない」が 5.4ポイント減少している。増加した理由としては、今回調査では回答者のうち60代と70歳以上を合わせた割合が 55.7%と高くなっており、高齢者の意見が強く反映されたためとみられる。

④墓地や納骨堂の取得について

新たに墓地や納骨堂の取得を考えているかについて、「お墓を取得したい」が4.4%、「納骨堂を取得したい」が13.7%、「考えていない」が76.4%となっている。取得意向のある市民の割合では、納骨堂が墓地を上回っている。平成3年の調査結果と比較すると、取得意向のある市民の割合は平成3年には4割を超えていたが、今回調査では2割弱にとどまったことから、取得の必要がないと考えている人が増えている。また、「考えていない」が増加している理由は、墓地や納骨堂を持っている人の割合が67.7%を占めていることをふまえると、すでに取得しており、新たに取得する必要がないものであると推察される。

新たに墓地や納骨堂を取得したい理由は、「将来のことを考え、生存中に取得しておきたいから」が62.0%と最も高くなっている。平成3年の調査結果では、今回調査と同様に「将来のことを考え、生存中に取得しておきたいから」が最も高く50.1%となっている。今回調査では11.9ポイント増加しており、死後の手続きについて生前に備えておくという意識が高くなっていることがわかる。

墓地や納骨堂を選ぶときに重視する条件は、「価格（取得費や管理費）」が69.0%と最も高く、次いで「永代供養等の管理方法」が53.0%、「交通の便（自宅からの距離又は所要時間）」が48.0%となっている。一方、「設置者に対する信頼や安心感」が26.0%、「公営の墓地・納骨堂であること」が19.5%と比較的高くなっていることから、経営主体に対する信頼感を重視し、公的な経営形態である市立霊園を希望する市民は多いとみられる。平成3年の調査結果と比較すると、「永代供養等の管理方法」が23.1ポイント増加、「周辺の環境」が22.5ポイント、「交通の便（自宅からの距離又は所要時間）」が19.6ポイントの減少となっている。墓地の環境よりも管理方法などが重視されるようになっており、少子高齢化によって承継者がいない人が増えていることや、墓地に対する価値観の変化が影響しているものとみられる。

⑤希望する葬送形態について

希望する葬送形態は「納骨堂」が28.8%と最も高く、次いで「個々に区画されたお墓」が25.8%、「こだわらない」が25.3%となっている。「こだわらない」は20代から40代で3割を超えており、比較的高くなっている。自由意見では、樹木葬や合葬墓を検討しているとの意見もみられた。

⑥市立霊園について

市立霊園の利用状況について、「一般墓所を利用している」「納骨堂を利用している」「共同墓碑を利用している」を合わせた割合は16.5%となっている。「利用していない」は73.2%、「今後利用したいと考えている」は2.6%となっている。利用している理由としては「先祖伝来のお墓だから」が64.1%と最も高く、次いで「市立霊園は、永続性があり安心できるから」が35.9%、「毎年の管理料がかからないから」が29.8%となっている。市立霊園に求めるものについては、「特になし」が40.8%と最も高く、次いで「現在の市立霊園内の整備、利便性の向上（駐車場の増設、バリアフリー化等）」が24.3%、「市立『納骨堂』の増設」が22.0%となっている。墓地の増設を求めるものとしては「市立『合葬墓』の増設」が11.3%、「市立『共同墓碑』の新設」が6.2%となっている。自由意見では、散骨や樹木葬等への積極的な取組や、管理サービス面の向上を求める意見もみられた。

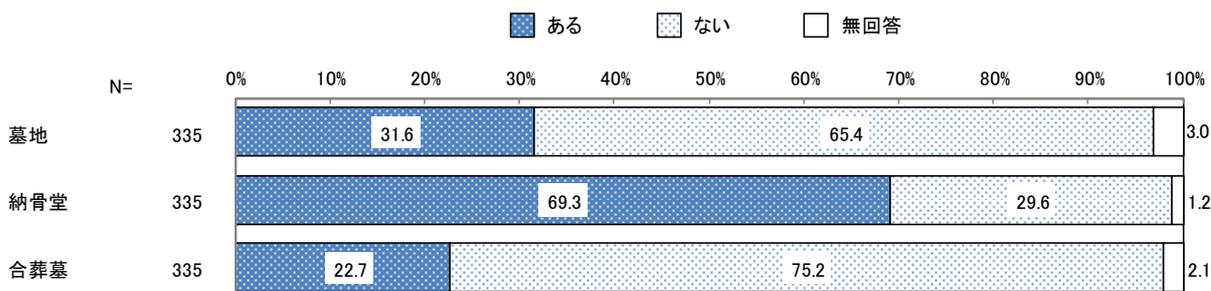
⑦墓地や納骨堂に関する意見

墓地や納骨堂に関する意見では、主に葬送の形態や費用面についての意見が多くなっている。葬送の形態に関しては、子どもの負担軽減や承継者がいないなどの理由で合葬墓や永代供養を望む意見があった。費用面では、墓にかかる費用が高額で負担が重いと意見が多く、経済的負担を軽くするという観点から、樹木葬や散骨などの新しい葬送形態を望む意見があった。従来は高額な費用をかけて墓を建立し、子孫へと受け継いでいくことが一般的であった。しかし、少子高齢化やライフスタイルの変化によって、承継者不在や墓の維持・管理にかかる費用負担できないという問題が出てきており、墓の維持が困難なケースが増加の傾向にあると考えられる。このような問題を解決し、新しい市民のニーズにこたえるため、多様な墓地の整備の検討が求められている。

2. 宗教法人等が設置する市内の墓地・納骨堂の状況

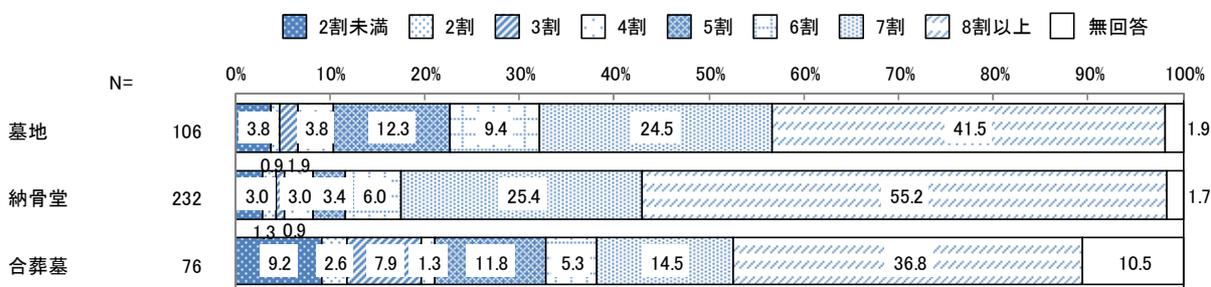
①墓地、納骨堂、合葬墓の有無について

市内の宗教法人等に対し、市内における墓地、納骨堂、合葬墓の有無をたずねた。「ある」の割合は、納骨堂が 69.3%と最も高く、次いで墓地が 31.6%、合葬墓が 22.7%となっている。



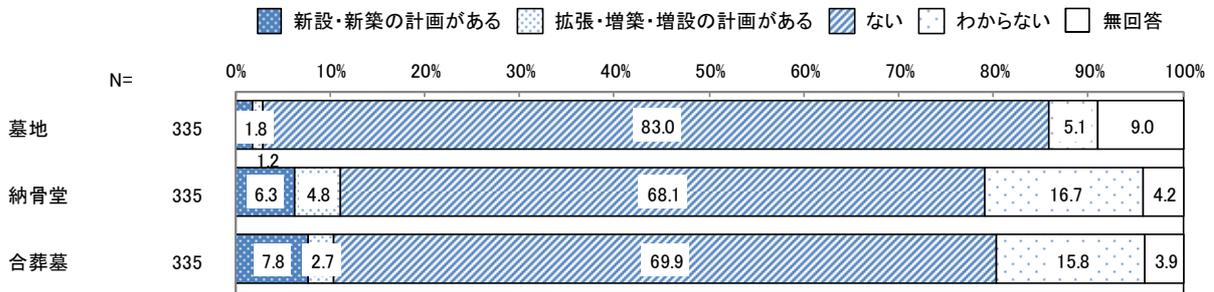
②利用者における北九州市内居住者の割合について

墓地、納骨堂、合葬墓の利用者における北九州市内居住者の割合をみると、納骨堂では「8割以上」が 55.2%と半数を超えており、「7割」も含めると 80.6%となる。このことから、納骨堂利用者には市内居住者が多いことがわかる。一方、合葬墓では「5割以下」と回答した割合の合計が 32.8%と、墓地及び納骨堂に比べて高くなっている。このことから、合葬墓の利用者には市外居住者が比較的多いことがうかがえる。



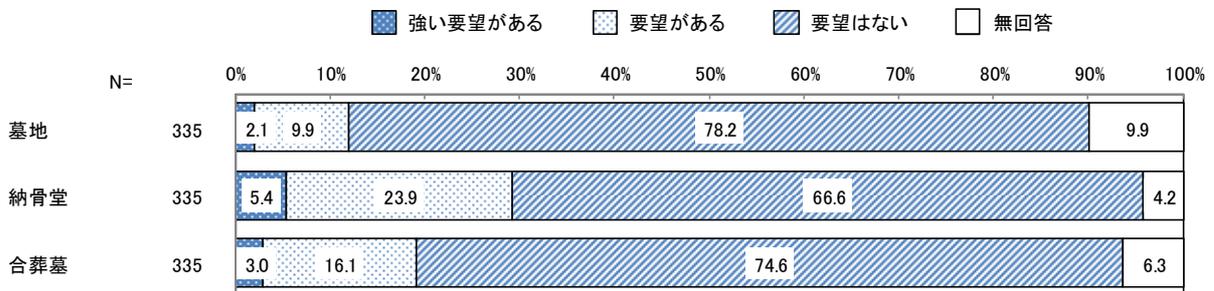
③新設・拡張等の計画の有無について

墓地、納骨堂、合葬墓の新設・拡張等の計画があるかについて、墓地では「ない」が8割を超え、納骨堂、合葬墓も6割台となっており、新たに墓地供給が増える見込みはすぐにはないと考えられる。



④信者の方からの要望について

信者の方から墓地、納骨堂、合葬墓の新設・拡張等の要望があるかについて、いずれも「要望はない」が7割程度であった。なお、墓地について平成3年の調査結果と比較すると、「強い要望がある」は6.8ポイント、「要望がある」は26.9ポイント減少している。一方、「要望はない」が28.3ポイント増加しており、信者の方からの要望が減っていることがわかる。



3. 合葬墓について

①合葬墓に対する市民の意識について

市民に対し、合葬墓を知っているかたずねたところ、「知っている」が 25.4%、「聞いたことがある」が 31.9%、「知らない」が 35.8%となった。合葬墓についての考えは、「大いに評価する」と「どちらか」として評価するは合わせて 39.1%となり、約 4 割の市民が合葬墓を評価していることがわかった。また、「わからない」と「どちらでもない」は合わせて 44.3%となり、明確な意識を持っていない市民も約 4 割いることがわかった。なお、「全く評価しない」と「どちらか」として評価しないを合わせた割合は 8.4%となっている。評価する理由は、「お墓を継ぐ人がいないから、今後いなくなるかもしれないから」が 69.8%と最も高く、次いで「子どもや家族に負担をかけたくないから」が 64.7%、「お墓を持つのは高額のコストがかかるから」が 47.6%となっている。合葬墓の特色のうち、納骨後の維持・管理が不要で承継者がいなくても利用できる点や、費用が抑えられる点が評価されている。評価しない理由は「他人の遺骨と一緒にになるから」が 75.3%と最も高く、次いで「どのようなものかよくわからないから」が 22.6%、「埋葬後、遺骨が取り出せないから」が 21.5%となっている。家族が合葬墓を希望した場合に希望通り埋葬するかについては、「埋葬する」が 42.9%、「埋葬しない」が 14.7%、「わからない」が 34.0%となっている。家族の埋葬方法で合葬墓を選択するかについても、明確な意識を持っていない市民が 3 割以上いることがわかった。

②公営合葬墓を設置した場合の市民の利用意向について

北九州市が合葬墓を設置した場合の利用意向は、「利用したい」が 16.6%、「利用したくない」が 20.9%、「わからない」が 54.0%となっている。利用したい理由としては、市が運営を行うため管理面で安心できるとの理由が多くみられた。合葬墓を評価する理由と同様に、納骨後の維持・管理が不要であることや、費用が抑えられることを評価する意見もあった。子どもがいない人や、子どもはいるが墓の維持・管理にかかる負担をかけたくないという市民は多く、そのような人には合葬墓のニーズが高い。利用したくない理由としては、すでに墓を所有していることや、先祖代々の墓があるとの理由が多くみられた。ただ、そのような意見のなかにも、もし墓を持っていないければ合葬墓を利用したいとの意見もあった。そのほかに、他人の遺骨と一緒にすることに抵抗があるとの意見や、散骨を希望しているためそもそも墓は不要であるとの意見もあった。

③市内宗教法人等の合葬墓設置理由について

合葬墓を設置している宗教法人等に対し、合葬墓を設置した理由をたずねたところ、「信者の方からの要望」が 46.1%と最も高く、次いで「需要が高いと判断したから」が 42.1%、「その他」として「無縁者への対応のため」や「墓じまいへの対応のため」などが 30.3%となっている。

④公営合葬墓を設置した場合の市内宗教法人等への影響について

宗教法人等に対し、北九州市が公営の合葬墓を新設することになった場合の所有霊園への影響についてたずねたところ、「影響がある」が 14.3%、「影響はない」が 39.7%、「どちらでもない」が 8.1%、「分からない」が 33.1%となっており、約 4 割の法人が影響はないと回答している。「影響がある」の具体的な内容としては、檀信徒の減少や、収入減によって法人運営が厳しくなるとの意見が多くみられた。そのほかに、宗教意識の希薄化を懸念する意見もあった。

5-2 考察

市民アンケート調査から、市民の需要は納骨堂が墓地を上回っていること、希望する葬送形態は納骨堂が最も高かったこと、市立霊園に求めるものは「市立納骨堂の増設」が最も高かったことがわかり、納骨堂を求める市民が多いことが示唆された。

また、墓地や納骨堂を選ぶときに重視する条件に、経営主体に対する信頼感を求める市民が多く、公的な経営形態である市立霊園を希望する市民が多いとみられる。

合葬墓については、約4割の市民が合葬墓を評価しており、家族が合葬墓を希望した場合に、約4割の市民が希望通り埋葬すると回答している。しかしながら、市立の合葬墓を設置した場合に利用したいと思っている市民は16.6%であり、宗教法人への合葬墓の新設または増設を要望する割合も19.1%と低いことから、所有している先祖代々の墓地・納骨堂を合葬墓へ移すといった、いわゆる「墓じまい」の動きが活発化している様子は見られなかった。ただし、現在、墓や納骨堂を守る立場にある世代は、子どもや家族に負担をかけたくないと思っている人が多いとみられ、子の世代に引き継ぐタイミングで合葬墓の需要が高まる可能性は大いに考えられる。

墓地の供給可能年数については、市民が使用可能な墓地の供給年数を予測したところ、すでに経営許可を持つ墓地において、今後、墓地は17.1年の供給が可能と推定された。さらに新設・拡張予定の区画を含めると、今後、17.7年の供給が可能であると推定され、墓地の不足はないと考えられる。

最後に、宗教法人等から挙げた意見から、墓地・納骨堂・合葬墓の設置・管理に関する主な課題としてみてきたことが2点ある。

1点目は、墓地の承継者がいないケースや無縁仏の増加である。墓地・納骨堂の所有者と連絡がつかなくなり対応に苦慮しているとの意見が多くみられた。宗教法人等のなかには、対策として、承継者不在となった場合や納骨後一定年数が経過した場合は合葬するとの取り決めをしている法人もあったが、所有者不明の墓や納骨堂が放置されたままにならない仕組みづくりが必要である。

2点目は宗教法人等の運営に関する課題である。人口減少により檀信徒が減少するなか、葬儀・法要等の減少や無縁仏の増加による収入減で運営に支障が出ることも考えられる。また、後継者不足は宗教法人等も例外ではなく、存続が困難な法人が出てくることも想定され、管理不能となる墓地・納骨堂が発生する恐れがある。

今回の市民や宗教法人等のアンケート調査の結果から、本市における墓地・納骨堂・合葬墓の状況を把握することができた。これを踏まえ、今後、墓地や宗教法人等のあり方について適切な対策を検討していく必要がある。

第6章 資料

6-1 市民アンケート調査

(1) 調査票

墓地・納骨堂についてのアンケート調査のお願い

(市民アンケート調査)

市民の皆様には、日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、市民の皆様の声をお聴きし、墓地・納骨堂の需要量及び実態や市民意識を把握することにより、今後の北九州市における墓地・納骨堂のあり方を考える上での資料とすることを目的として、市内にお住まいの20歳以上の方から3,000人をランダムに選び、調査票をお送りしています。

この調査は無記名で行い、調査の結果は「こういう意見の方が何%」というように数字で統計的に処理しますので、お答えいただいた各個人の回答が公表されることはありません。また、本調査以外の目的に使用することはありません。

ご多忙のところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解の上、皆様のご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

令和2年2月

北九州市長 北橋 健治

(ご記入にあたって)

1. この調査票は、必ず宛名のご本人がお答えください。
2. 調査については、令和元年12月末現在の状況をご記入ください。
3. ご記入にあたっては、黒または青のインクのペンまたはボールペンを使用してください。
4. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。「その他」にあてはまる場合には、()内に具体的な内容をできるだけご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
6. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて令和2年2月28日(金)までに投函してください。その際、お名前やご住所の記入は不要です。
7. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

【調査実施・お問合せ先】

株式会社プラスアド

担 当：寿浦(じゅうら)、松岡(まつおか)

電 話：093-581-4433

FAX：093-583-8880

【調査主体】

北九州市保健福祉局保健衛生課環境衛生係

電 話：093-582-2435

FAX：093-582-4037

北九州市建設局公園管理課管理係

電 話：093-582-2464

FAX：093-582-0166

I あなた自身について

調査にご協力いただいているあなたやご家庭のことについておたずねします。

問1. あなたの性別をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2. あなたの年齢をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 |
| 4. 50代 | 5. 60代 | 6. 70歳以上 |

問3. あなたの家族構成をお答えください。家族には、現在同居されていない方（単身赴任中や下宿中の方、入院または養護老人ホーム等に入られている方）も含みます。
(○はひとつだけ)

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 兄弟・姉妹 | 4. 2世代（親と子） |
| 5. 3世代（親と子と孫） | 6. その他（ ） |

問4. あなたのお住まいは何区ですか。(○はひとつだけ)

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1. 門司区 | 2. 小倉北区 | 3. 小倉南区 |
| 4. 若松区 | 5. 八幡東区 | 6. 八幡西区 |
| 7. 戸畑区 | | |

問5. あなたはこれから先も今のお住まいに住み続けたいと思いますか。(○はひとつだけ)

- | |
|--|
| 1. 住み続ける |
| 2. たぶん住み続ける |
| 3. 市内の他の地区に転居したい → (区) |
| 4. 市外に転居したい |
| 5. わからない |

Ⅱ お墓、納骨堂について

お墓や納骨堂についておたずねします。

問 6. あなたは利用できるお墓や納骨堂を持っていますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 持っている | → 問 6-1 へお進みください |
| 2. 持っていない | } → 問 7 へお進みください |
| 3. わからない | |

ここからは、問 6 で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問 6-1. そのお墓や納骨堂はどこにありますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-------|-------------------------|
| 1. 市内 | → (区) |
| 2. 市外 | |

問 6-2. そのお墓や納骨堂はどのようなものですか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 公営の霊園 | : 県、市町村など公共団体が設置・管理する霊園 |
| 2. 公営の納骨堂 | : 県、市町村など公共団体が設置・管理する納骨堂 |
| 3. 民営霊園 | : 民間事業者が設置・管理する霊園 |
| 4. 地区共有・財産区有墓地 | : 地元の入会地などにある、先祖伝来の墓地 |
| 5. 地区共有・財産区有納骨堂 | : 地元の入会地などにある、先祖伝来の納骨堂 |
| 6. 寺院のお墓（境内墓地） | : 寺院（お寺）などが設置・管理する墓地 |
| 7. 寺院の納骨堂 | : 寺院（お寺）などが設置・管理する納骨堂 |
| 8. その他（ | ） |

問 6-3. あなたはそのお墓や納骨堂に満足していますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 満足している | } → 問 7 へお進みください |
| 2. どちらともいえない | |
| 3. 不満である | → 問 6-4 へお進みください |

問6-3で「3」とお答えの方のみにおたずねします。

問6-4. あなたが不満に思うのはなぜですか。(○はいくつでも)

1. 遠いから
2. 面積がせまいから
3. 管理が悪いから
4. 墓地や納骨堂周辺の雰囲気が悪いから
5. 家族や配偶者が、いまのお墓や納骨堂に入りがらないから
6. 交通の便が悪いから
7. 管理に費用がかかるから
8. 自然環境が悪いから
9. その他 ()

全員の方におたずねします。

問7. あなたはお墓や納骨堂を守る立場にあると思いますか。(○はひとつだけ)

1. 思う
2. 思わない
3. わからない

問8. あなたは新たにお墓や納骨堂の取得を考えていますか。(○はひとつだけ)

- | | | |
|--------------|---|--------------|
| 1. お墓を取得したい | → | 問8-1へお進みください |
| 2. 納骨堂を取得したい | → | 問8-2へお進みください |
| 3. 考えていない | → | 問9へお進みください |

問8で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問8-1. あなたはお墓をいつごろ取得したいと考えていますか。(○はひとつだけ)

1. 現在探している
2. 5年以内に取得したい
3. 10年以内に取得したい
4. 20年以内に取得したい
5. その他 ()

ここからは、問8で「1」または「2」とお答えの方におたずねします。

問8-2. 新たにお墓や納骨堂の取得を考えている理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 現在、遺骨があるが、利用できるお墓や納骨堂がないから
2. 将来のことを考え、生存中に取得しておきたいから
3. 現在利用できるお墓や納骨堂に不満があるから
4. 遠方にある遺骨を近くに移したいから
5. その他 ()

問8-3. お墓や納骨堂を取得するとしたら、どの地区を希望しますか。(〇はひとつだけ)

1. 市内 → (区)
2. 市外

問8-4. お墓や納骨堂を選ぶときにどんな条件を重視しますか。(〇は3つまで)

1. 価格 (取得費や管理費)
2. 面積
3. 永代供養等の管理方法
4. 交通の便 (自宅からの距離又は所要時間)
5. 周辺的环境
6. 民営の墓地・納骨堂であること
7. 公営の墓地・納骨堂であること
8. 墓地・納骨堂の雰囲気
9. 設置者に対する信頼や安心感
10. 宗教的理由 (宗旨・宗派)
11. その他 ()

全員の方におたずねします。

問9. 近年、葬送の形態が多様化しています。あなたはあなた自身（又は家族を）どのように葬られる（葬る）ことを希望しますか。（○はひとつだけ）

- | |
|--|
| 1. 個々に区画されたお墓 |
| 2. 納骨堂 |
| 3. 合葬墓※1 |
| 4. 散骨※2 |
| 5. こだわらない |
| 6. その他（) |

※1「合葬墓」については、10ページの説明をご参照ください。

※2「散骨」とは、海洋などに細かく砕いた遺骨を撒く葬送方法のことです。

北九州市の市立霊園には、一般墓所、納骨堂、共同墓碑という形態の墓所があります。
市立霊園について全員の方におたずねします。

問10. あなたは北九州市立霊園を利用していますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 一般墓所を利用している | } → 問11へお進みください |
| 2. 納骨堂を利用している | |
| 3. 共同墓碑を利用している | |
| 4. 利用していない | } → 問12へお進みください |
| 5. 今後利用したいと考えている | |

問10で「1」～「3」とお答えの方のみにおたずねします。

問11. あなたが北九州市立霊園を利用する理由は何ですか。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 先祖伝来のお墓だから |
| 2. 利便性が良いから |
| 3. 毎年の管理料がかからないから |
| 4. 市立霊園の設備・サービスに満足しているから |
| 5. 市立霊園は、永続性があり安心できるから |
| 6. その他（) |

全員の方におたずねします。

問 1 2. あなたが北九州市立霊園に求めるものは何ですか。(〇はいくつでも)

※具体的な要望などがあれば問 1 3 の欄にお書きください。

1. 現在の市立霊園内の整備、利便性の向上(駐車場の増設、バリアフリー化等)
2. 市立霊園内の一般墓所の区画数を増やす
3. 市立「納骨堂」の増設
4. 市立「共同墓碑」の増設
5. 市立「合葬墓」の新設
6. 特にない
7. その他 ()

問 1 3. 墓地や納骨堂に関するご意見、ご要望等がございましたら、何でも結構です
から自由にご記入ください。

Ⅲ 合葬墓について

※「合葬墓（合葬式の共同墓）」とは、一つのお墓に多くの遺骨を一緒に埋葬するという新しい形態のお墓です。一般的に次のような特色を持っています。

- (1) 多くの他人の遺骨を同じ場所に埋葬する、共同のお墓です。
- (2) 一般的に納骨後の維持・管理が必要ありません。
- (3) 「お墓を継ぐ人」がいない方も利用できます。
- (4) 納骨堂と異なり、遺骨を納めている施設内に入って、個人の遺骨の前での参拝はできません。
- (5) 一度納骨すると、遺骨を取り出すこと（改葬）はできません。
- (6) 施設のイメージは、下の写真をご参照ください。



樹木型合葬墓（イメージ）



モニュメント型合葬墓（イメージ）

合葬墓について全員の方におたずねします。

問14. あなたは合葬墓を知っていますか。(○はひとつだけ)

- 1. 知っている
- 2. 聞いたことがある
- 3. 知らない

問15. あなたは合葬墓についてどのように考えますか。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------------------|---|-----------------|
| 1. 大いに評価する | } | → 問15-1へお進みください |
| 2. どちらかという人评价する | | |
| 3. どちらでもない | | → 問16へお進みください |
| 4. どちらかという人评价しない | } | → 問15-2へお進みください |
| 5. 全く評価しない | | |
| 6. わからない | } | → 問16へお進みください |
| 7. その他 () | | |

問15で「1」または「2」とお答えの方のみにおたずねします。

問15-1. 合葬墓を評価する理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. お墓を持つのは高額のコストがかかるから
- 2. お墓を継ぐ人がいないから、今後いなくなるかもしれないから
- 3. 子どもや家族に負担をかけたくないから
- 4. 先祖と同じお墓や納骨堂に入りたくないから
- 5. その他 ()

問15で「4」または「5」とお答えの方のみにおたずねします。

問15-2. 合葬墓を評価しない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 他人の遺骨と一緒にいるから
- 2. 遺族が反対すると思うから
- 3. 埋葬後、遺骨が取り出せないから
- 4. どのようなものかよくわからないから
- 5. その他 ()

全員の方におたずねします。

問16. 家族が合葬墓への埋葬を希望した場合、あなたは家族の希望通り合葬墓に埋葬しますか。(○はひとつだけ)

- 1. 埋葬する
- 2. 埋葬しない
- 3. わからない

問17. 北九州市が市立の合葬墓を設置した場合、あなたは利用したいですか。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------------|---|---------------|
| 1. 利用したい | } | → 問17-1へお進みくだ |
| 2. 利用したくない | | |
| 3. わからない | | → 問18へお進みください |

問17で「1」または「2」とお答えの方のみにおたずねします。

問17-1. 市立の合葬墓を利用したい理由または利用したくない理由は何ですか。自由にご記入ください。

問18. 合葬墓に関するご意見、ご要望等がございましたら、何でも結構ですから自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入漏れなどお確かめの上、同封の返信用封筒で2月28日（金）までにご投函ください。

(2) 集計表

問1 性別

全体	男性	女性	無回答
1102	424	641	37
100.0	38.5	58.2	3.4

問2 年齢

全体	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
1102	73	98	133	148	217	397	36
100.0	6.6	8.9	12.1	13.4	19.7	36.0	3.3

問3 家族構成

全体	一人暮らし	夫婦のみ	兄弟・姉妹	2世代（親と子）	3世代（親と子と孫）	その他	無回答
1102	161	284	17	504	77	20	39
100.0	14.6	25.8	1.5	45.7	7.0	1.8	3.5

問4 居住地

全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答
1102	111	190	239	99	72	289	66	36
100.0	10.1	17.2	21.7	9.0	6.5	26.2	6.0	3.3

問5 現在の居住地への定住意向

全体	住み続ける	たぶん住み続ける	市内の他の地区に 転居したい	市外に転居したい	わからない	無回答
1102	559	362	27	18	99	37
100.0	50.7	32.8	2.5	1.6	9.0	3.4

問5 市内の他の地区の内訳

全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答
27 100.0	4 14.8	7 25.9	4 14.8	0 0.0	3 11.1	6 22.2	0 0.0	3 11.1

問6 お墓や納骨堂の有無

全体	持っている	持っていない	わからない	無回答
1102 100.0	746 67.7	305 27.7	47 4.3	4 0.4

問6-1 お墓や納骨堂の所在地

全体	市内	市外	無回答
746 100.0	534 71.6	210 28.2	2 0.3

問6-1 市内の内訳

全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答
534 100.0	72 13.5	94 17.6	92 17.2	71 13.3	49 9.2	112 21.0	24 4.5	20 3.7

問6-2 お墓や納骨堂について

全体	が設置・管理する霊園	が設置・管理する納骨堂	民間営業者が設置・管理する霊園	に地区共有・財産区有地など	納骨堂に地区共有・財産区有地など	置：寺院の管理（お墓・境内墓地）	寺院の納骨堂（お納骨堂）など	その他	無回答
746 100.0	136 18.2	18 2.4	132 17.7	105 14.1	5 0.7	81 10.9	232 31.1	25 3.4	12 1.6

問6-3 お墓や納骨堂の満足度

全体	満足している	どちらともいえない	不満である	無回答
746 100.0	482 64.6	203 27.2	57 7.6	4 0.5

問6-4 不満に思う理由

全体	遠いから	面積がせまいから	管理が悪いから	墓地や納骨堂周辺の雰囲気が悪いから	お墓や納骨堂に入りがらないから	家族や配偶者が、いまのお墓や納骨堂に	交通の便が悪いから	管理に費用がかかるから	自然環境が悪いから	その他	無回答
57 100.0	22 38.6	4 7.0	8 14.0	6 10.5	2 3.5		21 36.8	9 15.8	10 17.5	11 19.3	1 1.8

問7 お墓や納骨堂を守る立場にあるか

全体	思う	思わない	わからない	無回答
1102 100.0	741 67.2	171 15.5	162 14.7	28 2.5

問8 新たなお墓や納骨堂の取得意向

全体	お墓を取得したい	納骨堂を取得したい	考えていない	無回答
1102 100.0	49 4.4	151 13.7	842 76.4	60 5.4

問8-1 お墓の取得時期について

全体	現在探している	5年以内に取得したい	10年以内に取得したい	20年以内に取得したい	その他	無回答
49 100.0	6 12.2	9 18.4	13 26.5	11 22.4	10 20.4	0 0.0

問8-2 新たにお墓や納骨堂取得を考えている理由

全体	が利用できないから	現在、お墓や納骨堂があるが、	将来の遺骨をどうするか	納骨堂に不満があるから	移した方がよいから	その他	無回答
200 100.0	7 3.5	124 62.0	20 10.0	21 10.5	20 10.0	22 11.0	

問8-3 お墓や納骨堂の取得希望地

全体	市内	市外	無回答
200 100.0	166 83.0	14 7.0	20 10.0

問8-3 市内の内訳

全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答
166	15	18	37	16	12	29	8	31
100.0	9.0	10.8	22.3	9.6	7.2	17.5	4.8	18.7

問8-4 お墓や納骨堂を選ぶ時の条件

全体	価格 (取得費や管理費)	面積	永代 供養等 の管理 方法	交通の便 (自宅から の距離又 は所要 時間)	周辺 の環境	民営 の墓地 ・納骨 堂で ある こと	公営 の墓地 ・納骨 堂で ある こと	墓地 ・納骨 堂の 雰囲気	設置 者 に 対 す る 信 頼 や 安 心 感	宗教 的 理 由 (宗 旨 ・ 宗 派)	その他	無回答
200	138	2	106	96	19	1	39	25	52	17	4	19
100.0	69.0	1.0	53.0	48.0	9.5	0.5	19.5	12.5	26.0	8.5	2.0	9.5

問9 葬送形態についての希望

全体	個々に 区画さ れたお 墓	納骨 堂	合葬 墓	散骨	こだわ らない	その他	無回答
1102	284	317	46	101	279	27	48
100.0	25.8	28.8	4.2	9.2	25.3	2.5	4.4

問10 北九州市立霊園を利用しているか

全体	利一 用般 墓所 を る	利納 骨堂 を る	利共 同墓 碑を る	利 用し てい ない	考今 後利 用し たい と	無 回 答
1102	155	22	4	807	29	85
100.0	14.1	2.0	0.4	73.2	2.6	7.7

問11 北九州市立霊園を利用する理由

全体	先 祖 伝 来 の お 墓 だ か ら	利 便 性 が 良 い か ら	か ら 毎 年 の 管 理 料 が	サ ー ビ ス に 満 足 し て い る か ら	市 立 霊 園 の 設 備 ・	市 立 霊 園 は 、 永 続 性 が あ り 安 心 で き る か ら	そ の 他	無 回 答
181	116	53	54	31	65	7	4	
100.0	64.1	29.3	29.8	17.1	35.9	3.9	2.2	

問 12 北九州市立霊園に求めるもの

全体	フリー化等 (駐車場の増設、バリア 整備、利便性の向上)	現在の市立霊園内の 区画数を増やす	市立「納骨堂」の増設	市立「共同墓碑」の増設	市立「合葬墓」の新設	特にない	その他	無回答
1102	268	97	242	68	125	450	43	114
100.0	24.3	8.8	22.0	6.2	11.3	40.8	3.9	10.3

問 14 合葬墓を知っているか

全体	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
1102	280	352	394	76
100.0	25.4	31.9	35.8	6.9

問 15 合葬墓についての考え

全体	大いに評価する	どちらかという と評価する	どちらでもない	どちらかという と評価しない	全く評価しない	わからない	その他	無回答
1102	121	310	224	72	21	265	5	84
100.0	11.0	28.1	20.3	6.5	1.9	24.0	0.5	7.6

問 15-1 合葬墓を評価する理由

全体	お墓を持つのは高額 の費用がかかるから	お墓を継ぐ人がい なくなるか もかられないから	子どもや家族に負担 をかけたくないから	先祖と同じお墓や納 骨堂に入りたくない	その他	無回答
431	205	301	279	20	16	1
100.0	47.6	69.8	64.7	4.6	3.7	0.2

問 15-2 合葬墓を評価しない理由

全体	他人の遺骨と一緒に なるから	遺族が反対すると 思うから	取り出せないから 埋葬後、遺骨が	どのようなものか よくわからないから	その他	無回答
93	70	17	20	21	13	3
100.0	75.3	18.3	21.5	22.6	14.0	3.2

問 16 家族が合葬墓を希望した場合の対応

全体	埋葬する	埋葬しない	わからない	無回答
1102	473	162	375	92
100.0	42.9	14.7	34.0	8.3

問 17 北九州市が市立の合葬墓を設置した場合

全体	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
1102	183	230	595	94
100.0	16.6	20.9	54.0	8.5

6-2 宗教法人等アンケート調査

(1) 調査票

墓地・納骨堂・合葬墓についてのアンケート調査のお願い

(宗教法人等アンケート調査)

日頃から市政に関してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケートは、墓地・納骨堂・合葬墓の供給量などを把握することにより、今後の北九州市における墓地・納骨堂・合葬墓のあり方を考える上での資料とすることを目的として、市内の宗教法人等へ調査票をお送りしています。

この調査は無記名で行い、調査の結果は「こういう意見の方が何%」というように数字で統計的に処理しますので、お答えいただいた各法人の回答が公表されることはありません。また、本調査以外の目的に使用することはありません。

ご多忙のところ恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解の上、皆様のご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

令和2年2月

北九州市長 北橋 健治

(ご記入にあたって)

1. この調査票は、貴団体の代表者の方がお答えください。
2. 調査については、令和元年12月末現在の状況をご記入ください。
3. ご記入にあたっては、黒または青のインクのペンまたはボールペンを使用してください。
4. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。「その他」にあてはまる場合には、() 内に具体的な内容をできるだけご記入ください。また、数をおたずねする問では、() 内に数をご記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
6. ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて令和2年2月28日(金)までに投函してください。その際、お名前やご住所の記入は不要です。
7. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

【調査実施・お問合せ先】

株式会社プラスアド

担 当：寿浦(じゅうら)、松岡(まつおか)

電 話：093-581-4433

FAX：093-583-8880

【調査主体】

北九州市保健福祉局保健衛生課環境衛生係

電 話：093-582-2435

FAX：093-582-4037

北九州市建設局公園管理課管理係

電 話：093-582-2464

FAX：093-582-0166

I 貴団体について

1. 貴団体は次のどれにあてはまりますか。(○はひとつだけ)

1. 仏教系
2. 神道系
3. キリスト教系
4. その他 ()

問2. 貴団体は何区にありますか。(○はひとつだけ)

1. 門司区
2. 小倉北区
3. 小倉南区
4. 若松区
5. 八幡東区
6. 八幡西区
7. 戸畑区
8. 市外

Ⅱ 墓地（霊園）について

問3. 北九州市内に貴団体所有の墓地（霊園を含む）はありますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|-------|----------------|
| 1. ある | → 問3-1へお進みください |
| 2. ない | → 問4へお進みください |

ここからは、問3で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問3-1. その墓地はどこにありますか。（複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。）

- | |
|---------|
| 1. 門司区 |
| 2. 小倉北区 |
| 3. 小倉南区 |
| 4. 若松区 |
| 5. 八幡東区 |
| 6. 八幡西区 |
| 7. 戸畑区 |

問3-2. その墓地の利用者のうち、北九州市内の居住者はどのくらいの割合ですか。（○はひとつだけ）

- | |
|---------|
| 1. 2割未満 |
| 2. 2割 |
| 3. 3割 |
| 4. 4割 |
| 5. 5割 |
| 6. 6割 |
| 7. 7割 |
| 8. 8割以上 |

問3-3. 墓地は全部で何区画ありますか。

※区画とは、永代使用を認めた個々の区域をいいますが、その区域がはっきりしない場合は、一つの墓碑を1区画とみなしてください。

() 区画

問3-3-1. 墓地の区画のうち、次のものはそれぞれ何区画ありますか。

無縁と推定されるもの : () 区画

未使用のもの : () 区画

全員の方におたずねします。

問4. 北九州市内に墓地を新しく建設または拡張する計画はありますか。(○はひとつだけ)

※「ある」場合は区画数を、「ある」が規模が未定の場合は「未定」と()内に記入してください。

1. 新設の計画がある () 区画

2. 拡張の計画がある () 区画

3. ない

4. わからない

問5. 信者の方から墓地の新設または拡張を要望されていますか。(○はひとつだけ)

1. 強い要望がある

2. 要望がある

3. 要望はない

Ⅲ 納骨堂について

問6. 北九州市内に貴団体所有の納骨堂はありますか。(○はひとつだけ)

1. ある → 問6-1へお進みください
2. ない → 問7へお進みください

ここからは、問6で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問6-1. その納骨堂はどこにありますか。(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

1. 門司区
2. 小倉北区
3. 小倉南区
4. 若松区
5. 八幡東区
6. 八幡西区
7. 戸畑区

問6-2. その納骨堂の利用者のうち、北九州市内の居住者はどのくらいの割合ですか。(○はひとつだけ)

1. 2割未満
2. 2割
3. 3割
4. 4割
5. 5割
6. 6割
7. 7割
8. 8割以上

問6-3. 納骨堂は全部で何壇ありますか。

() 壇

問6-4. 現在使用されているのは何壇ですか。

() 壇

全員の方におたずねします。

問7. 北九州市内に納骨堂を新築または増築する計画はありますか。(○はひとつだけ)

※「ある」場合は壇数を、「ある」が規模が未定の場合は「未定」と()内に記入してください。

1. 新築の計画がある () 壇
2. 増築の計画がある () 壇
3. ない
4. わからない

問8. 信者の方から納骨堂の新築または増築を要望されていますか。(○はひとつだけ)

1. 強い要望がある
2. 要望がある
3. 要望はない

IV 合葬墓について

問9. 北九州市内に貴団体所有の合葬墓（合葬式の共同墓）はありますか。（○はひとつだけ）

- | | |
|-------|----------------|
| 1. ある | → 問9-1へお進みください |
| 2. ない | → 問10へお進みください |

ここからは、問9で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問9-1. その合葬墓はどこにありますか。（複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。）

- | |
|---------|
| 1. 門司区 |
| 2. 小倉北区 |
| 3. 小倉南区 |
| 4. 若松区 |
| 5. 八幡東区 |
| 6. 八幡西区 |
| 7. 戸畑区 |

問9-2. その合葬墓の形状はどのようなものですか。（複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。）

- | |
|------------|
| 1. モニュメント型 |
| 2. 樹木型 |
| 3. その他 () |

問9-3. その合葬墓の利用者のうち、北九州市内の居住者はどのくらいの割合ですか。(○はひとつだけ)

1. 2割未満
2. 2割
3. 3割
4. 4割
5. 5割
6. 6割
7. 7割
8. 8割以上

問9-4. 合葬墓の収容規模はどのくらいですか。

() 体

問9-5. 現在収容されているのはどのくらいですか。

() 体

問9-6. 合葬墓を設置した理由は何ですか。(複数ある場合は、該当するものすべてに○をつけてください。)

1. 信者の方からの要望
2. 墓所や納骨堂を増設できないから
3. 需要が高いと判断したから
4. その他 ()

全員の方におたずねします。

問10. 北九州市が公営の合葬墓を新設することになった場合、貴団体所有の霊園の運営に影響が生じると考えますか。(○はひとつだけ)

- | | | |
|------------|---|---------------|
| 1. 影響がある | → | 問10-1へお進みください |
| 2. 影響はない | } | 問11へお進みください |
| 3. どちらでもない | | |
| 4. 分からない | | |

問10で「1」とお答えの方のみにおたずねします。

問10-1. どのような影響が生じると考えますか。ご自由にご記入ください。

全員の方におたずねします。

問11. 北九州市内に合葬墓を新設または増設する計画はありますか。(○はひとつだけ)

※「ある」場合は収容規模を、「ある」が規模が未定の場合は「未定」と()内に記入してください。

- | | | | | |
|-------------|---|--|---|---|
| 1. 新設の計画がある | (| |) | 体 |
| 2. 増設の計画がある | (| |) | 体 |
| 3. ない | | | | |
| 4. わからない | | | | |

問 1 2. 信者の方から合葬墓の新設または増設を要望されていますか。(○はひとつだけ)

1. 強い要望がある
2. 要望がある
3. 要望はない

問 1 3. 墓地、納骨堂、合葬墓の設置・管理に関する課題、ご意見、ご要望等がございましたら、何でも結構ですから自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

ご記入漏れなどお確かめの上、同封の返信用封筒で2月28日(金)までにご投函ください。

(2) 集計表

問1 団体の宗教

全体	仏教系	神道系	キリスト教系	その他	無回答
335	223	77	11	4	20
100.0	66.6	23.0	3.3	1.2	6.0

問2 団体の所在地

全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	市外	無回答
335	42	63	43	40	47	57	22	1	20
100.0	12.5	18.8	12.8	11.9	14.0	17.0	6.6	0.3	6.0

問3 北九州市内に所有墓地があるか

全体	ある	ない	無回答
335	106	219	10
100.0	31.6	65.4	3.0

問3-1 墓地の所在地

全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答
106	15	32	16	17	7	17	3	0
100.0	14.2	30.2	15.1	16.0	6.6	16.0	2.8	0.0

問 3-2 墓地利用者の北九州市内居住者の割合

全体	2割未満	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割以上	無回答
106	4	1	2	4	13	10	26	44	2
100.0	3.8	0.9	1.9	3.8	12.3	9.4	24.5	41.5	1.9

問 3-3 墓地の区画数(合計 28,853 区画)

全体	10区画未満	50区画未満	100区画未満	200区画未満	200区画以上	無回答
106	19	23	18	20	19	7
100.0	17.9	21.7	17.0	18.9	17.9	6.6

問 3-3-1 無縁と推定される区画数(合計 1,093 区画)

全体	無縁区画なし	10区画未満	50区画未満	100区画未満	200区画未満	200区画以上	無回答
106	28	33	17	4	1	1	22
100.0	26.4	31.1	16.0	3.8	0.9	0.9	20.8

問 3-3-1 無縁と推定される割合

全体	無縁区画なし	10%未満	20%未満	50%未満	50%以上	無回答
106	28	29	11	13	3	22
100.0	26.4	27.4	10.4	12.3	2.8	20.8

問 3-3-2 未使用区画数(合計 2,242 区画)

全体	未使用区画なし	10区画未満	50区画未満	100区画未満	200区画未満	200区画以上	無回答
106	21	23	24	8	1	2	27
100.0	19.8	21.7	22.6	7.5	0.9	1.9	25.5

問 3-3-2 未使用区画の割合

全体	未使用区画なし	10%未満	50%未満	50%以上	無回答
106 100.0	21 19.8	22 20.8	31 29.2	4 3.8	28 26.4

問 4 北九州市内に墓地を建設、拡張する計画

全体	新設の計画がある	拡張の計画がある	ない	わからない	無回答
335 100.0	6 1.8	4 1.2	278 83.0	17 5.1	30 9.0

問 4 「新設の計画がある」の区画数(合計 30 区画)

全体	10区画未満	50区画未満	100区画未満	200区画未満	200区画以上	未定
6 100.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 66.7

問 4 「拡張の計画がある」の区画数(合計 81 区画)

全体	10区画未満	50区画未満	100区画未満	200区画未満	200区画以上	未定
4 100.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0

問 5 信者からの墓地新設、拡張の要望

全体	強い要望がある	要望がある	要望はない	無回答
335 100.0	7 2.1	33 9.9	262 78.2	33 9.9

問 6 北九州市内に所有納骨堂があるか

全体	ある	ない	無回答
335	232	99	4
100.0	69.3	29.6	1.2

問 6-1 納骨堂の所在地

全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答
232	33	45	34	26	35	39	20	0
100.0	14.2	19.4	14.7	11.2	15.1	16.8	8.6	0.0

問 6-2 納骨堂利用者の北九州市内居住者の割合

全体	2割未満	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割以上	無回答
232	7	3	2	7	8	14	59	128	4
100.0	3.0	1.3	0.9	3.0	3.4	6.0	25.4	55.2	1.7

問 6-3 納骨堂の壇数(合計 62,293 壇)

全体	10壇未満	50壇未満	100壇未満	200壇未満	200壇以上	無回答
232	6	22	27	55	113	9
100.0	2.6	9.5	11.6	23.7	48.7	3.9

問 6-4 現在の使用壇数(合計 49,140 壇)

全体	10壇未満	50壇未満	100壇未満	200壇未満	200壇以上	無回答
232	12	28	35	62	83	12
100.0	5.2	12.1	15.1	26.7	35.8	5.2

問 6-4 現在の使用割合

全体	100%以上	80%以上	60%以上	50%以上	50%未満	無回答
232 100.0	33 14.2	103 44.4	45 19.4	10 4.3	28 12.1	13 5.6

問 7 北九州市内に納骨堂を新設、増築する計画

全体	新築の計画がある	増築の計画がある	ない	わからない	無回答
335 100.0	21 6.3	16 4.8	228 68.1	56 16.7	14 4.2

問 7 「新設の計画がある」の壇数(合計 827 壇)

全体	10壇未満	50壇未満	100壇未満	200壇未満	200壇以上	未定	無回答
21 100.0	1 4.8	1 4.8	0 0.0	3 14.3	2 9.5	10 47.6	4 19.0

問 7 「増築の計画がある」の壇数(合計 558 壇)

全体	10壇未満	50壇未満	100壇未満	200壇未満	200壇以上	未定	無回答
16 100.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	2 12.5	1 6.3	9 56.3	2 12.5

問 8 信者からの納骨堂新築、増築の要望

全体	強い要望がある	要望がある	要望はない	無回答
335 100.0	18 5.4	80 23.9	223 66.6	14 4.2

問 9 北九州市内に合葬墓があるか

全体	ある	ない	無回答
335	76	252	7
100.0	22.7	75.2	2.1

問 9-1 合葬墓の所在地

全体	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区	無回答
76	9	22	9	10	10	16	2	0
100.0	11.8	28.9	11.8	13.2	13.2	21.1	2.6	0.0

問 9-2 合葬墓の形状

全体	モニュメント型	樹木型	その他	無回答
76	37	2	37	1
100.0	48.7	2.6	48.7	1.3

問 9-3 合葬墓利用者の北九州市内居住者の割合

全体	2割未満	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割以上	無回答
76	7	2	6	1	9	4	11	28	8
100.0	9.2	2.6	7.9	1.3	11.8	5.3	14.5	36.8	10.5

問 9-4 合葬墓の収容規模(合計 12,240 体)

全体	100体未満	500体未満	1000体未満	2000体未満	2000体以上	無回答
76	0	7	8	17	20	24
100.0	0.0	9.2	10.5	22.4	26.3	31.6

問 9-5 現在の収容数(合計 3,222 体)

全体	100体未満	500体未満	1000体未満	2000体未満	2000体以上	無回答
76 100.0	10 13.2	30 39.5	10 13.2	7 9.2	5 6.6	14 18.4

問 9-6 合葬墓を設置した理由

全体	信者の方からの要望	墓所や納骨堂を増設できないから	需要が高いと判断したから	その他	無回答
76 100.0	35 46.1	7 9.2	32 42.1	23 30.3	3 3.9

問 10 公営の合葬墓を新設することになった場合の所有霊園への影響

全体	影響がある	影響はない	どちらでもない	分からない	無回答
335 100.0	48 14.3	133 39.7	27 8.1	111 33.1	16 4.8

問 11 北九州市内に合葬墓を新設、増設する計画

全体	新設の計画がある	増設の計画がある	ない	わからない	無回答
335 100.0	26 7.8	9 2.7	234 69.9	53 15.8	13 3.9

問 11 新設の計画がある場合の規模

全体	100体未満	500体未満	1000体未満	2000体未満	2000体以上	未定	無回答
26 100.0	1 3.8	0 0.0	1 3.8	1 3.8	3 11.5	19 73.1	1 3.8

問 11 増設の計画がある場合の規模

全体	1 0 体 未 満	5 0 体 未 満	1 0 0 体 未 満	2 0 0 体 未 満	2 0 0 体 以 上	未 定	無 回 答
9	0	1	0	0	1	7	0
100.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	77.8	0.0

問 12 信者からの合葬墓新設、増設の要望

全体	強 い 要 望 が あ る	要 望 が あ る	要 望 は な い	無 回 答
335	10	54	250	21
100.0	3.0	16.1	74.6	6.3

北九州市墓地に関する市民意識調査
結果報告書
(令和2年調査)

〒803-8501 北九州市小倉北区域内1番1号
北九州市 保健福祉局 保健衛生課 電話:093-582-2435
建設局 公園管理課 電話:093-582-2464
